OPERATION MANUAL

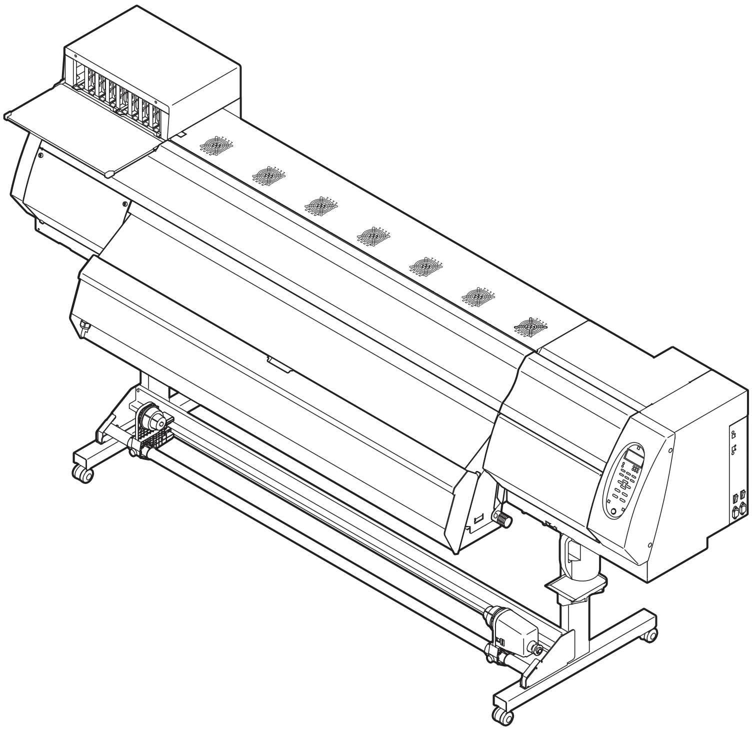
Mimaki

カラーインクジェットプリンタ

JV400-LX Series

JV400-130LX / JV400-160LX

取扱説明書



株式会社ミマキエンジニアリング

URL: http: // www.mimaki. co. jp/

D202282-25

Original instructions

目　次

ご注意 v
　ご注意 v
　おねがい v
　電波障害自主規制 v
　テレビ / ラジオの受信障害について v
はじめに vi
　使用できるインクについて vi
　取扱説明書について vi
安全にお使いいただくために vii
　マーク表示について vii
　安全インターロックについて x

第 1 章
ご使用の前に

本装置の移動 1-2
　設置場所について 1-2
　使用環境温度について 1-2
　本装置の移動 1-3
各部の名称とはたらきについて 1-4
　装置前面 1-4
　装置背面 / 側面 1-5
　操作パネル 1-6
　ヒーター 1-7
　メディアセンサー 1-7
　キャリッジ 1-8
　カッター刃とカット溝 1-8
　温度センサー / 乾燥ヒーター / 巻取り装置のコネクタ 1-8
　キャッピングステーション 1-9
　ピンチローラーとフィードローラー 1-9
ケーブルを接続する 1-10
　USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-10
　電源ケーブルを接続する 1-11
インクカートリッジを入れる 1-12
　インクカートリッジ取り扱い上のご注意 1-14
　インクカートリッジの組み立て方 1-15
メディアについて 1-17
　使用可能メディアサイズ 1-17
　メディア取り扱い上の注意 1-17
静電シートについて 1-18

第 2 章
基本的な使い方

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
　電源を入れる 2-3
　電源を切る 2-4
メディアをセットする 2-5
　ヘッド高さを調整 2-5

メディアセットに関するご注意 2-7
ロールメディアをセットする 2-8
巻取装置について 2-12
リーフメディアをセットする 2-13
原点を変更する場合は 2-15
ヒーターの準備をする 2-16
ヒーターの温度設定を変更する 2-16
ヒーターの温度を確認する 2-17
乾燥ヒーターの温度を設定する 2-17
テストフィードをする 2-18
テストプリントをする 2-19
テストプリントを行う 2-20
ヘッドクリーニング 2-21
ヘッドクリーニングについて 2-21
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う 2-21
メディアの送りを設定する 2-22
フィード補正の設定 2-22
双方向プリントのドット位置を調整する 2-24
データをプリントする 2-26
プリントを開始する 2-26
プリントを中断する 2-27
受信したデータを消去する (データクリア) 2-27
プリント完了後の動作 2-27
メディアをカットする 2-28

第 **3** 章
便利な使い方

設定機能一覧表 3-2
ロジカルシークの設定をする 3-3
乾燥時間の設定をする 3-5
マージンの設定をする 3-6
パス間のシマを軽減する設定をする 3-7
オートクリーニングの設定をする 3-8
ノズル面の清掃頻度を設定する 3-9
その他の設定 3-10
マシン設定 3-11
オートパワーオフの設定をする 3-13
メディア残量表示の設定をする 3-14
ジコクの設定をする 3-16
タンイの設定をする 3-17
キーブザーの設定をする 3-18
ネットワークの設定をする 3-19
イベントメール機能の設定 3-21
言語の設定をする 3-30
設定した内容を初期状態に戻す 3-31
装置情報を確認する 3-32
情報を表示させる 3-32
装置のバージョン情報などを確認する 3-34
本機の情報を表示する 3-35

第 4 章
お手入れ

日常のお手入れ 4-2
お手入れ上のご注意 4-2
メンテナンス洗浄液について 4-2
外装のお手入れ 4-3
プラテンの清掃 4-3
ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 4-3
メディアセンサーの清掃 4-4
メディア押さえの清掃 4-4
キャッピングステーションのメンテナンス 4-5
ワイパーとキャップの清掃 4-5
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ) 4-12
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ）.................................4-13
ヘッド周辺の清掃 (毎日) 4-16
C 吸収材の交換方法 4-18
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-20
ヘッドノズルの洗浄 4-20
ノズル面の洗浄 4-23
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-25
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする 4-27
オートメンテナンス機能 4-30
リフレッシュ間隔を設定する 4-30
クリーニング間隔を設定する 4-31
ホワイトインクのクリーニング間隔を設定する 4-32
消耗品の交換 4-33
ワイパーを交換する 4-33
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-34
廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンク
を交換する場合 4-37
カッター刃の交換 4-38
ホワイトインクフィルターの交換 4-40
ホワイトインクフィルターの交換が必要になると 4-40

第 5 章
困ったときは

故障？と思う前に 5-2
電源が入らない 5-2
プリントできない 5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 5-3
[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない 5-3
画質不良が発生したときは 5-4
ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
カートリッジ異常が発生したら 5-5
エラー 618 ～ 61b が発生したら 5-6
白インク (ホワイト) の定期メンテナンス 5-7
メディアが搬送時に波打つ場合 5-8
ロールメディアがたるんで床に接触する場合 5-8
メッセージを表示するトラブル 5-9
ワーニングメッセージ 5-9

エラーメッセージ 5-12

第 6 章
付録

仕様 6-2
本体仕様 6-2
インク仕様 6-3
インク種によるセットの違いについて 6-4
インクカートリッジのセット順 6-4
お問い合わせシート 6-5
警告ラベルについて 6-6
機能フローチャート 6-8

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ JV400 シリーズ をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「JV400 シリーズ」は、LX インクでプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、LX100 インク (4 色 /4 色 + 白)、LX101 インク (4 色 /6 色[*1]/6 色 + 白モデル : 白は Lx100 インクを使用) があります。

- **4 色モデル**　　：シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクカートリッジを 2 本ずつ使用
- **4 色 + 白モデル**：イエロー・ブラックの各インクカートリッジを 1 本ずつ、シアン・マゼンタ・ホワイトの各インクカートリッジを 2 本ずつ使用
- **6 色モデル[*1]**　：イエロー・ブラック・オレンジ・グリーンの各インクカートリッジを 1 本ずつ、シアン・マゼンタの各インクカートリッジを 2 本ずつ使用
- **6 色 + 白モデル**：シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック・オレンジ・グリーンの各インクカートリッジを 1 本ずつ、ホワイトのインクカートリッジを 2 本使用

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ JV400 シリーズ」（以後本装置と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- JV400-130LX/160LX は、SGPR-130/160 と同一機種です。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved.Copyright

*1. ファームウェア Ver.2.50 以降に対応

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	内　　容
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

使用上の警告と注意

⚠ 警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。

⚠ 注　意

電源ケーブルについて

- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 極性付きのコンセントに接続してください。
- インレット 1・2 には、同じ電圧のコンセントから電源を取ってください。
- 必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。

ヒーターについて

- プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

- 本装置を移動する場合は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、ヒーターの電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本装置の移動は、段差のない同一フロアー内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。

電源供給について

- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチはOFF にしないでください。

インクについて

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、（財）日本中毒情報センター 中毒 110 番に連絡してください。

  大阪　：072-727-2499
  つくば：029-852-9999
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

メンテナンス上の注意

- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。

ご注意とお願い

警　告

インクカートリッジの取り扱い

- JV400 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- JV400 専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- JV400 専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクカートリッジ・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください

正面カバーとレバーについて

- プリント中に正面カバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいます。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。
  メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
  紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
  また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

警　告

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。
- プリントしないときも必ず正面カバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッド周辺の清掃を実行してください。(☞ P.4-16 「ヘッド周辺の清掃 (毎日)」)
- インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。
- キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。

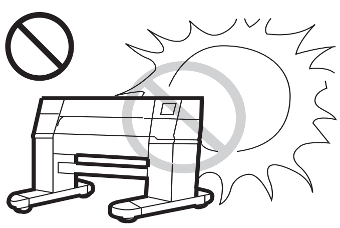
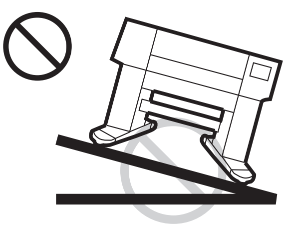
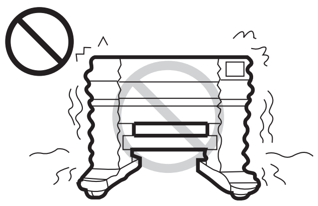
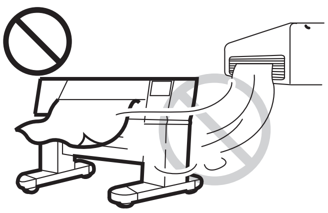
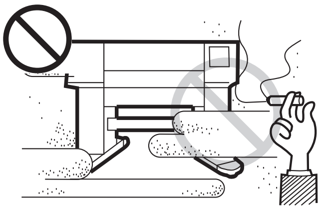
定期交換部品

- 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

本装置の廃棄処分について

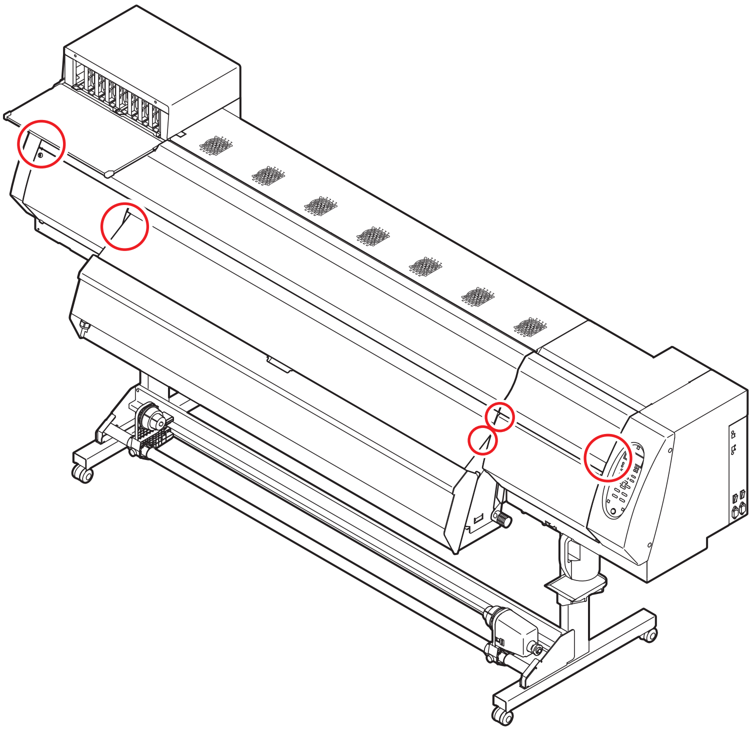
- 本装置を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

設置上のご注意

⚠ 注　意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		•次の環境下でお使いください。 •使用環境： 20 ～ 30 ℃ 35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの 風が直接当たる場所	火を使う場所
		

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)



第 1 章
ご使用の前に

この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

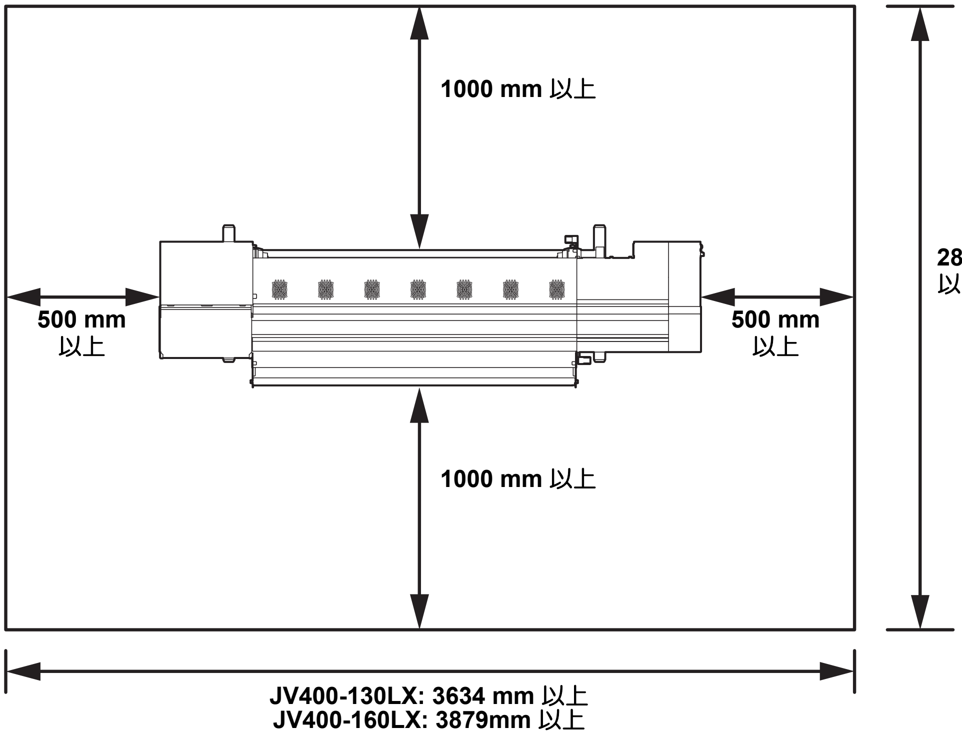
本装置の移動 1-2
設置場所について 1-2
使用環境温度について 1-2
本装置の移動 1-3
各部の名称とはたらきについて 1-4
装置前面 1-4
装置背面 / 側面 1-5
操作パネル 1-6
ヒーター 1-7
メディアセンサー 1-7
キャリッジ 1-8
カッター刃とカット溝 1-8
温度センサー / 乾燥ヒーター / 巻取り装置のコネクタ 1-8
キャッピングステーション 1-9
ピンチローラーとフィードローラー 1-9
ケーブルを接続する 1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-10
電源ケーブルを接続する 1-11
インクカートリッジを入れる 1-12
インクカートリッジ取り扱い上のご注意 1-14
インクカートリッジの組み立て方 1-15
メディアについて 1-17
使用可能メディアサイズ 1-17
メディア取り扱い上の注意 1-17
静電シートについて 1-18

本装置の移動

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機　　種	横　　幅	奥行き	高　　さ	全体重量
JV400-130LX	2634mm	854mm	1435mm	230kg 以下
JV400-160LX	2879mm	854mm	1435mm	250kg 以下



- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋には本機を設置しないでください。写真定着材が充満した部屋に本機を設置すると、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行っても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸気 (酢酸や塩酸等) の発生している環境下に本機を放置しても同様の現象が発生します。

使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 30 ℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

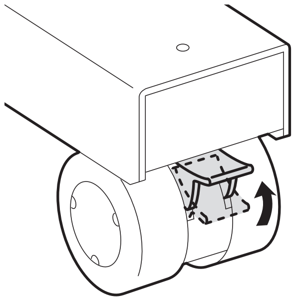
本装置の移動

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のように行ってください。

重要！
- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
  お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
  本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

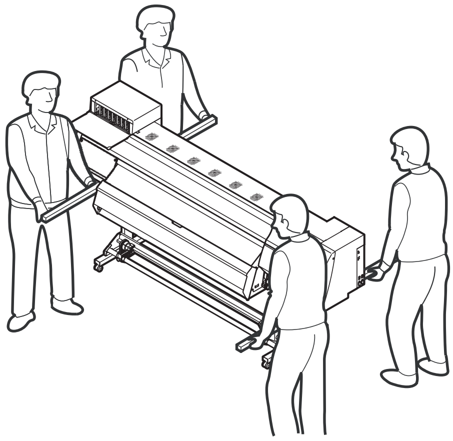
注意
- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1 キャスターのロックを解除する

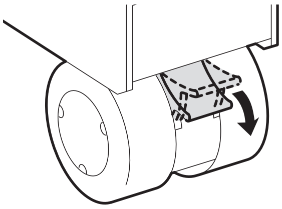


2 図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず 4 人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



3 キャスターをロックする



各部の名称とはたらきについて

装置前面

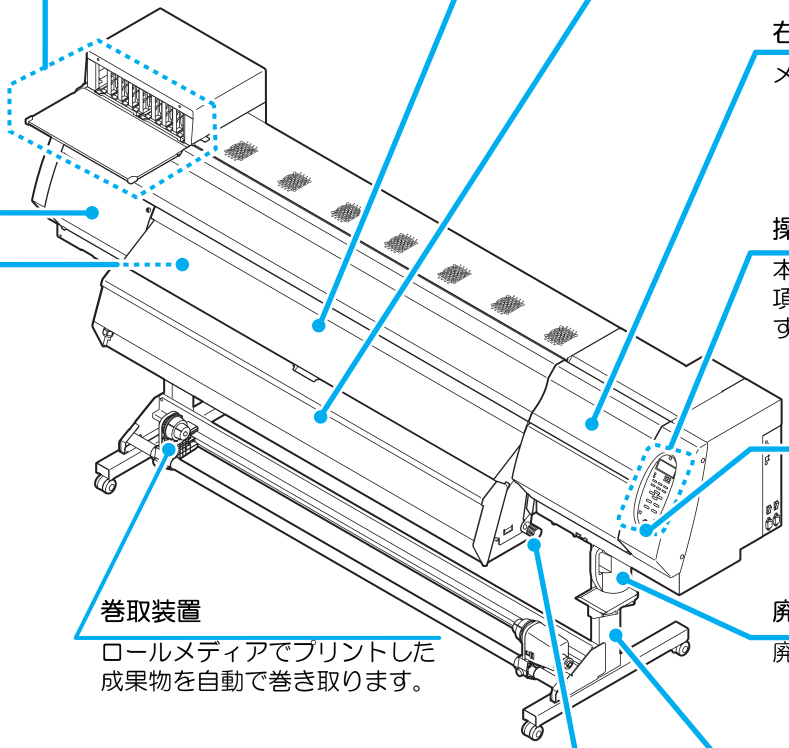
左メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

正面カバー
メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

インクカートリッジ
各色のインクが入っています。

カートリッジ保護カバー
600cc カートリッジの突出によるケガや装置の破損などを防止します。
(インクカートリッジの下にあります）

乾燥ヒーター
温風で印字後のインクの定着と乾燥を行います。



右メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。

操作パネル
本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

電源スイッチ *1
本装置の電源をオン / オフします。

巻取装置
ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

廃インクタンク
廃インクを溜めるタンクです。

クランプレバー (前)
ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。

脚
本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

プラテン
プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の３カ所にヒーターが内蔵されています。

プリントヒーター / ポストヒーター
印字中のインクの定着と乾燥を行います。（プラテンの内側にあります。）

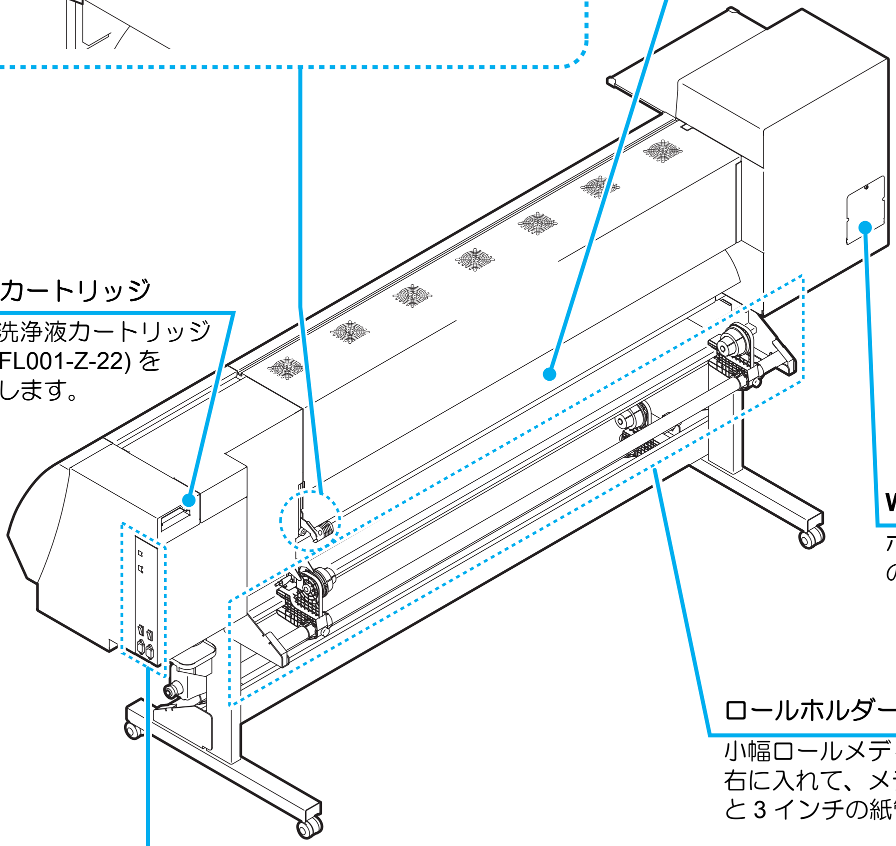
静電シート
メディアが静電気でプラテンに張り付くことを防止します。

*1 : 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが緑色に点灯します。主電源スイッチ（☞ P.1-5）をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

装置背面 / 側面

クランプレバー（後）
本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。

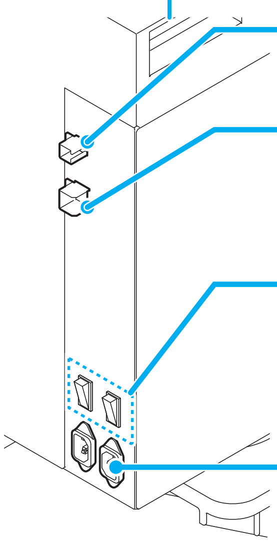
プリヒーター
プリント前のメディアに予熱をかけます。（プラテンの内側にあります。）



洗浄液カートリッジ
専用の洗浄液カートリッジ (別売 :FL001-Z-22) をセットします。

W フィルタメンテナンスカバー
ホワイトフィルタメンテナンス用のカバーです。

ロールホルダー
小幅ロールメディア (1.6m 未満) の紙管の左右に入れて、メディアを保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。



USB コネクタ
USB2.0 インターフェイスコネクタです。

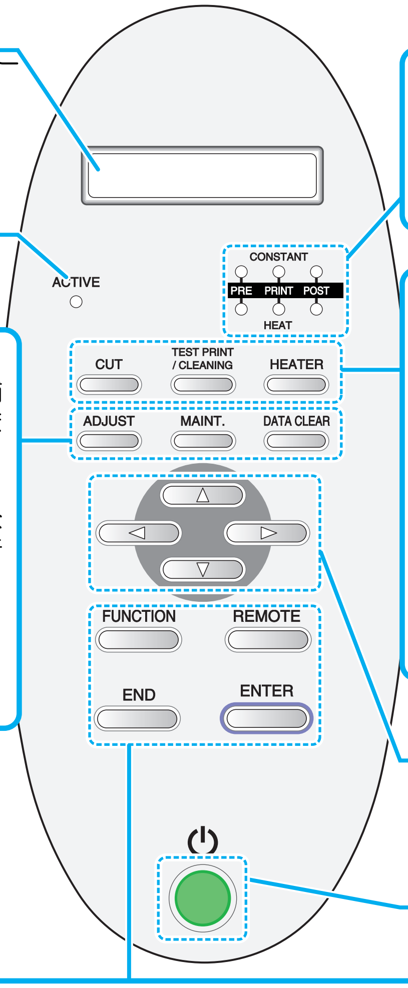
LAN コネクタ
イベントメール機能をお使いになるときに使用します。

主電源スイッチ
本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。

AC インレット
電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。



ディスプレイ
本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

ACTIVE ランプ
電源 ON で点灯します。

ADJUST キー
ドットイチ補正、フィード補正などの調整機能を実行します。

MAINT. キー
ステーションメンテナンスなどのメンテナンス機能を実行します。

DATA CLEAR キー
本装置が受信したデータを消去します。

CONSTANT ランプ
ヒーターの温度が設定温度に達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ
ヒーター加熱中にオレンジ色に点灯します

CUT キー
メディアをカットをするときに使用します。

TEST PRINT/CLEANING キー
インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。
また、インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

HEATER キー
プリントヒーター、プリヒーター、ポストヒーター、乾燥ヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼
《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

電源スイッチ
本装置の電源をオン / オフします。

FUNCTION キー
各種機能設定メニューに入ります。

END キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー
《ローカル》と《リモート》を切り替えます。

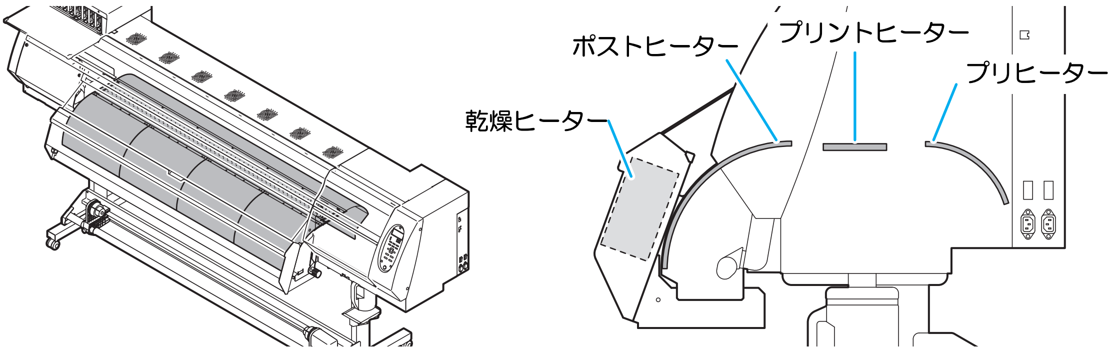
ENTER キー
1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

ヒーター

プラテンには、プリヒーター・プリントヒーター・ポストヒーターが内蔵されています。
プリヒーターは、印字前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーターは、印字する際の画像品質を上げます。ポストヒーター、乾燥ヒーターは印刷後のインクを乾燥させます。

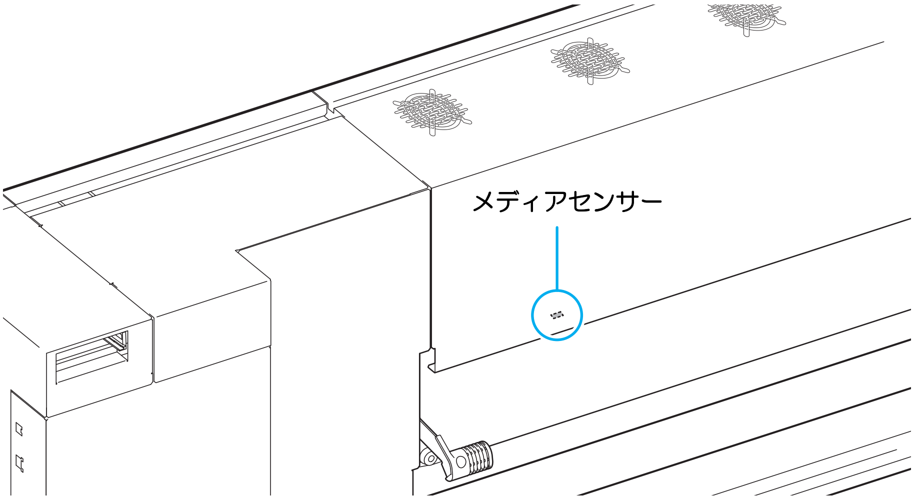
注意

- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。正面カバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。



メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上（背面側）にメディアセンサーが 1 箇所あります。

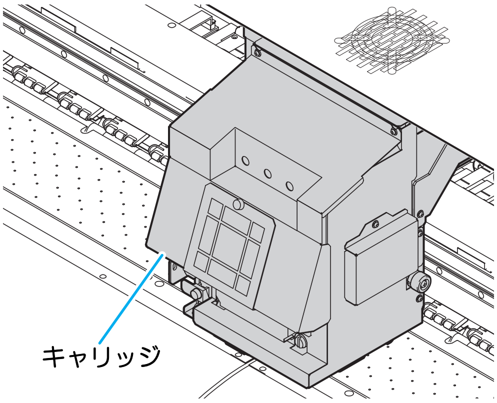


重要!

- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。
- 210mm 幅のメディアを使用する場合、◸に合わせてセットするとメディア検出できません。◸より 15mm 程度内側にセットしてください。

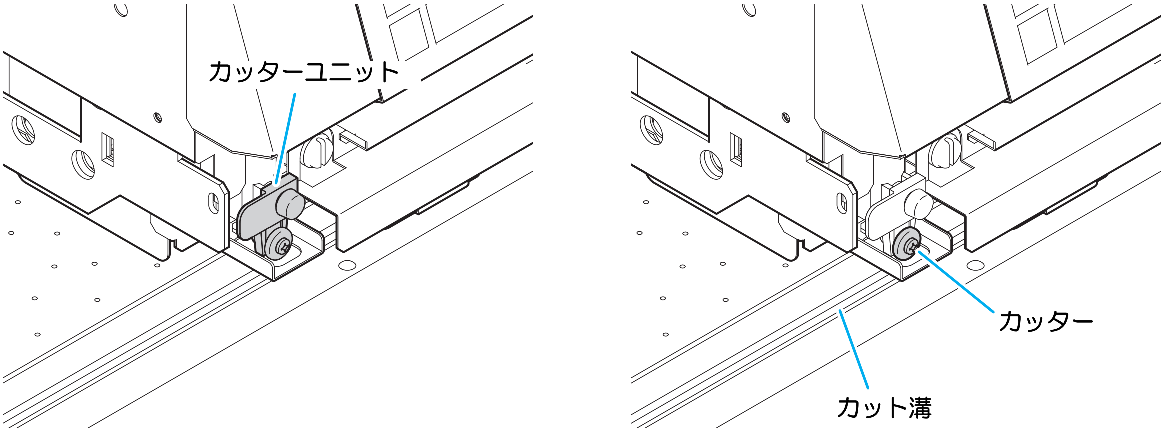
キャリッジ

キャリッジには、プリント用のヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを 3 段階に調整するレバーが付いています。
（☞ P.2-5）



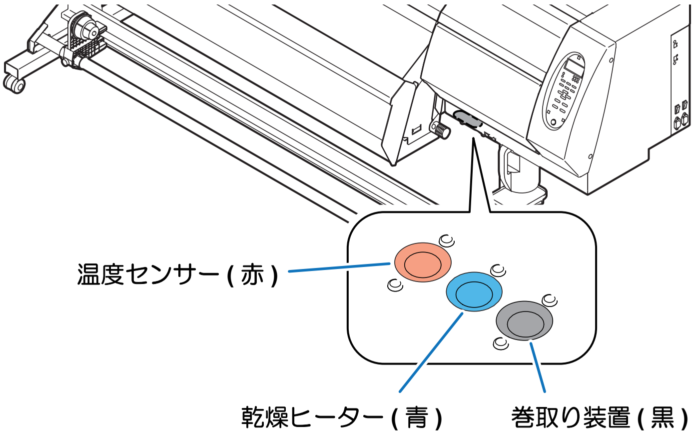
カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。
カッター刃は、消耗品です。切れ味が悪くなった場合は、新しいカッター刃に交換してください。（☞ P.4-38）



温度センサー / 乾燥ヒーター / 巻取り装置のコネクタ

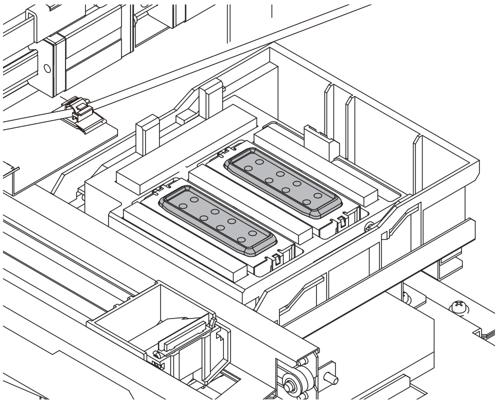
図の場所に、温度センサー、乾燥ヒーター、巻取り装置のコネクタがあります。
温度センサー / 乾燥ヒーター / 巻取り装置に関するエラーが起こった場合、5 章を参照し、コネクタを確認してください。



キャッピングステーション

- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

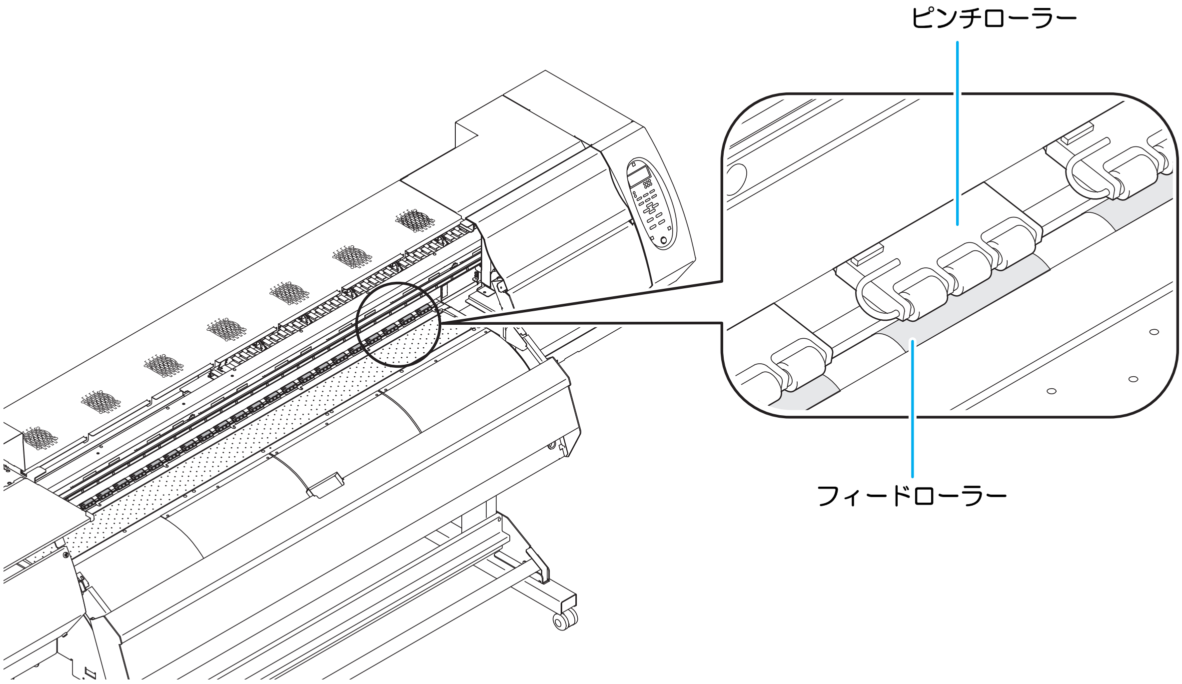
キャッピングステーションは、キャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。（P.4-33）



ピンチローラーとフィードローラー

重要！
- 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

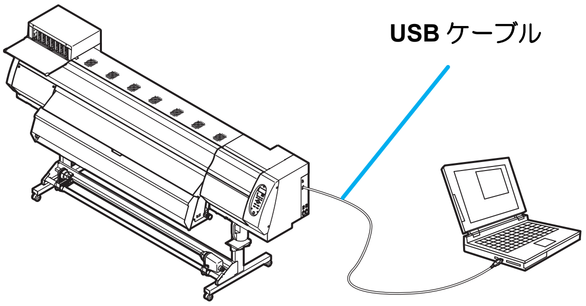
本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



注 意

- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。
- USB ケーブルを接続するときは、コネクタの接点部分を素手で触れないでください。
静電気が発生し、本機の基板が破損する可能性があります。

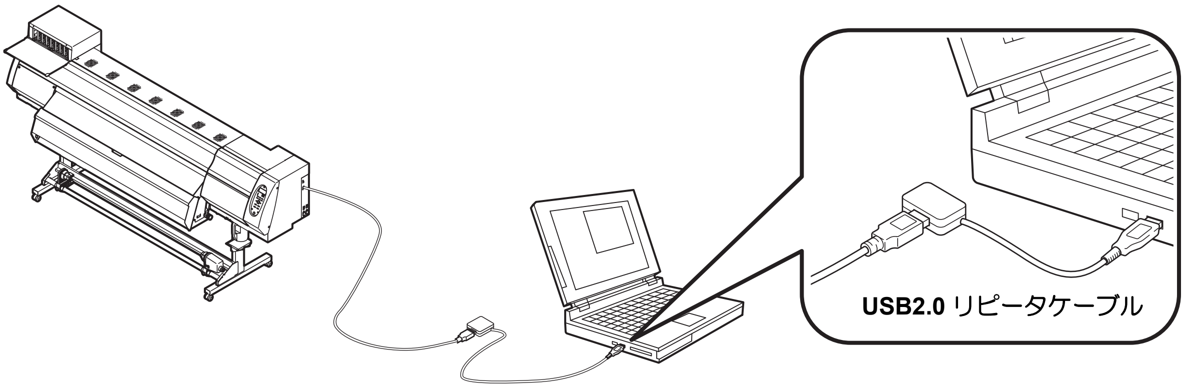
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重 要 !

- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の JV400 を接続する場合

1 台のパソコンに JV400 を複数台接続する場合、JV400 を正常に認識できない場合があります。
複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JV400 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JV400 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。

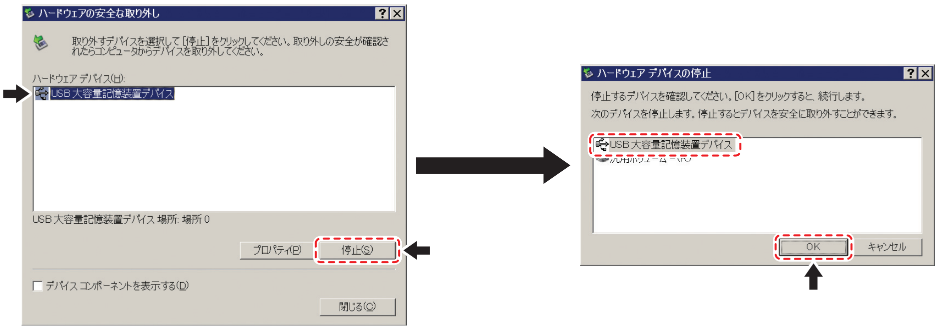


● USB ハイスピードモードの周辺機器について

JV400 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JV400 を接続した場合、JV400 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

JV400 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 201 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルを接続する

- 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- インレット 1・2 には、同じ電圧のコンセントから電源を取ってください。

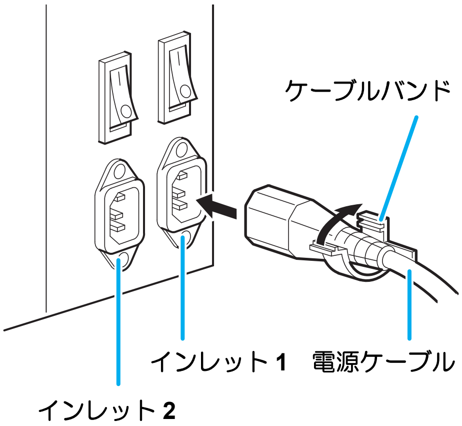
重 要 !

- 必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

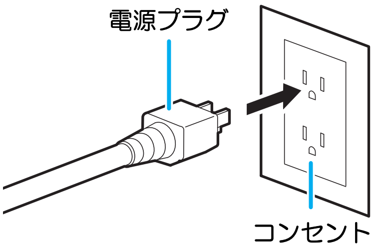
1 電源ケーブルを本装置のインレットに差し込む

2 ケーブルバンドを固定する

- 本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。



3 電源プラグをコンセントに差し込む



インクカートリッジを入れる

インクカートリッジを挿入します。

1 インクカートリッジを 20 回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでカートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

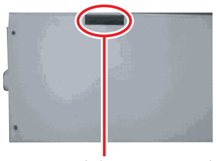
- 強く振りすぎると内部のパックを傷つけ、インク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、カートリッジが縦になるまで傾けてください。

重 要！

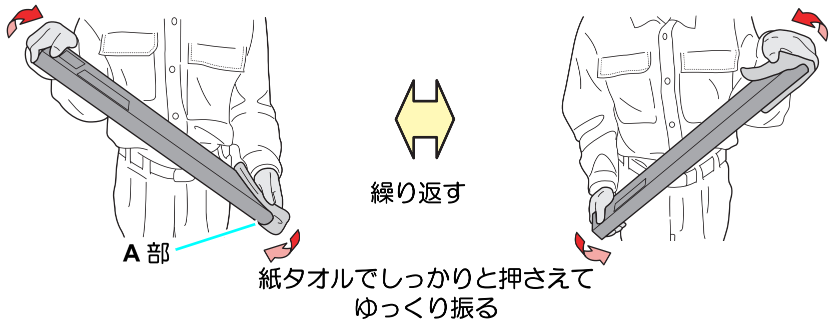
- ホワイトインクをご使用の場合：
  電源オン状態で 24 時間が経過、または電源オン時にメッセージを表示します。
  ホワイトインクの成分は沈降しやすいため、定期的に振っていただく必要があります。

```
ホワイトインクカートリッジ゛ヲ
フッテクタ゛サイ            [ENT]
```

A 部　（針の差し口）

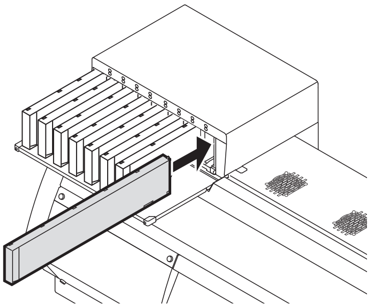


B 部　（底面の隙間）



2 インクカートリッジを差し込む

- IC チップがある方を左側に向けて、縦にして差し込んでください。
- インクカートリッジのセット順は P.6-4「インクカートリッジのセット順」を参照してください。



インクカートリッジを交換する

ディスプレイに [インクエンド] や [インクニアエンド] などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド] が表示されたとき

(1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
(2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む

● [インクニアエンド] が表示されたとき

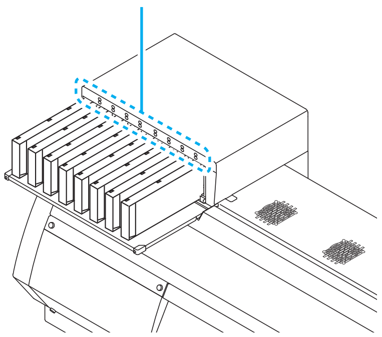
インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。
ローカルで ENTER キーを押すと、交換対象カートリッジをローカルガイダンスで確認できます。（☞ P.3-35）

重要！ ・インクパックを交換した際は、かならず IC チップも交換して下さい。

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。

カートリッジランプ



ランプの状態		説　明
上段 赤色ランプ	消灯	異常なし
	点滅	インクカートリッジの残量が少ない (ニアエンド)、またはインク期限が切れています。まもなく使用できなくなります。
	点灯	インク残量がない、または、その他のインクエラー（☞ P.5-5）でインクカートリッジが使用できません。
	早い点滅	インク期限が切れているため、インクカートリッジが使用できません。
下段 緑色ランプ	消灯	異常なし
	点灯	インクを供給していることを示します。 2カートリッジ/1色によるトグル切替え供給 (4 色インクセット /6 色インクセットの M、C/4 色 + 白インクセットの M、C) の場合、本機はインク期限の短いインクカートリッジからインク供給を行います。

インク使用期限について

インクカートリッジには使用期限があります。
使用期限を過ぎると、ローカルとガイダンスメッセージにメッセージが表示されます。（☞ P.5-9、 P.5-11）
カートリッジに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3 か月後になった時点で使用できなくなります。
LED「赤」が早く点滅してお知らせするので、交換してください。

例） 消費期限の記載が 2012 年 4 月の場合
5 月 : 使用可能、ローカルに [インクキゲンギレ] と表示
6 月 : 使用可能 (LED 点滅)、ローカルに [キゲンギレ (1M)] と表示
7 月 : 使用不可 (LED 早点滅)、ローカルに [キゲンギレ (2M)] と表示

カートリッジインクエンド、インクニアエンドについて

インクニアエンド（残量わずか）の場合、LED「赤」が点滅してお知らせします。早めの交換をおすすめします。
インクエンド（残量なし）の場合、LED「赤」が点灯してお知らせします。インクカートリッジを交換してください。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

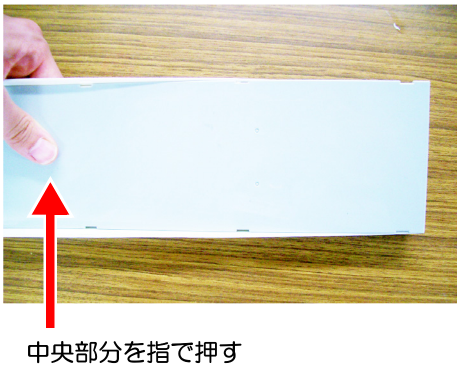
- インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

インクカートリッジの組み立て方

インクカートリッジをセットする前に、インクパックをエコカートリッジにセットする必要があります。
次の手順に従って、インクカートリッジを組み立ててください。

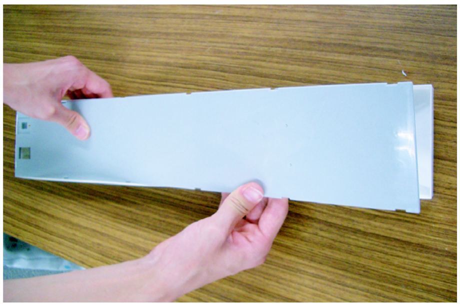
1 エコカートリッジのフタを開ける

(1) フタの中央部分を指で押す
- IC チップの取り付け部がない方のツメが外れます。



(2) 図のようにして、フタを持ち上げる
- この時点では IC チップ側のツメは外れていません。無理にフタを持ち上げて、ツメを破損しないようにご注意ください。

(3) 図のようにしてフタを押し込みながら残りのツメを外し、フタを取り外す



2 エコケースにインクパックをセットする

(1) 両面テープが貼り付けられている方を下に向け、口栓をはめ込む
- 口栓をはめ込んだあと、指でしっかりと押し込んでください。

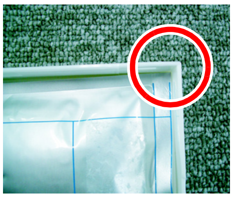
(2) 両面テープのシールを剥がす

3 インクパックがエコケースからずれないよう、両面テープでしっかりと固定する

- インクパックが弛まないように、 インクパックを引っ張ってから固定してください。

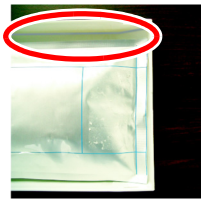
重 要！
- インクパックを固定するときは、エコケース内での偏りが無いように固定してください。

良い例



ケースの角とインクパックの角が合っている。

悪い例



インクパックが下に偏っている。

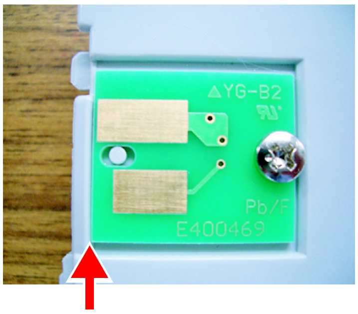
インクパックが所々弛んでいる。

4 フタを取り付ける

- IC チップ側のツメを引っかけてから、 ケースにフタをはめ込みます。

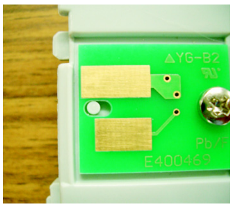
5 IC チップを取り付ける

- 図のようにして IC チップを取り付けます。
- 矢印部分に隙間ができないように取り付けてください。

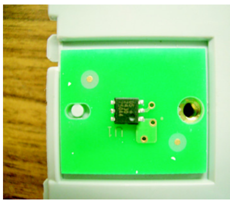


隙間が無いようにする

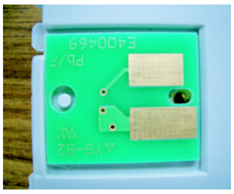
IC チップの間違った取り付け例



隙間がある。



裏表が逆。



前後が逆。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		JV400-130LX	JV400-160LX
推奨メディアの種類		薄手コート紙 /PET/ ターポリン / 塩ビフィルム / ポリエステル生地 / 綿	
最大幅		1371mm	1620mm
最小幅		210mm	
最大プリント範囲		1361mm	1610mm
ロールメディア	厚さ	0.3mm 以下[*1]	
	ロール外径	Φ180mm 以下	
	ロール重量	25kg 以下 (小型メディアホルダー時は 25kg 以下）	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

*1. メディアによっては乾燥性が悪い場合がある。事前に確認をすること。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重 要！

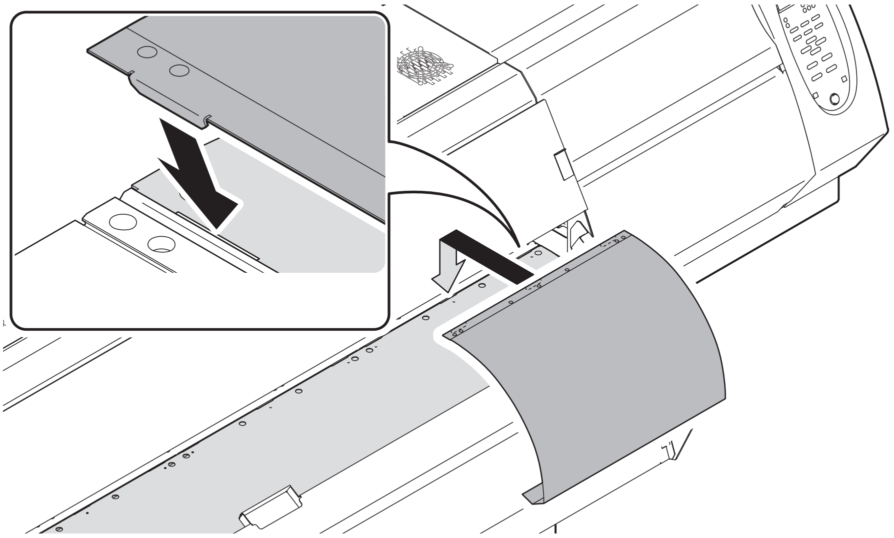
- **メディアを扱うときは、手袋を着用してください。**
  素手でメディアに触れると、指紋や手の脂などでメディアが汚れるので注意してください。
- **メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。**
  メディアが波打ち、メディア詰まりの原因になります。
  ピンチローラーが下がっている場合、メディアの材質によっては短時間でもローラーの圧痕が付きます。テストフィード（☞ P.2-18）を行い、メディアの状態を確認してください。
- **推奨メディアをご使用ください。**
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。**
  メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーターおよびプリントヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
  紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- **メディアのフチのホコリにご注意ください。**
  ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

静電シートについて

本装置には、130LX: 3 枚、160LX: 4 枚の静電シートが取り付けられています。
静電シートは、静電気によるメディアの貼り付きを防止するためのシートです。
静電気やポストヒーター上でメディアがたわむなどして、メディア搬送に影響が出た時にご使用ください。

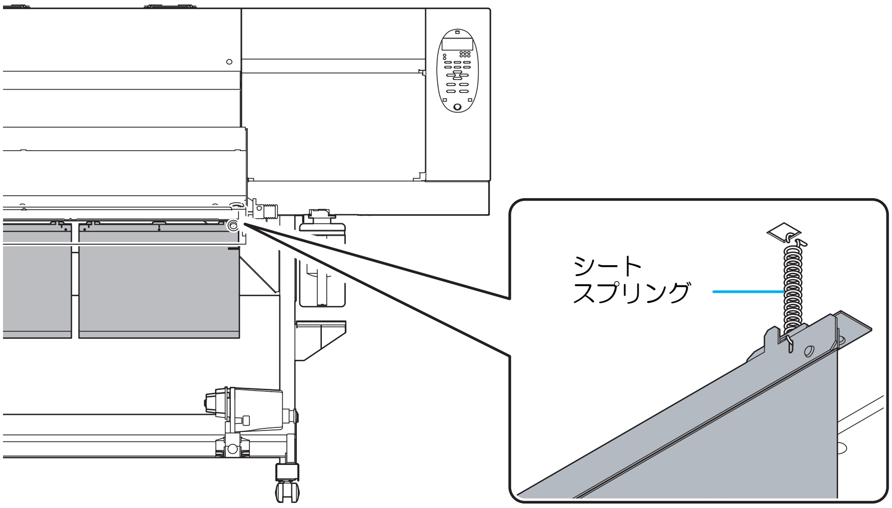
● 取り付け

静電シートのツメをプラテンの溝に引っ掛けてください。

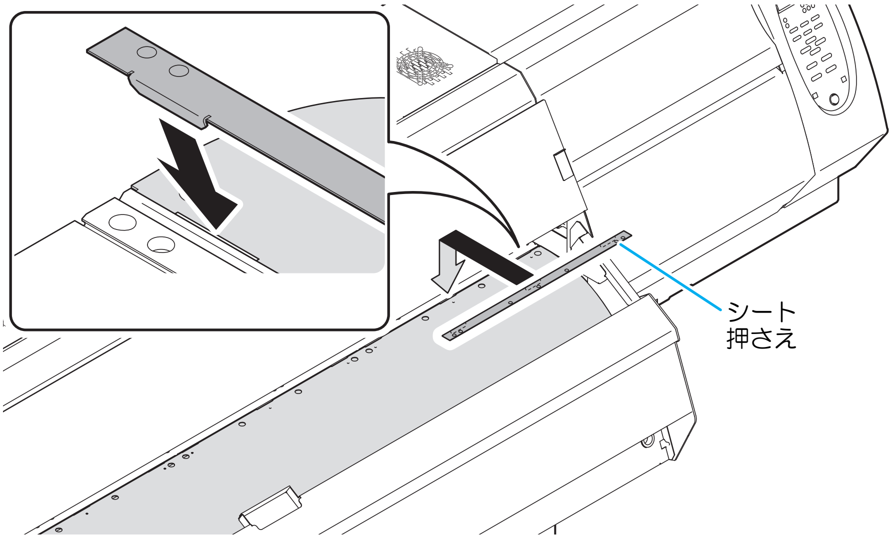


● 取り外し

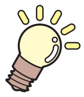
取り付けの逆の手順で取り外し、付属のシートスプリングにぶら下げた状態でご使用ください。



静電シートを取り外した場合、シート押さえをプラテンに取り付けてください。(130LX: 3 か所 /160LX: 4 か所)
シート押さえを取り付けておかないと、ヒーターの温度が低下して乾燥不足になる場合があります。



第２章
基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
　電源を入れる 2-3
　電源を切る 2-4
メディアをセットする 2-5
　ヘッド高さを調整 2-5
　メディアセットに関するご注意 2-7
　ロールメディアをセットする 2-8
　巻取装置について 2-12
　リーフメディアをセットする 2-13
　原点を変更する場合は 2-15
ヒーターの準備をする 2-16
　ヒーターの温度設定を変更する 2-16
　ヒーターの温度を確認する 2-17
　乾燥ヒーターの温度を設定する 2-17
テストフィードをする 2-18
テストプリントをする 2-19
　テストプリントを行う 2-20
ヘッドクリーニング 2-21
　ヘッドクリーニングについて 2-21
　テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う 2-21
メディアの送りを設定する 2-22
　フィード補正の設定 2-22
双方向プリントのドット位置を調整する 2-24
データをプリントする 2-26
　プリントを開始する 2-26
　プリントを中断する 2-27
　受信したデータを消去する (データクリア) 2-27
　プリント完了後の動作 2-27
　メディアをカットする 2-28

作業の流れ

1	電源を入れる / 切る	「電源を入れる / 切る」（☞ P.2-3）を参照してください。
2	メディアをセットする	「メディアをセットする」（☞ P.2-5）を参照してください。
3	ヒーターの準備をする	「ヒーターの準備をする」（☞ P.2-16）を参照してください。
4	テストプリントをする	「テストプリントをする」（☞ P.2-19）を参照してください。
5	メディアの送りを設定する	「メディアの送りを設定する」（☞ P.2-22）を参照してください。
6	双方向プリントのドット位置を調整する	「双方向プリントのドット位置を調整する」（☞ P.2-24）を参照してください。
7	データをプリントする	「データをプリントする」（☞ P.2-26）を参照してください。

電源を入れる / 切る

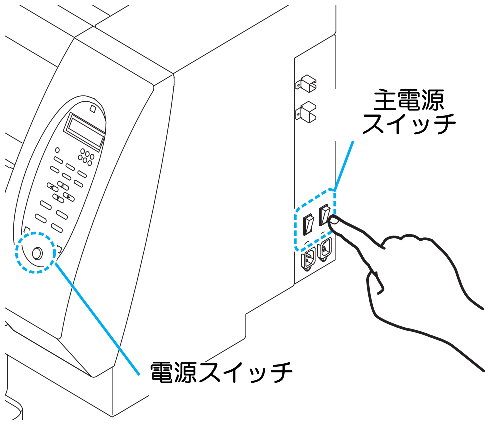
電源を入れる

本装置には、2 つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ: 本装置の側面に 2 つあります。常時「オン」にしておいてください。
電源スイッチ　: 通常、電源のオン / オフをするときはこのスイッチを使用します。
電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯します。

1 主電源スイッチを入れる

• 装置側面にある 2 つの主電源スイッチを「I」側に倒します。



2 電源スイッチを入れる

• 操作パネルにある電源スイッチを押します。

• 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

• 初期動作を実行します。

```
JV400        Start-up
Ver  1.00
```

3 ローカルになる

```
< ローカル>
```

4 接続しているコンピュータの電源をオンにする

重 要!

• 正面カバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
• 主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
• 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

電源を切る

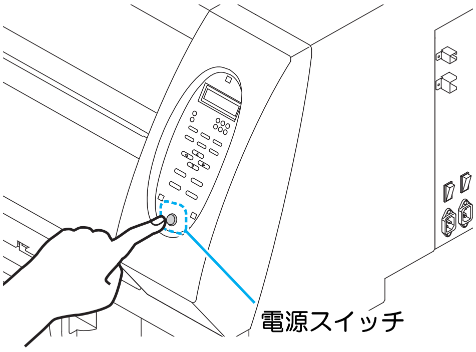
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（☞ P.5-12「エラーメッセージ」）

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源スイッチを押して、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● **主電源スイッチは切らないでください。**

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。
主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● **正面カバー / メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。**

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

● **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● **プリント中は電源を切らないでください。**

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● **電源スイッチを切ってから、主電源スイッチを切ってください。**

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本装置では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-17「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

ヘッド高さを調整

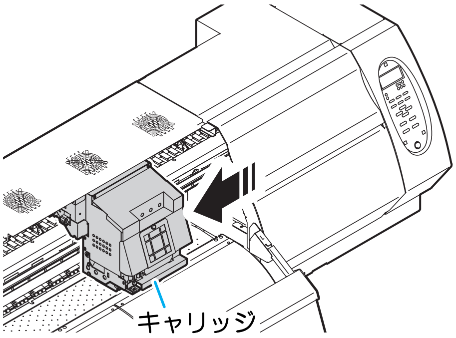
お使いになるメディアの厚みに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

重 要!

- ヒーターを OFF し、温度が下がってから行ってください。
- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを 3 段階に調整できます。
- JV400 の印刷高さ範囲は、L(1.8mm)、M(2.3mm)、H(2.8mm) です。(出荷時は、L レンジ 1.8mm で設定)

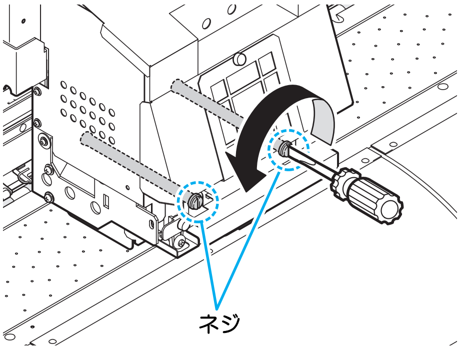
1 キャリッジをプラテン上に移動する

- 電源オン時
  メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス - キャリッジアウト」を実行 (☞ P.4-5 手順 1,2)
- 電源オフ時
  正面カバーを開け、手でキャリッジを動かす



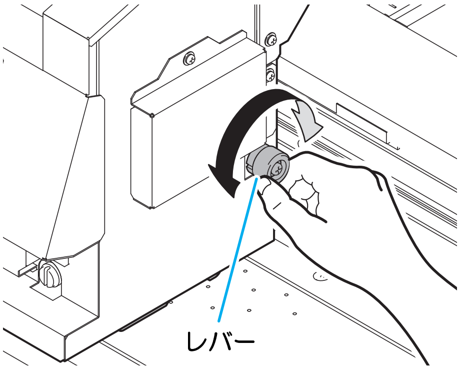
2 正面にある 2 箇所のネジを緩める

- マイナスドライバー等を使って、1 回程度回して緩めます。



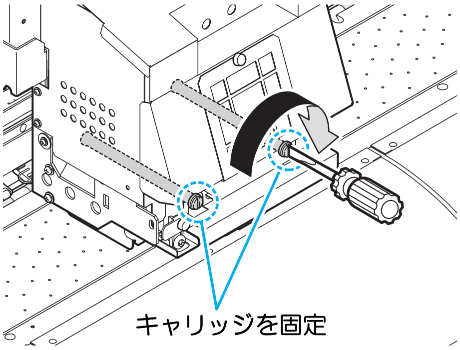
3 キャリッジ右側にあるレバーを回す

- キャリッジの高さは、レバーを左 (手前側) に回すと低くなり、右 (奥側) に回すと高くなります。



4 キャリッジを固定する

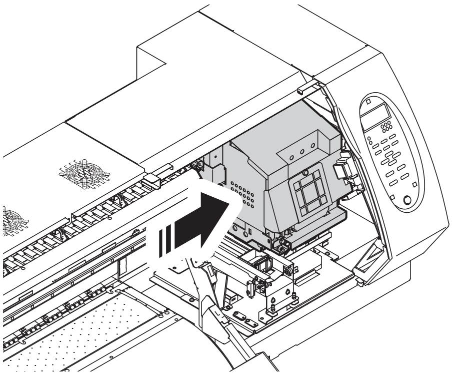
- 正面のネジを締めると、キャリッジを固定することができます。
- ネジは緩まないように確実に締めてください。



5 キャリッジをステーションに戻す

- 電源がオフの場合、手でキャリッジをステーションに戻します。
- 電源がオンの場合、以下の表示で ENTER キーを押します。

```
ステーション　メンテナンス
シュウリョウ　　　　　　　[ENT]
```



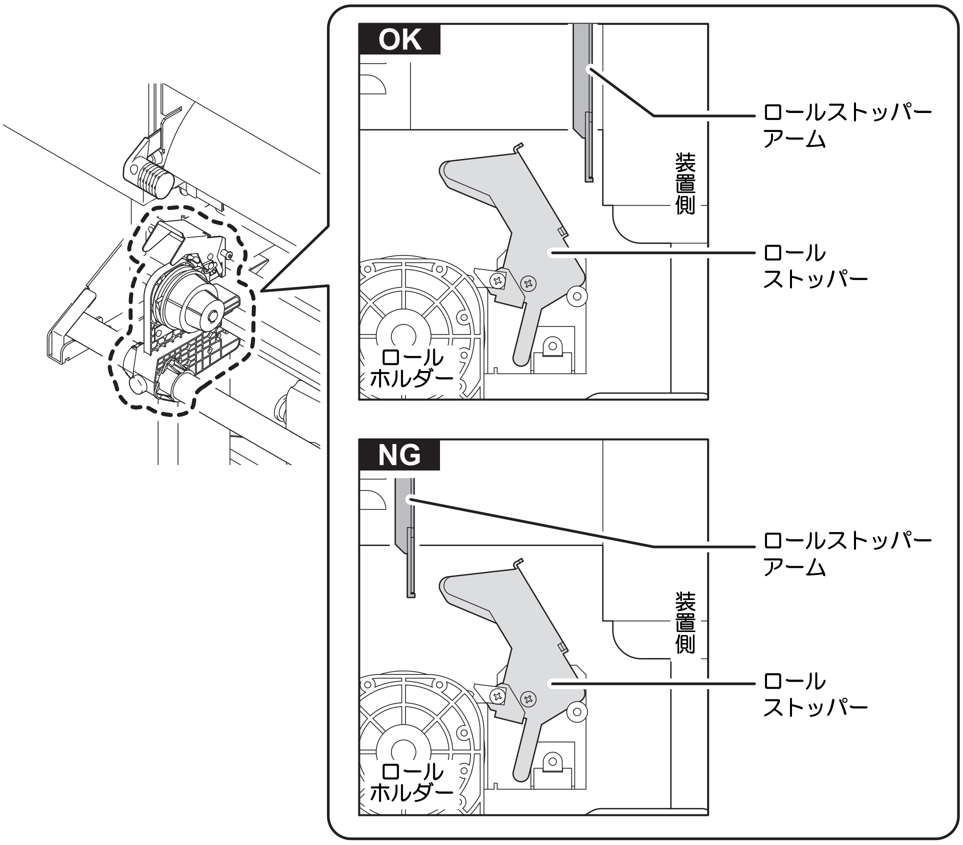
6 正面カバーを閉める

メディアセットに関するご注意

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

注 意

- セットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールストッパーアームはクランプレバーに連動して動きます。 ロールストッパーアームと本体の間にロールストッパーが入り込んだ状態で、クランプレバーを下げないでください。ロールストッパーアームを破損し、ロールストッパー機能*1 が使用できなくなることがあります。

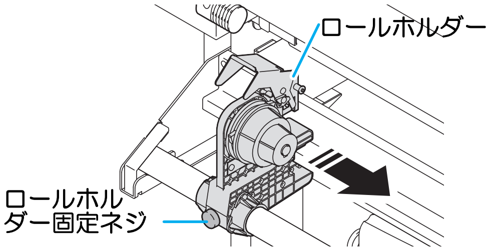


*1. 一定量引き出すと、メディア引き出しが一時固定される機能

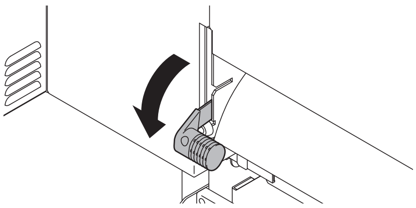
ロールメディアをセットする

1 装置背面にあるロールホルダーを、装置中央方向に移動する

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。

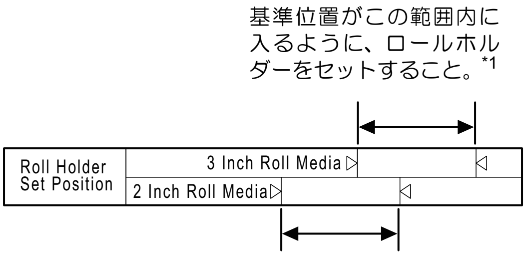


2 装置背面のクランプレバーが下がっていることを確認する

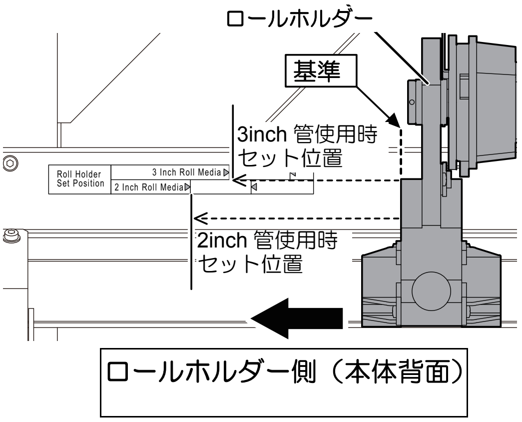


3 ロールホルダーをロールセット位置へ移動する

- ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。



- ロールメディアの紙管の内径は、2 インチと 3 インチの 2 種類があります。



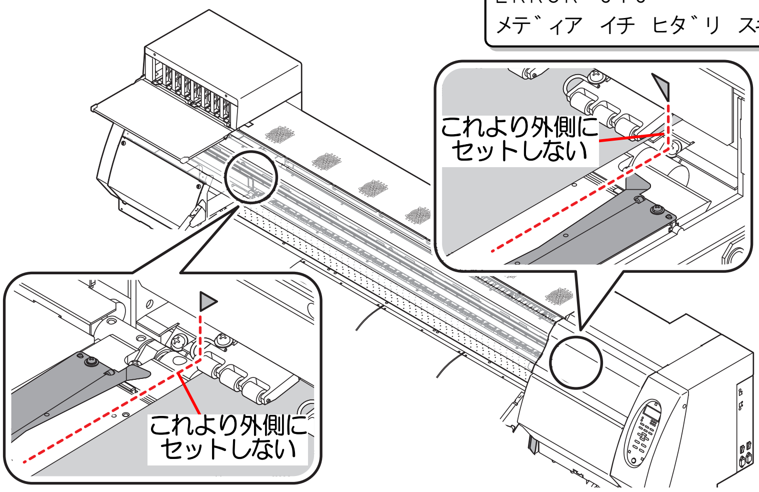
注 意

*1)本装置でセット可能な最大幅のメディアを使用する場合、メディア幅が◸ ◹より内側になるようにセットしてください。

- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

```
ERROR 516
メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛マス
```

```
ERROR 516
メテ゛ィア イチ ヒダ゛リ スキ゛マス
```

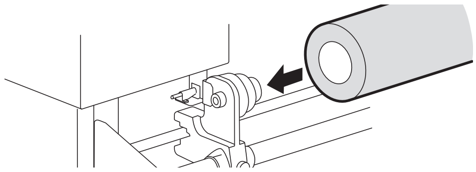


4 ロールホルダー固定ネジを締める

- 手順 2 ～ 3 を、再度確認してください。

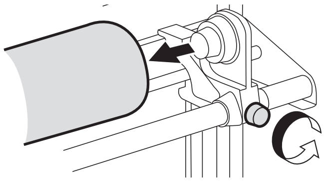
5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



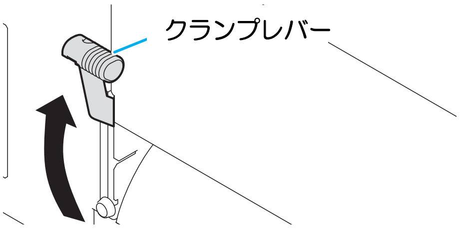
6 右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーに紙管を差し込む

- ロールホルダーを紙管に押し当てる力が弱いと、メディアがたるんで床に接触する場合があります。(☞ P.5-8)

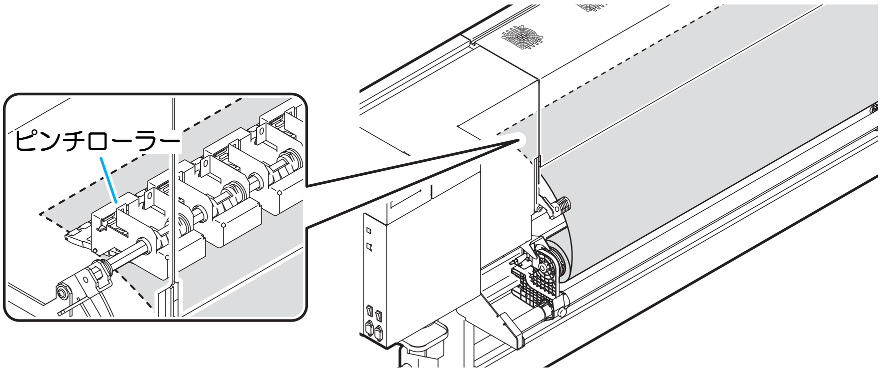


7 ロールホルダー固定ネジを締める

8 装置背面のクランプレバーを上げる



9 本装置にロールメディアを差し込む



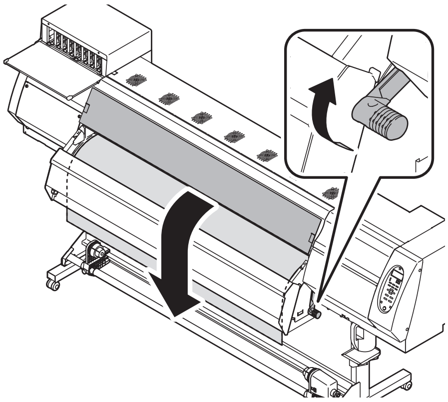
- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。

(1) プラテンの先端まで届く長さまで、メディアを引き出す
(2) フィードローラーとピンチローラーの間にメディアを差し込む
  - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。
(3) 装置背面からクランプレバーを下げる
  - メディアが保持されます。

10 ロールメディアを引き出す

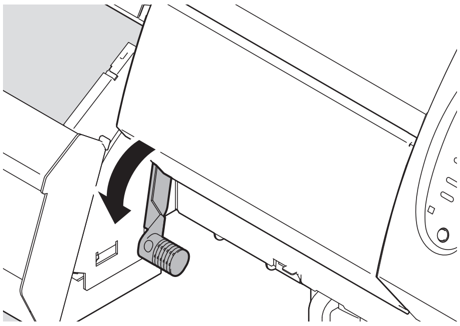
(1) 正面カバーを開ける
(2) 装置前面からクランプレバーを上げる
(3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める

重要！
・メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。



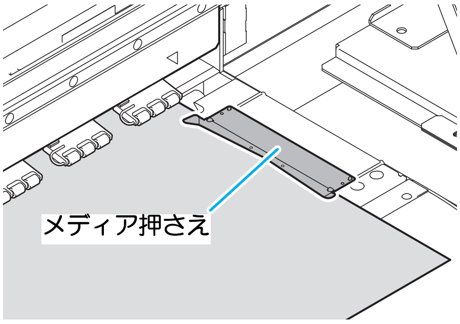
11 ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる

・メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっていることを確認してから、クランプレバーを下げてください。

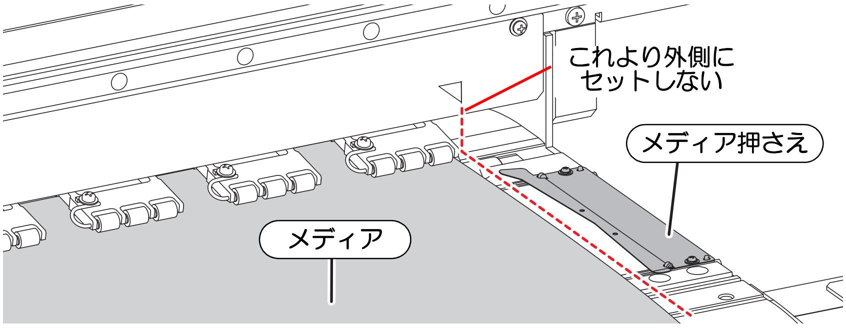


12 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

・右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
・厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



注意
・240mm 幅のメディアを使用する場合、◹に合わせてセットするとメディア検出できません。◹より 30mm 程度内側にセットしてください。
・◹より外側にメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。

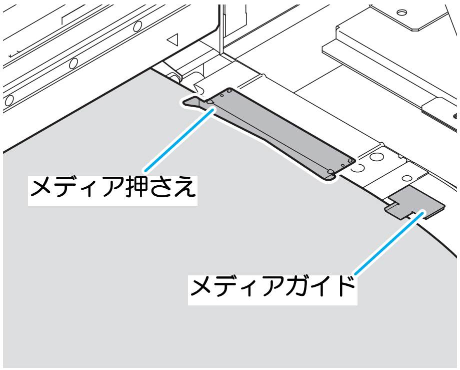


・メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

```
ERROR 516
メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛マス
```

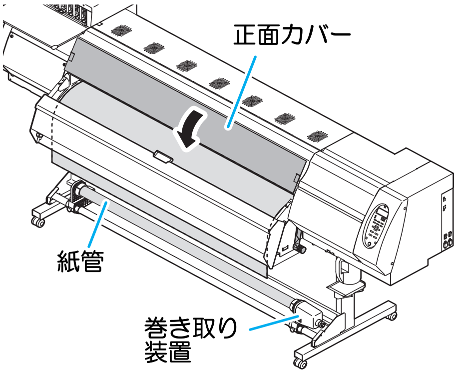
13 メディアガイドでメディアを軽くはさむ

- プリント結果が乾燥不足の場合、メディアガイドを使用してメディアのプラテンへの密着度を高めます。
- メディアガイドは、シート押さえに軽く突き当てた状態で使用します。
- メディアは、メディアガイドのツメの中央付近を通るようにします。



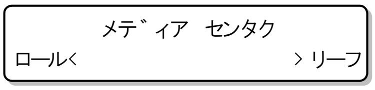
14 巻き取り装置を準備する

(1) 巻き取り装置に空の紙管をセットする
(2) 正面カバーを閉じる



15 ◀ を押して、“ ロール ” を選択する

- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が “ON” の場合 (☞ P.3-14)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(☞ P.2-12)

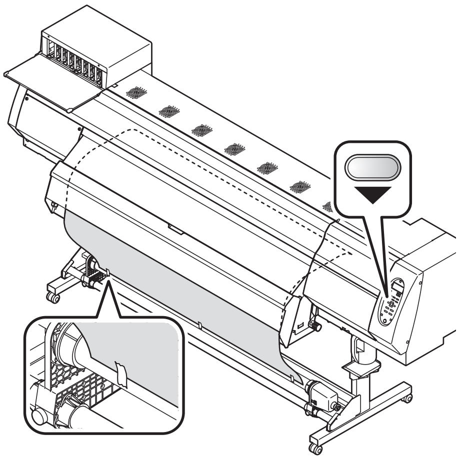


16 巻取装置にメディアを固定する (☞ P.2-12)

(1) ▼ を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
- ポストヒーター上の溝にメディアの先端が入り込んでいないことを確認してから、メディアをフィードしてください。

(2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
(3) 同様にしてメディアの左右を固定する
- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。

(4) ENTER を押す



- 使用するメディアにより、静電シートの取り付け・取り外しを行ってください。(☞ P.1-18)
- 検出位置でメディアの浮きがあると、正しく検出できないことがあります。

2
基本的な使い方

メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を "ON" にしている場合 (☞ P.3-14)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する

```
メテ゛ィア ナカ゛サ ニュウリョク
=                    50.0m
```

2 ▲▼を押して、メディア残量を入力する

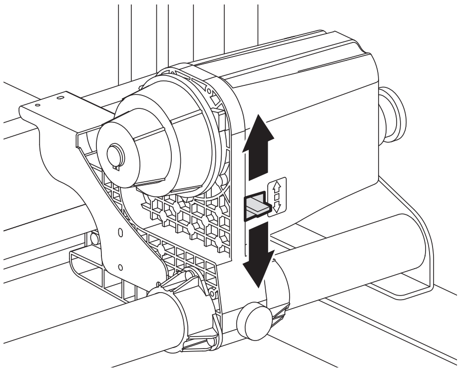
```
メテ゛ィア ナカ゛サ ニュウリョク
=                    50.0m
```

3 ENTERキーを押す

巻取装置について

巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

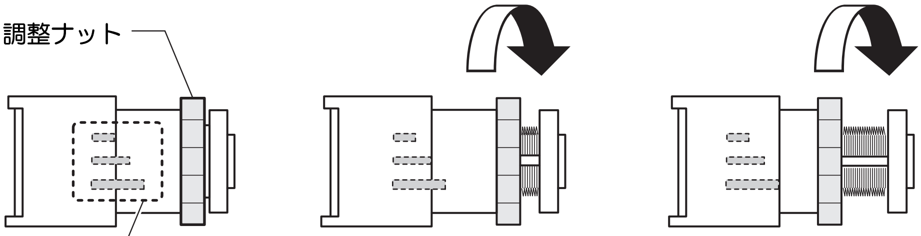
レバー上（REVERSE） : プリント面を内側にして巻き取る
レバー中（OFF） : 巻き取り動作をしない
レバー下（FORWARD）: プリント面を外側にして巻き取る



トルクリミッタを調節する

巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。（工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。）
薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる（ターポリン等の重量のある厚いメディア）
- 反時計回り: テンションが弱くなる（軽いメディア）



重要!
- トルクリミッタの調節が弱すぎると
  メディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強すぎると
  メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

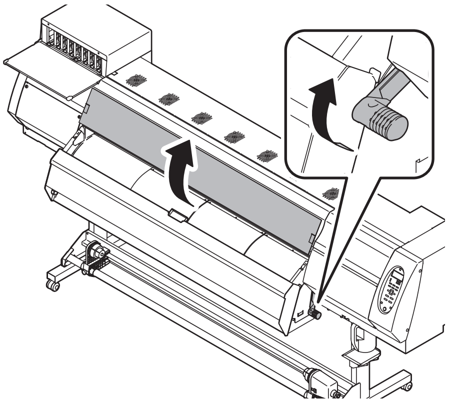
リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

重 要!
- プリント結果後端から 600mm 以上の余白がない場合、十分な乾燥フィードができません。このため乾燥ヒーターを通過できない部分が発生し、乾燥ムラ、画質の差が出てしまうので、ご注意ください。

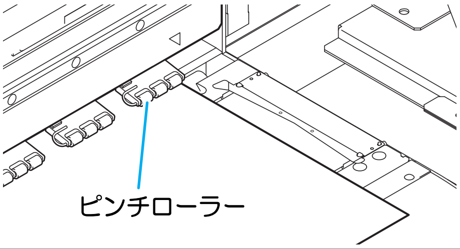
1 正面カバーを開ける

2 クランプレバーを上げる



3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

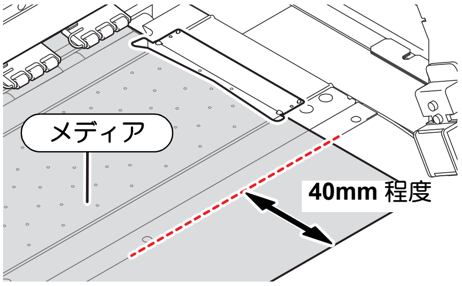
- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。
- ポストヒータの溝にメディアの先端がかからない位置にセットしてください。

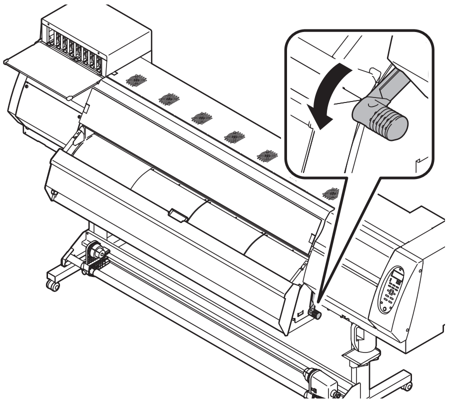


4 クランプレバーを下げる

- メディアはまっすぐにセットしてください。

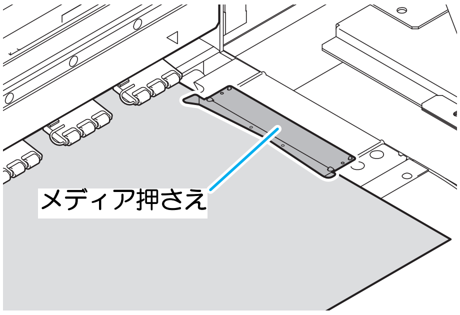
- メディアは、 プラテンの黒い部分に40mm 程度出した状態でセットしてください。 これより短いと、 メディア検出ができない場合があります。





5 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

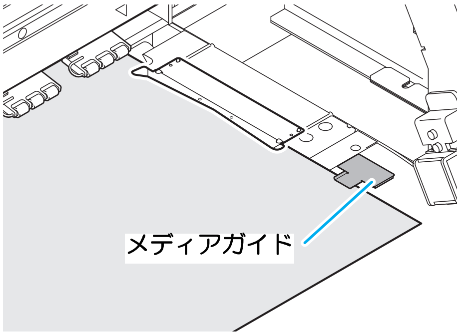
- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



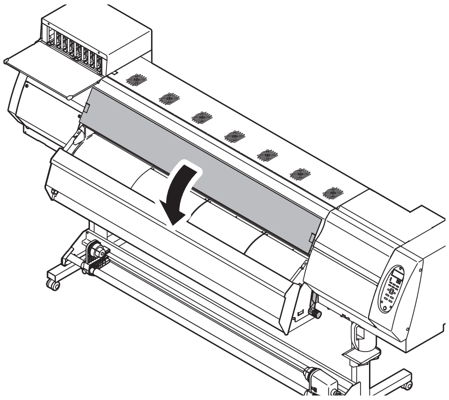
2
基本的な使い方

6 メディアガイドでメディアを軽くはさむ

- プリント結果が乾燥不足の場合、メディアガイドを使用してメディアのプラテンへの密着度を高めます。
- メディアガイドは、シート押さえに軽く突き当てた状態で使用します。
- メディアは、メディアガイドのツメの中央付近を通るようにします。



7 正面カバーを閉じる



8 ENTER キーを押す

9 ▶ を押して、“ リーフ ” を選択する

```
メテ゛ィア センタク
ロールく          > リーフ
```

10 メディアの検出を始める

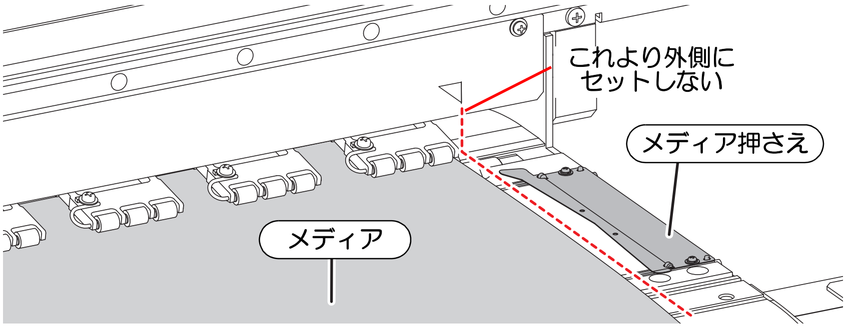
(1) メディア幅を検出する
(2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
(3) 検出が終わると、ローカルモードに戻る

```
** メテ゛ィア ケンシュツ **
```

メディア押さえをお使いになるときの注意事項

注意

- 240mm 幅のメディアを使用する場合、◹に合わせてセットするとメディア検出できません。◹より 30mm 程度内側にセットしてください。
- ◹より外側にメディアをセットしないでください。メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因になります。



- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

```
ERROR 516
メテ゛ィア イチ ミキ゛ スキ゛マス
```

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。
変更したい位置へ LED ポインタを移動させて決定します。

1 ローカルモードで、[▲][▼][◀][▶]を押す

- 原点設定モードになります。

ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　　　———

2 [▲][▼][◀][▶]を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- ここで[CUT]キーを押すと、メディアカットを実行できます。

ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　　0.0
原点位置（長さ）　原点位置（幅）

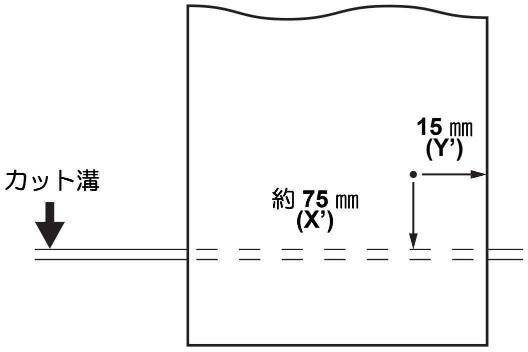
3 プリント原点を決定したら、[ENTER]キーを押す

- 原点が変更されます。

ケ゛ンテン　セッテイ
＊＊　ケ゛ンテン　＊＊

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。
横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。セッテイモードの「マージン」(☞ P.3-2) により変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度を設定します。
お使いになるメディアやプロファイルに合わせて、ヒーター温度を設定してください。

- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

- ここで設定する温度は、[セッテイ] メニュー内の [ヒーター] でも変更することができます。（☞ P.3-2）

1 HEATER キーを押す

```
PRE    PRT    POST
23°C   23°C   23°C
```

ヒーター温度確認画面

2 HEATER キーを押す

設定温度 ： 20 ～ 70 ℃

```
 OFF    OFF    OFF
( 23°C   23°C   23°C )
```

3 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、各ヒーターの温度を設定する

ヒーターの選択　： ◀ ▶ で選ぶ
温度の設定　　　： ▲ ▼ で設定

```
 OFF    OFF    OFF
( 23°C   23°C   23°C )
```

現在のヒーター温度

- ヒーターの加熱が始まります。（[HEAT] ランプがオレンジ点灯）
- ヒーターの温度が設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

4 終了するとき、ENTER キーを押す

- FAN HEATER の温度設定に移行します。

- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。（設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。）
- 電源電圧によってヒーターの発熱量は異なります。100V ～ 120V の電源電圧では、70°C まで到達しない場合があります。
- [セッテイ] メニュー内の [キュウチャク] を必要以上に強くすると、プリントヒーターの温度低下の原因になります。

重 要 !

- 本装置は、20 ～ 30°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。
- ヒーター温度を下げた場合、以下の方法で乾燥時間を確保してください。
  - [セッテイ] - [カンソウジカン] を設定する
  - 印刷パス数を増やす
  - 単方向で印刷する

ヒーターの温度を確認する

1 HEATER を押す

- 現在のヒーター温度が表示されます。

```
PRE    PRT    POST
40°C   50°C   35°C
```

2 確認を終わるとき、END を押す

- ローカルに戻ります。

乾燥ヒーターの温度を設定する

1 HEATER キーを 3 回押す

```
FAN HEATER
:ジュンビカンリョウ( 10°C)
```

2 ▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ

- 設定値：OFF/POST の設定値 +0 〜 20°C

```
FAN HEATER
:ジュンビカンリョウ( 20°C)
```

3 終了するとき、ENTER キーを押す

- ローカルに戻ります。

テストフィードをする

高温でヒーターを使用するため、お使いのメディアによっては波打つ場合があります。（☞ P.5-8）
プリント前に本機能を実施し、正常にメディアが搬送できることを確認します。

1 ローカルで、（TEST PRINT/CLEANING）キーを 3 回押す

```
テスト フィート゛
                 [ENT]
```

2 （ENTER）キーを押す

```
ハ゛ック フィート゛
:ON
```

3 （▲）（▼）を押して、ON/OFF を選ぶ

```
ハ゛ック フィート゛
:ON
```

- "ON" に設定した場合、 印刷を開始する前にロールメディアを巻き戻し、 たるみのない状態にしてください。

4 （ENTER）キーを押す

```
テスト フィート゛
カイシ           [ENT]
```

5 （ENTER）キーを押す

- テストフィードを開始します。

```
 ** テスト フィート゛ **
 シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

6 （END）キーを押す

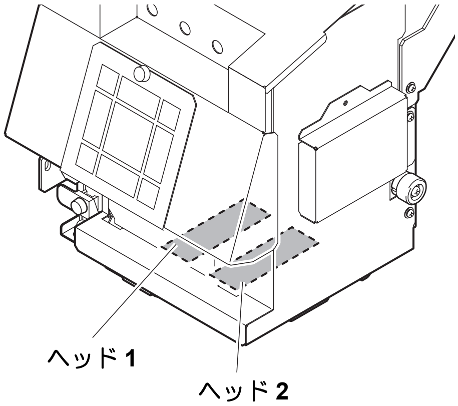
- （END）キーを押すまで、 フィード動作を継続します。
- ある程度フィードさせて搬送状況を確認し、（END）キーを押して終了します。

テストプリントをする

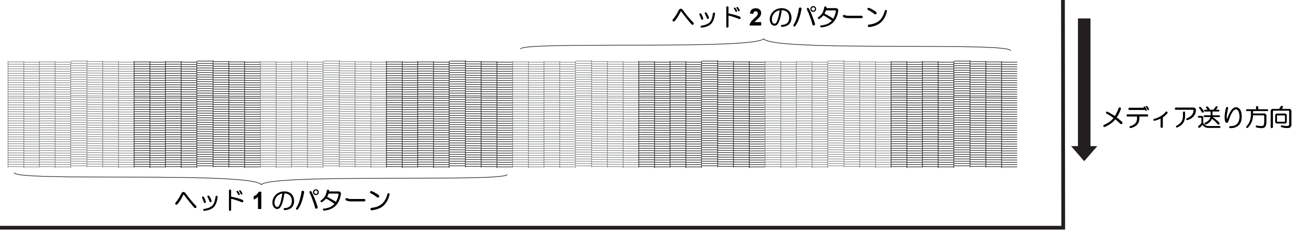
テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

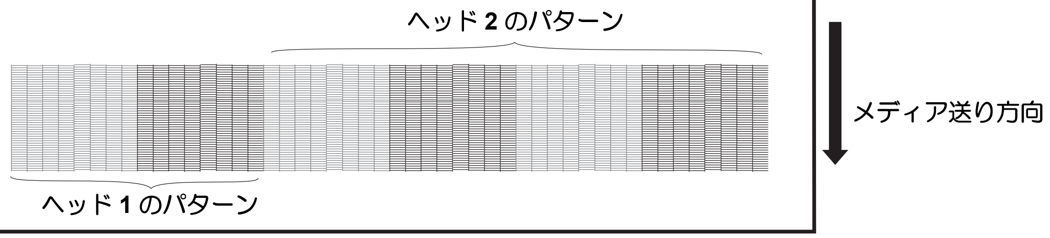
ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



- **4** 色
- **4** 色 **+W**
- **6** 色 **+W**



- **6** 色



テストプリントに関する注意事項

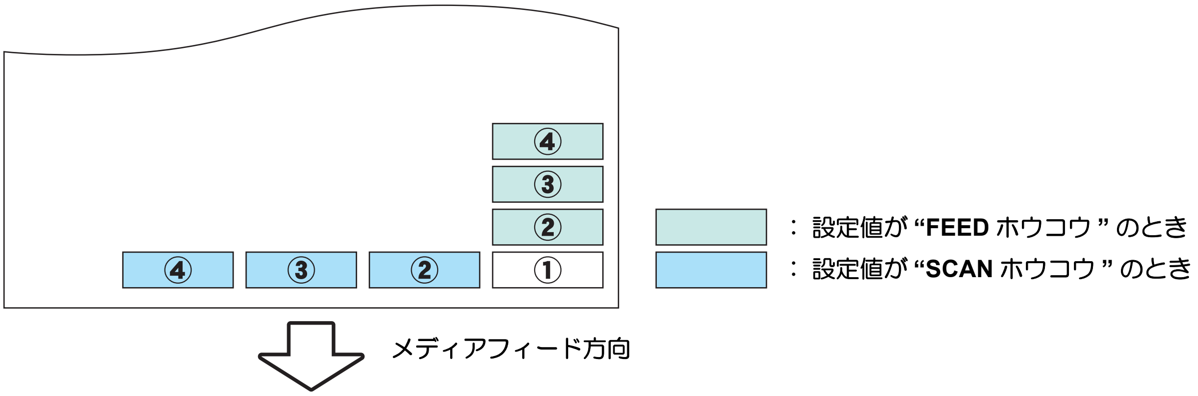
重 要！

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の 2 種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に確認してください	• メディアをセットしているか（☞ P.2-5）	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッド高さを調整しているか（☞ P.2-5）	

1 ローカルで、(TEST PRINT/CLEANING) キーを押す

• (▲)(▼) を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。

```
テスト　サクス゛
（SCAN　ホウコウ）　　[ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

• テストプリントを開始します。

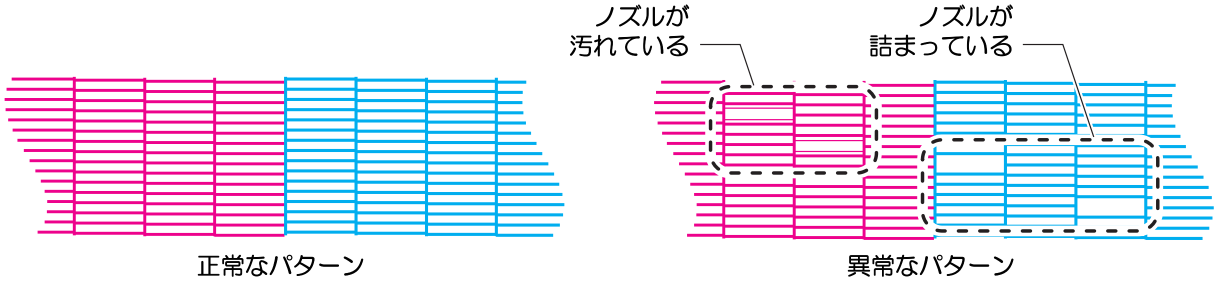
```
**　　フ゜リント　　**
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

• プリントが終わると、手順 1 の表示に戻ります。

```
テスト　サクス゛
（SCAN　ホウコウ）　　[ENT]
```

3 プリント結果を確認する

• 正常な場合は、操作を終了します。
• 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（☞ P.2-21）



重要！
• ノズルリカバリ機能（☞ P.4-27）を使用している場合、フィード補正が合っていないとリカバリされたノズル部分がずれてプリントされます。
その場合、フィード補正（☞ P.2-22）を行ってから再度テストプリントを行ってください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、 症状に合わせたクリーニングを行います。
次の 3 種類から選んでください。

ソフト　　：線の曲がり、 抜けがある時
ノーマル　：線の抜けがある時、 混色している時
ハード　　：ノーマル、 ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、 3 種類あります。 パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルモードで、(TEST PRINT/CLEANING)キーを 2 回押す

```
クリーニング゛
ソフト                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、 クリーニングタイプを選択する

```
クリーニング゛
ハート゛               [ENT]
```

ソフト ：線の曲がり、 抜けがある時
ノーマル：線の抜けがある時、 混色している時
ハード ：ノーマル、 ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時

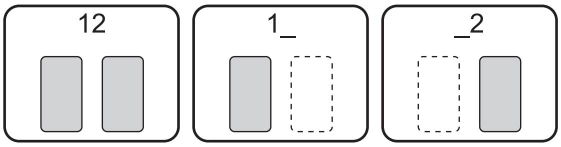
3 (ENTER)キーを押す

```
ヘット゛ センタク
:12
```

4 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、 クリーニングするヘッドを選択する

```
ヘット゛ センタク
:1_
```

- 設定値： 12 (両方のヘッド)
  1_ (ヘッド 1 のみ)
  _2 (ヘッド 2 のみ)



5 (ENTER)キーを押す

```
** クリーニング゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

- クリーニングが終わると、 手順 1 の表示に戻ります。

6 再度テストプリントを実行し、 プリント結果を確認する

- プリント結果が正常になるまで、 クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-5)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-20)
- 「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して画質不良を解消する (☞ P.4-27)

メディアの送りを設定する

メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、 プリントした画像に縞が入るなど、 きれいにプリントできない場合があります。

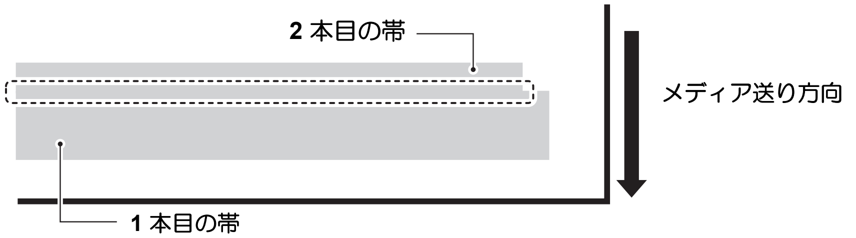
重 要!

- メディアの種類を変更した場合、パターンを確認し状況に応じて調整を行う必要があります。
- ヒーターの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、 メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする (P.2-5)

2 ローカルで、ADJUST キーを押す

```
フィード   ホセイ
              [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
フィード   ホセイ
プリント カイシ    [ENT]
```

4 ENTER キーを押して、 補正パターンをプリントする

```
  **  プリント  **
 シバラク オマチクダサイ
```

5 補正パターンを確認し、 補正値を入力する

" ＋ " に入力すると: 2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
" − " に入力すると: 2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

```
フィード   ホセイ
=                0
```

入力例： パターンが重なっている場合 パターンが離れている場合

+ に入力 0 - に入力

6 ENTER キーを押す

- 再度、 補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、 手順 5 の操作をして補正してください。

```
フィート゛  ホセイ
フ゜リント カイシ     [ENT]
```

7 終了するとき、 END キーを押す数回押す

ADJUST を使わないでフィード補正をするには

ADJUST キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってフィード補正を選ぶことができます。

ローカルで FUNCTION を押す	▲ ▼ を押して [セッテイ] を選ぶ	ENTER を 2 回押す ・ローカルから ADJUST を押したときと同じ状態になります。

プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、ADJUST キーを押す

```
*リモート*
           **.**mm
```

```
フィート゛ ホセイ
      0  ▶  0
```

現在の [フィードホセイ] の値

2 ▲ ▼ を押して、 補正量を入力する

- 補正量 ： -9999 ～ 9999
- ここで入力した値は、 すぐに補正量に反映されます。

3 ENTER キーを押す

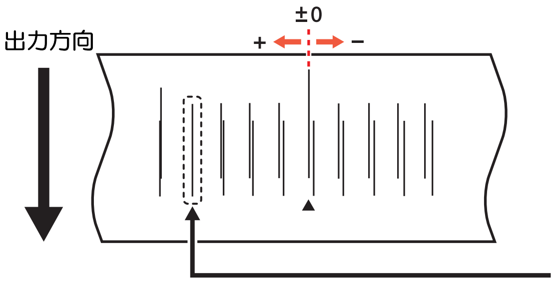
- 変更した値が登録されます。
- ENTER キーの代わりに END キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

```
*リモート*
           **.**mm
```

双方向プリントのドット位置を調整する

プリント時の条件 （メディアの厚み／ヘッドの高さなど） を変えたときは、 次の操作をして双方向 （Bi） プリント時のインクの落下位置を補正し、 適正なプリント結果を得られるようにしてください。

ドット位置補正パターンプリント例



プラス方向に **0** 位置から **4** 本目が、 直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は **4.0** です。

---

1 メディアをセットし、プリント原点を設定する (**P.2-5**)

---

2 ローカルで、 (ADJUST) キーを **2** 回押す

```
ト゛ット イチ ホセイ
                [ENT]
```

---

3 (ENTER) キーを押す

```
ト゛ット イチ ホセイ
:Y600dpi
```

---

4 (▲)(▼) を押して、 解像度を選択する

- 設定値 ： Y600dpi / Y900dpi / Y1200dpi
- すべての解像度において補正を行ってください。

```
ト゛ット イチ ホセイ
:Y600dpi
```

---

5 (ENTER) キーを押す

```
ト゛ット イチ ホセイ
フ゜リト カイシ       [ENT]
```

---

6 (ENTER) キーを押して、 パターンプリントを開始する

- テストパターンをプリントします。
  (プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

```
 **  フ゜リント  **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

---

7 (▲)(▼) を押して、 パターン **1** ～のドット位置を補正する

```
ハ゜ターン1
=                0.0
```

- 補正値 ： -40.0 ～ 40.0
- 正面カバーを開けてテストパターンを確認し、 往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40.0 ～ 40.0 の間にない場合は、 ヘッドの高さを調整後、 手順 2 から操作をし直してください。

8 (ENTER)キーを押す

- 次のテストパターンをプリントします。
- 手順 6、手順 7 を繰り返し行います。

9 終了するとき、(END)キーを数回押す

(ADJUST)を使わないでドット位置補正をするには

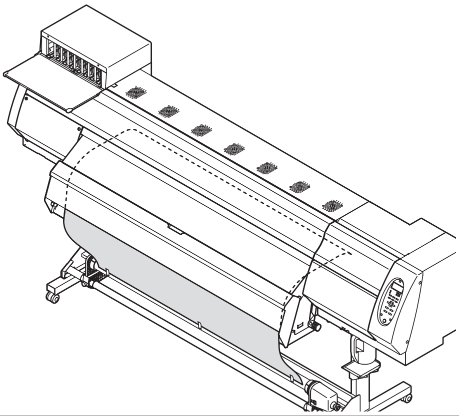
(ADJUST)キーを押さなくても、ローカルから(FUNCTION)キーを使ってドット位置補正を選ぶことができます。

ローカルで(FUNCTION)を押す → (▲)(▼)を押して [セッテイ] を選び (ENTER)を押す → (▲)(▼)を押して [ドットイチホセイ] を選び (ENTER)を押す
- ローカルから(ADJUST)を押したときと同じ状態になります。

プリントを開始する

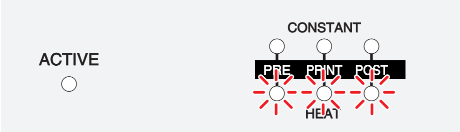
重 要!
- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1 メディアをセットする（P.2-5）



2 ヒーターの温度を確認する

- ディスプレイ下の [PRE]、[PRINT]、[POST] で CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。



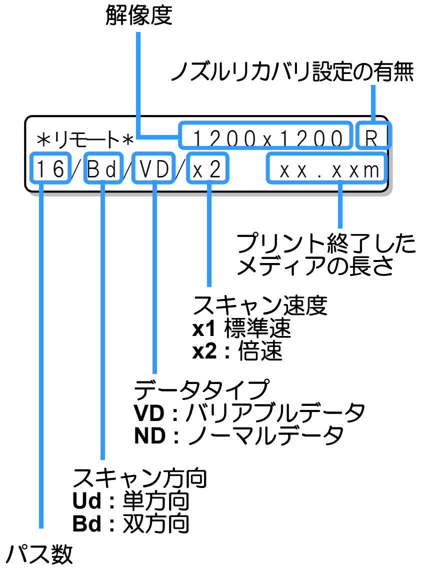
3 ローカルで、(REMOTE)キーを押す

- ヒーター温度が設定値に到達していない場合、右の画面が表示されます。(ENTER)キーを押すと、未到達でもリモートに移行できます。
- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

```
オント゛  セイキ゛ョ  チュウ
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

4 コンピュータからプリントするデータを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、プリント条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



5 プリント開始

プリントを中断する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、(REMOTE)キーを押す

```
< ローカル >
          ハハ゛: 1272mm
```

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度(REMOTE)キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで、(DATA CLEAR)キーを押す

```
テ゛ータ　クリア
                [ENT]
```

2 (ENTER)キーを押します。

```
** テ゛ータ　クリア **
```

- ACTIVE ランプが消灯します。
- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

プリント完了後の動作

乾燥フィード

プリントが完了すると、印刷面を乾燥ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端が乾燥ヒーターを通過するまでフィード動作を行います
- (END)キーを押すと動作を中止します
- 連続して次のデータを受信している場合、 最後のデータ完了後のみ動作します

乾燥フィード中の画面表示

```
カンソウ　チュウ
**:**:**
```

2

基本的な使い方

メディアをカットする

ロールメディアでプリント終了後にメディアをカットするには、次の 2 つの方法があります。

重要！
- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
- 巻取装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻取装置のスイッチを使って巻き取ってください。

1 CUT キーを押す

```
メテ゛ィア　カット
                    [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
メテ゛ィア　カット
カット　イチ          [▲▼]
```

3 ▲ ▼ を押して、カット位置を指定する

```
        カット　イチ
   0.0       ―――
```

4 ENTER キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

```
 **　メテ゛ィア　カット　**
  シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

- ジョグキーによる原点設定中に CUT キーを押して、メディアカットを実行することもできます。
(☞ P.2-15)

第３章
便利な使い方

この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、 各種設定方法について説明しています。

設定機能一覧表 3-2
ロジカルシークの設定をする 3-3
乾燥時間の設定をする 3-5
マージンの設定をする 3-6
パス間のシマを軽減する設定をする 3-7
オートクリーニングの設定をする 3-8
ノズル面の清掃頻度を設定する 3-9
その他の設定 3-10
マシン設定 3-11
オートパワーオフの設定をする................. 3-13
メディア残量表示の設定をする................. 3-14
ジコクの設定をする.................................. 3-16
タンイの設定をする.................................. 3-17
キーブザーの設定をする........................... 3-18
ネットワークの設定をする........................ 3-19
イベントメール機能の設定......................... 3-21
言語の設定をする...................................... 3-30
設定した内容を初期状態に戻す 3-31
装置情報を確認する 3-32
情報を表示させる....................................... 3-32
装置のバージョン情報などを確認する....... 3-34
本機の情報を表示する............................... 3-35

設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

重 要!

- 初期値「ホスト」の機能について
  RIP ソフトウェアで指定した設定値によって、動作させることができます。
  「ホスト」以外に設定した場合、RIP ソフトウェアからの指示によらずその設定値で動作します。
  RIP ソフトウェアによっては指示できない機能があります。その場合、「RIP からの指示がない場合」の設定値で動作します。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	初期値	RIP から指示がない場合 *1	概　要
フィードホセイ (☞ P.2-22)		-9999 ～ 0 ～ 9999	0	———	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドットイチホセイ		-40.0 ～ 0 ～ 40.0	0	———	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ヒーター (☞ P.2-16)	PRE	OFF/ 20 ～ 70 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 °F)	OFF	———	ヒーターの状態を設定します。
	PRINT	OFF/ 20 ～ 70 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 °F)	OFF	———	
	POST	OFF/ 20 ～ 70 ℃ (OFF/ 68 ～ 122 °F)	OFF	———	
	FAN HEATER(☞ P.2-17)	OFF/POST+0 ～ 20 ℃ *2	OFF	———	乾燥ヒーターの状態を設定します。
ロジカルシーク (☞ P.3-3)		ホスト / ON / OFF（プラテンハバ / メディアハバ / セッテイハバ）	ホスト	OFF(プラテンハバ)	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
カサネヌリ (☞ P.3-10)		ホスト /1 ～ 9	ホスト	1	インクの重ね塗りを行います。
カンソウジカン (☞ P.3-5)	スキャン	ホスト /0.0 ～ 9.9 sec	ホスト	0.0 sec	インクの乾燥時間を設定します。
マージン (☞ P.3-6)	ヒダリ	ホスト / -10 ～ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	メディア左右の余白を設定します。
	ミギ	ホスト / -10 ～ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	
キュウチャク (☞ P.3-10)		ホスト / ヒョウジュン / ヨワイ / ツヨイ	ホスト	ヒョウジュン	メディアの吸着する力を設定します。
フィードソクド (☞ P.3-10)		ホスト / 10 ～ 200%	ホスト	100%	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。*3
MAPS (☞ P.3-7)	OFF / ON		OFF	———	パス間のシマを軽減する設定をします。
	プリントソクド チョウセイ	-50 ～ +50%	0%	———	
オートクリーニング (☞ P.3-8)	カンカク	OFF / 1 ～ 1000 page	OFF	———	プリント開始時に、ヘッドを自動クリーニングする動作を設定します。
	タイプ	ソフト / ノーマル / ハード	ソフト	———	
テイキワイピング (☞ P.3-9)	タイプ 1	Lv1 ～ Lv6 / MANUAL(90 ～ 600sec)	Lv4	———	プリント中に行う、ワイピング頻度を設定します。
	タイプ 2	Lv1 ～ Lv6 / MANUAL(10 ～ 90min)	Lv4	———	

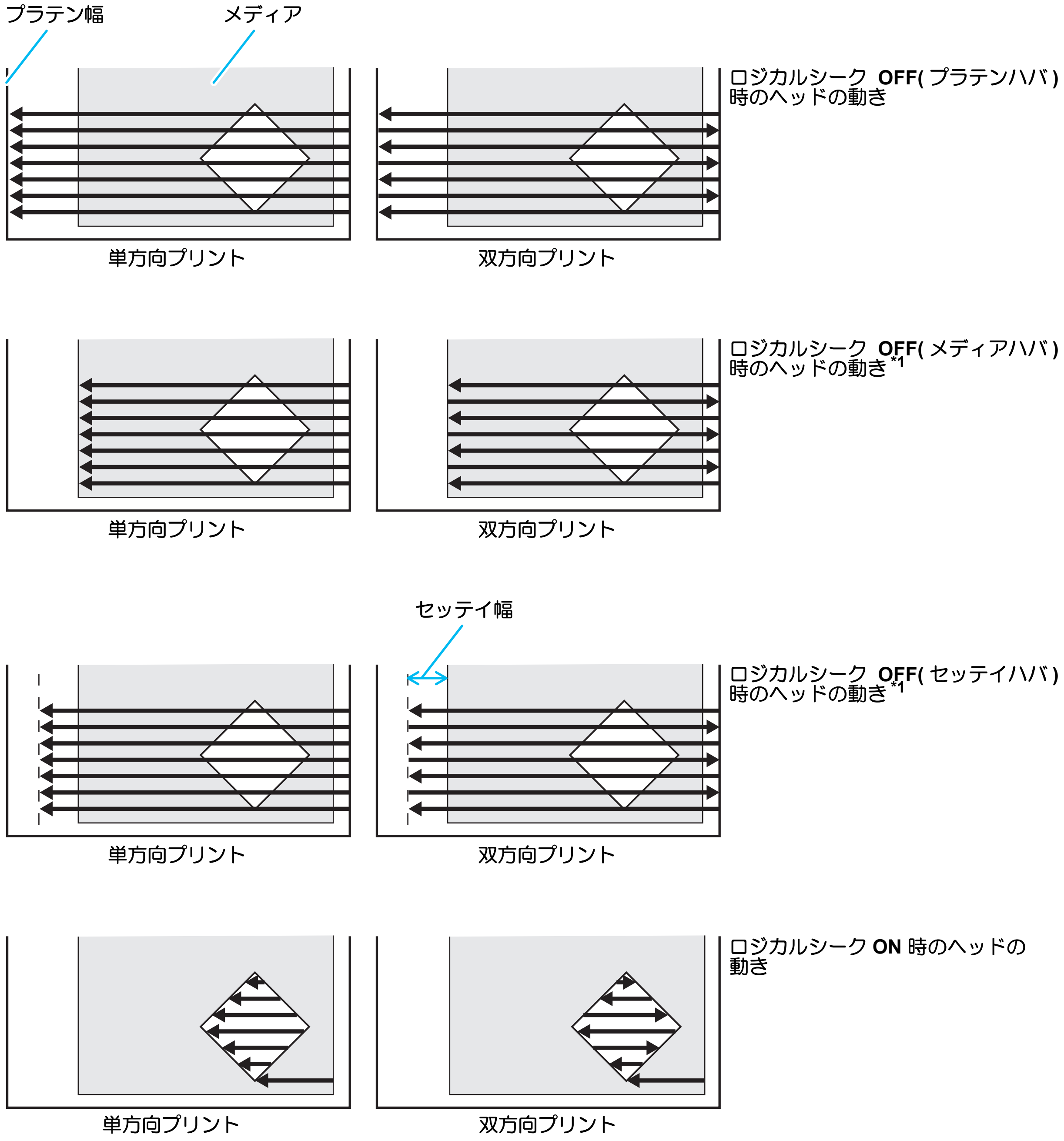
*1. 本機のタイプ登録で “ ホスト ” を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。
*2. 設定値の範囲は、POST ヒーター設定値 +20 ℃までとなります。
*3. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

ロジカルシークの設定をする

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

重 要！

- ロジカルシークの設定については、RasterLinkPro 側での指定ができません。本機の設定で “ ホスト ” に設定した場合は、プリント時 “ ロジカルシーク =OFF” の状態でプリントされます。
- **“ON” に設定した場合**
  プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。



*1. ファームウェア Ver.2.50 以降に対応

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィード゛   ホセイ    [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、[ロジカルシーク] を選ぶ

```
セッテイ
ロジ゛カルシーク         [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
ロジ゛カルシーク
：ホスト
```

5 (▲)(▼) を押して、設定値を選ぶ

```
ロジ゛カルシーク
：OFF
```

- 設定値：ホスト /ON/OFF

- 「ホスト」または「ON」を選択した場合、手順 7 へすすみます。
- 「OFF」を選択した場合、次の手順へすすみます。

6 (▲)(▼) を押して、ヘッドの動作を設定する*1

```
ロジ゛カルシーク  OFF
：プ゜ラテンハバ゛
```

- 設定値：プラテンハバ / メディアハバ / セッテイハバ

7 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
ロジ゛カルシーク         [ENT]
```

- 手順 6 で「セッテイハバ」を選択した場合、ヘッドの動作幅を設定します。*1
  (1) (▲)(▼) を押して、セッテイハバを 0mm ～プラテン幅の間で設定する
  (2) (ENTER) キーを押す

```
ヒタ゛リ(メテ゛ィアハバ゛+)
=           0mm
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

*1. ロジカルシーク「オフ」の設定は、ファームウェア Ver.2.50 以降に対応

乾燥時間の設定をする

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

・スキャン　：スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)

重要!
- RasterLinkPro 側の設定を優先させたいときは、設定値を “ ホスト ” にしてください。
- RasterLinkPro では、本機で設定する “ スキャン ” は “ スキャン毎の乾燥時間 ” と表示しています。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 ▲▼を押して、[カンソウジカン] を選ぶ

```
セッテイ
カンソウ  シ゛カン       [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
スキャン
=                   ホスト
```

5 ▲▼を押して、スキャン時の乾燥時間を設定する

- お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は “ ホスト ” を選択してください。
- スキャンの設定値 :
  ホストまたは 0.0 ～ 9.9 秒

```
スキャン
=                   ホスト
```

6 ENTER キーを押す

```
セッテイ
カンソウ  シ゛カン       [ENT]
```

7 終了するとき、END キーを数回押す

マージンの設定をする

メディアの左右の余白を設定します。
ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

重 要！

- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を " ホスト " にしてください。
- 付属の RIP ソフトウェア (RasterLinkPro) では、マージンの指定ができません。RasterLinkPro をお使いの場合に本機の設定で " ホスト " にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 ="0mm" の状態でプリントされます。

1	ローカルで、FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　[ENT]
2	ENTER キーを押す	セッテイ フィート゛ ホセイ　[ENT]
3	▲▼を押して、[マージン] を選ぶ	セッテイ マーシ゛ン　[ENT]
4	ENTER キーを押す	ヒタ゛リ =　ホスト
5	▲▼を押して、左マージンを設定する 設定値：ホストまたは -10 ～ 85mm(1mm 単位で設定)	ヒタ゛リ =　0mm
6	ENTER キーを押す	ミキ゛ =　ホスト
7	▲▼を押して、右マージンを設定する 設定値：ホストまたは -10 ～ 85mm(1mm 単位で設定)	ミキ゛ =　0mm
8	ENTER キーを押す	セッテイ マーシ゛ン　[ENT]
9	終了するとき、END キーを数回押す	

注 意

- メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

パス間のシマを軽減する設定をする

フィード補正 (☞ P.2-22) をしても送りシマが解消できない場合 “MAPS (Mimaki Advanced PassSystem) を有効にしてください。パスの境界を分散させることにより、送りシマが目立ちにくくなります。（ファームウェア Ver.2.00 以降に対応）

- 印刷条件によっては、効果が見られない場合があります。

1	ローカルで、FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　　　　[ENT]
2	ENTER キーを押す	セッテイ フィート゛　ホセイ　　[ENT]
3	▲ ▼ を押して、**[MAPS]** を選ぶ	セッテイ MAPS　　　　[ENT]
4	ENTER キーを押す	MAPS :OFF
5	▲ ▼ を押して、**ON/OFF** を設定する ・設定値：OFF, ON	MAPS :ON
6	ENTER キーを押す ・OFF を選択した場合、手順 9 へ進みます。	フ゜リント　ソクト゛　チョウセイ =　　　　0%
7	▲ ▼ を押して、プリント速度を変更する ・設定値：-50 ～ +50% 重要！ ・速度を上げた場合、ノズルリカバリの効果が出ない場合があります。あらかじめ確認を行った上で、使用してください。	フ゜リント　ソクト゛　チョウセイ =　　　　10%
8	ENTER キーを押す	セッテイ MAPS　　　　[ENT]
9	終了するとき、END キーを数回押す	

オートクリーニングの設定をする

設定した回数のプリントが終わると、自動的にヘッドのクリーニングを実行するように設定できます。
プリントが終了すると、本装置が前回ヘッドをクリーニングしてから行ったプリント回数をカウントし、クリーニングが必要な場合は、自動的にクリーニングを行います。
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果が持続します。
クリーニングは、装置起動後の最初のプリント前に行い、以降は、プリント回数単位で行います。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィード   ホセイ       [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、[オート　クリーニング] を選ぶ

```
セッテイ
オート クリーニング     [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
カンカク
=                       OFF
```

5 (▲)(▼) を押して、クリーニング間隔を設定する

- 設定値：OFF / 1 ～ 1000page
- OFF を選んだ場合は、手順 8 へ進みます。

```
カンカク
=                     1page
```

6 (ENTER) キーを押す

```
タイプ
: ソフト
```

7 (▲)(▼) を押して、クリーニングタイプを設定する

- 設定値：ソフト / ノーマル / ハード

```
タイプ
: ノーマル
```

8 (ENTER) キーを押す

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

重 要！
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

ノズル面の清掃頻度を設定する

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。
飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、それぞれのタイプの動作レベルを上げます。レベルを上げると、動作間隔を短くします。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィード゛ ホセイ          [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、[テイキ　ワイピング] を選ぶ

```
セッテイ
テイキ ワイヒ゜ング゛       [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
テイキ ワイヒ゜ング゛
:タイフ゜1
```

5 (▲)(▼) を押して、タイプを選択する

```
テイキ ワイヒ゜ング゛
:タイフ゜2
```

- 設定値：タイプ 1, タイプ 2
- タイプ 1 は、短い周期で入る簡易ワイピングです。
- タイプ 2 は、長い周期で入る通常ワイピングです。

6 (ENTER) キーを押す

```
タイフ゜2
:Lv4
```

7 (▲)(▼) を押して、動作レベルを設定し、(ENTER) キーを押す

```
タイフ゜2
:Lv5
```

- 設定値：Lv1 ～ Lv6, MANUAL
- Lv.1 の方が頻度が低く、Lv. が高くなるにつれて頻度が高くなります。
  Lv.1 の方が間隔が長く、Lv. が高くなるにつれて間隔が短くなります。
- Lv1 ～ Lv6 では、装置温度に応じて自動で動作間隔を切り替えます。
- MANUAL に設定した場合、手順 8 で動作間隔を設定します。

8 (▲)(▼) を押して、動作間隔を設定し、(ENTER) キーを押す

```
タイフ゜2
=                 10min
```

- 設定値：　タイプ 1: 90 ～ 600sec
  　　　　　タイプ 2: 10 ～ 90min
- 動作例：90Sec に設定した場合、45Sec ごとに 1 ヘッドずつワイプします。

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィート゛  ホセイ     [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して設定する項目を選ぶ

- P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

4 (ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選ぶ

- P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

6 (ENTER) キーを押す

7 終了するとき、(END) キーを数回押す

重 要！

- 設定した値は、電源を "OFF" にしても保持しています。

マシン設定

本装置を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項　目		設定値	初期値	内　容
オートパワーオフ		ナシ /10 ～ 600min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を “OFF” にします。
メディアザンリョウ		ON / OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
ジコクセッテイ		+4h ～ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。
タンイ	温度	°C（摂氏） / °F (華氏）	°C	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
ネットワーク （☞ P.3-19）	ネットワークの設定をします。			
	IPアドレスカクニン	現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。		
	MAC アドレスカクニン	現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。		
	DHCP	オン / オフ		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
	AutoIP	オン / オフ		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス[*1]	本装置が使用する IP アドレスを設定します。		
	デフォルトゲートウェイ[*1]	本装置が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。		
	DNS アドレス[*1]	本装置が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。		
	サブネットマスク[*1]	本装置が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。		

項目		設定値		初期値	内容
イベントメール (☞ P.3-21)	メールソウシン	オン / オフ		オフ	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。
	ソウシンイベントセンタク	プリントスタートイベント	オン / オフ	オフ	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
		プリントエンドイベント	オン / オフ	オフ	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
		エラーイベント	オン / オフ	オフ	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		ワーニングイベント	オン / オフ	オフ	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		ソノタイベント	オン / オフ	オフ	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
	メールアドレス	イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。		英数字、記号（96 文字）	
	ケンメイ	イベントメールの件名に記載する文字を設定します。		英数字、記号（8 文字）	
	サーバーセッテイ	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
		ソウシンモトメールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。	
		ニンショウホウシキ	POP before SMTP	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
			SMTP ニンショウ		
			オフ		
		ユーザーメイ *2		認証に使用するユーザー名を設定します。	
		パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。	
		POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。	
		APOP *3		APOP の ON/OFF を設定します。	
	テストメールソウシン	テストメールの送信を実行します。			
LANGUAGE		English ニホンゴ Deutsch Français Español Italiano Português		English	表示言語を変更します。
リセット (☞ P.3-31)		―――		―――	すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
*2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能
*3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定をする

設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" にします。

1	ローカルで、FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	ENTER キーを 2 回押す	オート パ゜ワーオフ = 30min
4	▲ ▼ を押して、電源をオフにする時間を設定する • 設定値：ナシ , 10 ～ 600 min	オート パ゜ワーオフ = 60min
5	ENTER キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
6	終了するとき、END キーを数回押す	

重 要！ • オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を **ON** にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 （ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。）
メディア残量表示を **OFF** にすると	リモートでメディア残量は表示されません。

- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(☞ P.2-12)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、**[** マシンセッテイ **]** を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ      [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、**[** メディアザンリョウ **]** を選ぶ

```
マシン セッテイ
メテ゛ィア ザ゛ンリョウ   [ENT]
```

5 (ENTER)キーを押す

```
メテ゛ィア ザ゛ンリョウ
:OFF
```

6 (▲)(▼)を押して、**ON/OFF** を選ぶ

```
メテ゛ィア ザ゛ンリョウ
:ON
```

7 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
メテ゛ィア ザ゛ンリョウ   [ENT]
```

8 終了するとき、(END)キーを数回押す

メディア残量をプリントする

現在のメディア残量をプリントすることができます。

- メディア残量表示の設定を “ON” にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量をプリントしておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量をプリントしておくことで、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (☞ P.2-12) で正確な数値を入力できます。

1 ローカルで、[▲][▼][◀][▶]を押す

- 原点設定モードになります。

```
ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　　　　―――
```

2 [▲][▼][◀][▶]を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、[▲][▼][◀][▶]を押さずに手順 3 へ進んでください。

- ここで[ENTER]キーを押すと、原点が変更されローカルに戻ります。

```
ケ゛ンテン　セッテイ
0.0　　　　0.0
```

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

3 [REMOTE]キーを押す

- [▲][▼][◀][▶]を押すと、手順 2 の画面に戻ります。
- [END]キーを押すと、ローカルに戻ります。

```
メテ゛ィア　ザ゛ンリョウ　フ゜リント
　　　　　　　　　　<ENT>
```

4 [ENTER]キーを押す

- メディア残量のプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

重要!

- 原点を変更してプリントすると、以降のデータのプリントをするときもここで設定した原点が有効になります。

3 便利な使い方

ジコクの設定をする

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ          [ENT]
```

3 (ENTER)キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　パ゚ワーオフ        [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
シ゛コクセッテイ          [ENT]
```

5 (ENTER)キーを押す

```
シ゛コクセッテイ
2011.10.05  21:30:00
```

6 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、時刻を入力する

時分の選択　：(◀)(▶)で選ぶ
時分の入力　：(▲)(▼)で入力

7 (ENTER)キーを押す

・入力した時刻が表示されます。

```
シ゛コクセッテイ
2011.10.05  15:30:00
```

8 終了するとき、(END)キーを数回押す

・ -20 ～ +4 時間の間で、設定できます。

タンイの設定をする

本装置で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ          [ENT]
```

3 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ      [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[タンイ] を選ぶ

```
マシン セッテイ
タンイ                  [ENT]
```

5 (ENTER)キーを押す

```
オント゛
: °C
```

6 (▲)(▼)を押して、温度の単位を選ぶ

- 設定値：°C/°F

7 (ENTER)キーを押す

```
ナカ゛サ
: mm
```

8 (▲)(▼)を押して、長さの単位を選ぶ

- 設定値：mm/inch

9 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
タンイ                  [ENT]
```

10 終了するとき、(END)キーを数回押す

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、**[** マシンセッテイ **]** を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ     [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、**[** キーブザー **]** を選ぶ

```
マシン セッテイ
キー フ゛サ゛ー         [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
キー フ゛サ゛ー
:ON
```

6 (▲)(▼)を押して、**ON/OFF** を選ぶ

```
キー フ゛サ゛ー
:OFF
```

7 (ENTER) キーを押す

```
マシン セッテイ
キー フ゛サ゛ー         [ENT]
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

ネットワークの設定をする

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（http://www.mimaki.co.jp/download）より " ドライバ / ユーティリティ " をチェックしてダウンロードしてください。

1	ローカルで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	(▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	(ENTER) キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
4	(▲)(▼) を押して、[ネットワーク] を選ぶ	マシン セッテイ ネットワーク [ENT]
5	(ENTER) キーを押す	ネットワーク IP アドレス カクニン [ENT]
6	(ENTER) キーを押す • 現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。 • ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。	IPアドレス カクニン 10.16.168.235
7	(ENTER) キーを押す	ネットワーク IP アドレス カクニン [ENT]
8	(▲)(▼) を押して、[MAC アドレスカクニン] を選ぶ	ネットワーク MAC アドレス カクニン [ENT]
9	(ENTER) キーを押す • 現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。	MACアドレス カクニン 00:0d:1b:00:00:00
10	(ENTER) キーを押す	ネットワーク MAC アドレス カクニン [ENT]
11	(▲)(▼) を押して、[DHCP] を選ぶ	ネットワーク DHCP [ENT]

12 ENTER キーを押す

- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

```
DHCP
:ON
```

13 ENTER キーを押す

```
ネットワーク
DHCP              [ENT]
```

14 ▲ ▼ を押して、**[AutoIP]** を選ぶ

```
ネットワーク
AutoIP            [ENT]
```

15 ENTER キーを押す

- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

```
AutoIP
:ON
```

16 ENTER キーを押す

```
ネットワーク
AutoIP            [ENT]
```

17 ▲ ▼ を押して次の各項目を選択する

- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレス / デフォルトゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 21 へ進みます。

18 ENTER キーを押す

19 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して設定する

20 ENTER キーを押して、設定値を確定する

21 終了するとき、END キーを数回押す

- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。
イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（http://www.mimaki.co.jp/download）より " ドライバ / ユーティリティ " をチェックしてダウンロードしてください。

免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがありえます。不達や遅延があった場合などおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

重 要！
- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

FUNCTION
セッテイ [ENT]

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]

3 (ENTER) キーを押す

マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ [ENT]

4 (▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ

マシン セッテイ
イヘ゛ント メール [ENT]

5 (ENTER) キーを押す

イヘ゛ント メール
メール ソウシン [ENT]

6 (ENTER) キーを押す

メール ソウシン
: オフ

7 (▲)(▼)を押して、" オン " を選ぶ

メール ソウシン
: オン

8 (ENTER) キーを押す

イヘ゛ント メール
メール ソウシン [ENT]

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

3
便利な使い方

イベントメールを送るイベントを設定する

1	ローカルで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	(ENTER) キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
4	(▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ	マシン セッテイ イベ゛ント メール [ENT]
5	(ENTER) キーを押す	イベ゛ント メール メール ソウシン [ENT]
6	(▲)(▼)を押して [ソウシンイベントセンタク] を選択する	イベ゛ント メール ソウシン イベ゛ント センタク[ENT]
7	(ENTER) キーを押す ・プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。 ・(▲)(▼)を押して、オン / オフを設定します。	フ゜リントスタート イベ゛ント : オフ
8	(ENTER) キーを押す ・プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。 ・(▲)(▼)を押して、オン / オフを設定します。	フ゜リントエント゛ イベ゛ント : オフ
9	(ENTER) キーを押す ・エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。 ・(▲)(▼)を押して、オン / オフを設定します。	エラー イベ゛ント : オフ
10	(ENTER) キーを押す ・プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。 ・(▲)(▼)を押して、オン / オフを設定します。	ワーニング゛ イベ゛ント : オフ
11	(ENTER) キーを押す ・上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。 ・(▲)(▼)を押して、オン / オフを設定します。	ソノタ イベ゛ント : オフ
12	(ENTER) キーを押す	イベ゛ント メール ソウシン イベ゛ント センタク[ENT]

13 終了するとき、(END) キーを数回押す

メールアドレスを設定する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ            [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ      [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ   [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
マシン セッテイ
イヘ゛ント メール     [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
イヘ゛ント メール
メール ソウシン      [ENT]
```

6 (▲)(▼) を押して [メールアドレス] を選ぶ

```
イヘ゛ント メール
メール アト゛レス     [ENT]
```

7 (ENTER) キーを押す

```
メール アト゛レス
```

8 (▲)(▼)(◀)(▶) を押してアドレスを設定する

- イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
- 英数字、記号、96 文字以内で設定します。

9 (ENTER) キーを押す

```
イヘ゛ント メール
メール アト゛レス     [ENT]
```

10 終了するとき、(END) キーを数回押す

件名を設定する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                  [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン セッテイ           [ENT]
```

3 (ENTER)キーを押す

```
マシン セッテイ
オート パ゜ワーオフ       [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
マシン セッテイ
イベ゛ント メール         [ENT]
```

5 (ENTER)キーを押す

```
イベ゛ント メール
メール ソウシン           [ENT]
```

6 (▲)(▼)を押して [ケンメイ] を選択する

```
イベ゛ント メール
ケンメイ                  [ENT]
```

7 (ENTER)キーを押す

```
ケンメイ
JV400-#1                  [ENT]
```

8 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して件名を設定する

- イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
- 英数字、記号、8 文字以内で設定します。

9 (ENTER)キーを押す

```
イベ゛ント メール
ケンメイ                  [ENT]
```

10 終了するとき、(END)キーを数回押す

サーバーを設定する

1	ローカルで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	(ENTER)キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
4	(▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ	マシン セッテイ イベ゛ント メール [ENT]
5	(ENTER)キーを押す	イベ゛ント メール メール ソウシン [ENT]
6	(▲)(▼)を押して [サーバー セッテイ] を選択する	イベ゛ント メール サーハ゛ー セッテイ [ENT]
7	(ENTER)キーを押す	サーハ゛ー セッテイ SMTP アト゛レス [ENT]
8	(ENTER)キーを押す • (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、SMTP サーバーを設定します。 • SMTP サーバー名を入力してください。	SMTP アト゛レス
9	(ENTER)キーを押す	サーハ゛ー セッテイ SMTP アト゛レス [ENT]
10	(▲)(▼)を押して [SMTP ポート] を選択する	サーハ゛ー セッテイ SMTP ホ゜ート [ENT]
11	(ENTER)キーを押す	SMTP ホ゜ート No. : 25 [ENT]
12	(▲)(▼)を押して [SMTP ポート] を設定する • SMTP のポート番号を設定します。	
13	(ENTER)キーを押す	サーハ゛ー セッテイ SMTP ホ゜ート [ENT]

3

便利な使い方

14 ▲▼を押して [ニンショウ ホウシキ] を選択する

```
サーバ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ        [ENT]
```

15 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー セッテイ
:POP before SMTP
```

16 ▲▼を押して認証方式を設定する

```
サーバ゛ー セッテイ
:POP before SMTP
```

- SMTP サーバーの認証方式を設定します。
- [オフ] を選択した場合、手順 32 に進みます。

17 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ        [ENT]
```

18 ▲▼を押して[ソウシンモトメールアドレス]を選択する

```
サーバ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアト゛レス[ENT]
```

19 ENTER キーを押す

```
ソウシンモト メールアト゛レス
```

- ▲▼◀▶を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
- 英数字、記号、64 文字以内で設定します。

- 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。

20 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアト゛レス[ENT]
```

21 ▲▼を押して [ユーザーメイ] を選択する

```
サーバ゛ー セッテイ
ユーザ゛ー メイ            [ENT]
```

22 ENTER キーを押す

```
ユーザ゛ー メイ
```

- ▲▼◀▶を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
- 英数字、記号、30 文字以内で設定します。

23 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー セッテイ
ユーザ゛ー メイ            [ENT]
```

24 ▲▼を押して [パスワード] を選択する

```
サーバ゛ー セッテイ
ハ゜スワート゛              [ENT]
```

25 ENTER キーを押す

- ▲▼◀▶を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15 文字以内で設定します。

```
ハ゜スワート゛
 ***************
```

- パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

26 ENTER キーを押す

- 手順 16 で [POP before SMTP] を選択した場合、手順 27 ～ 31 を設定します。

```
サーハ゛ー セッテイ
ハ゜スワート゛        [ENT]
```

27 ▲▼を押して **[POP3 アドレス]** を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
POP3 アト゛レス       [ENT]
```

28 ENTER キーを押す

- ▲▼◀▶を押して、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

```
POP3 アト゛レス
```

29 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
POP3 アト゛レス       [ENT]
```

30 ▲▼を押して **[APOP]** を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
APOP                 [ENT]
```

31 ENTER キーを押す

- ▲▼を押して、APOP のオン / オフを設定します。

```
APOP
:オン
```

32 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
APOP                 [ENT]
```

33 終了するとき、END キーを数回押す

テストメールを送信する

1	ローカルで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	(ENTER) キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
4	(▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ	マシン セッテイ イベ゛ント メール [ENT]
5	(ENTER) キーを押す	イベ゛ント メール メール ソウシン [ENT]
6	(▲)(▼)を押して [テストメールソウシン] を選択する	イベ゛ント メール テストメール ソウシン [ENT]
7	(ENTER) キーを押す	テストメール ソウシン シ゛ッコウ :ent
8	(ENTER) キーを押す • 送信結果を表示します。 • テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードを表示します。次ページを参照し、対処してください。	テストメール ソウシン カンリョウ テストメール ソウシン シッハ゜イ : 12345 :ent エラーコード
9	終了するとき、(END) キーを数回押す	

重要!

- テストメールの送信結果は、本装置がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードを表示します。
- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	• 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 • 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	• 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 **11004**	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	• POP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	• POP サーバー設定を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。 • APOP の設定を確認してください。 • 認証方式を確認してください。
10013 **10014**	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	• SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	• SMTP サーバー設定を確認してください。 • SMTP ポート番号を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** **11***** **20***** **21*****	SMTP サーバーからエラーが返答されました または応答がありません	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 • プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	• ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	• メールアドレスを確認してください。 • メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 • ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 **22008**	SMTP 認証エラー	• 認証方式を確認してください。
23*** **24***** **25*****	SMTP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。

“***” はメールサーバーから返答されたエラーコード

言語の設定をする

表示言語を変更します。

1	ローカルで、FUNCTION キーを押す	FUNCTION セッテイ　　[ENT]
2	▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン　セッテイ　　[ENT]
3	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ オート　パ゜ワーオフ　　[ENT]
4	▲▼を押して、**[LANGUAGE]** を選ぶ	マシン　セッテイ LANGUAGE　　[ENT]
5	ENTER キーを押す	LANGUAGE :English
6	▲▼を押して、言語を選ぶ • 設定値：ニホンゴ / English / Deutsch / Français / Español / Italiano / Português	LANGUAGE : ニホンコ゛
7	ENTER キーを押す	マシン　セッテイ LANGUAGE　　[ENT]
8	終了するとき、END キーを数回押す	

設定した内容を初期状態に戻す

「セッテイ」「メンテナンス」「マシンセッテイ」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1	ローカルで、(FUNCTION) キーを押す	FUNCTION セッテイ [ENT]
2	(▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ	FUNCTION マシン セッテイ [ENT]
3	(ENTER)キーを押す	マシン セッテイ オート パ゜ワーオフ [ENT]
4	(▲)(▼)を押して、[リセット] を選ぶ	マシン セッテイ リセット [ENT]
5	(ENTER)キーを押す	セッテイチ スヘ゛テリセットサレマス ヨロシイテ゛スカ? [ENT]
6	(ENTER)キーを押す • 設定を初期化します。	リセット シ゛ッコウ [ENT]
7	終了するとき、(END)キーを数回押す • 初期設定画面が表示されます。(言語 / 時刻)	

装置情報を確認する

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項　目		内　容
エラー履歴*1		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。[▲][▼]を押して、発生順に発生日時 (年月日時分) とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
ショウ ジョウキョウ	ワイピング	装置の使用状況を確認します。
	ハイ インクタンク	
	プリント チョウ	
	プリント メンセキ	
	ショウ ジカン	
	フィルター (White)	
バージョン		装置のファームウェアバージョンを確認します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。
インクコウカンレポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。

*1. ファームウェア Ver.2.50 以降に対応

情報を表示させる

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 [▲][▼]を押して、[ジョウホウ] を選ぶ

```
FUNCTION
ジ゛ョウホウ              [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
ジ゛ョウホウ
ショウ　ジ゛ョウキョウ        [ENT]
```

4 [▲][▼]を押して、[ショウ ジョウキョウ] を選ぶ

5 ENTER キーを押す

- ワイピング情報を表示します。
- ENTER キーを押すごとに、次の装置情報が順次が表示されます。

ワイピング		**廃インクタンク**	
ワイピング情報を表示	ワイヒ゜ンク゛ = 0	廃インクタンク情報を表示	ハイ インクタンク = 0%
プリント長		**プリント面積**	
これまでにプリントした長さを表示	フ゜リント チョウ = 0m	これまでにプリントした面積を表示	フ゜リント メンセキ = 0m2
使用時間		**フィルター (White)**	
装置の使用時間情報を表示	シヨウ シ゛カン = 0h	これまでに使用した時間を表示	フィルター(White) = 0d

- ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ワイピング表示中に MAINT. キーを押します。
  ENTER キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。

  ワイヒ゜ンク゛
  クリア シマスカ? [ENT]

- ホワイトインクフィルターの使用カウントをリセットしたい場合、ホワイトインクフィルター表示中に MAINT. キーを押します。
  ENTER キーを押すと、ホワイトインクフィルターの使用時間をリセットします。

  フィルター(White)
  クリア シマスカ? [ENT]

装置のバージョン情報などを確認する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[ジョウホウ] を選ぶ

```
FUNCTION
ジ゛ョウホウ              [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
ジ゛ョウホウ
ショウ  ジ゛ョウキョウ       [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、情報の種類を選ぶ

```
ジ゛ョウホウ
バ゛ーシ゛ョン            [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
JV400-160LX      V1.00
MRL-III          V1.80
```

- [エラーリレキ] を選んだ場合、装置のエラー履歴情報を表示します。
- [バージョン] を選んだ場合、装置のバージョン情報を表示します。
- [リスト] を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。
- [インクコウカンレポート] を選んだ場合、装置で使用したインクの履歴がプリントされます。

表示される情報について

表示させた情報の見方を説明します。

エラー履歴*1
発生年月日を表示
`[00000]`
`2013/07/19 22:13:00`
◀( ) ( )▶
エラー内容を表示
`ERROR 12a  *****`
`HDC SPEED`
	バージョン
	F/W などのバージョン情報を表示
	`JV400-160LX  V1.00`
	`MRL-III  V1.80`

*1. ファームウェア Ver.2.50 以降に対応

本機の情報を表示する

1 ローカルで、ENTER キーを押す

```
＊＊＊インク          MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ          99999999
```

2 ENTER キーを押すごとに、順次情報が表示される

- 以下のような情報が表示されます。

インク残量

```
＊＊＊インク          MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ          99999999
```

エラー表示 (インクエラー発生時)

```
インクIC  ヨメナイ
MMCCYYKK
```

ワーニング表示 (ワーニング発生時)

```
ワーニング゛
ワイパ゜ー  コウカン        [MNT]
```

メディア幅

```
メテ゛ィア  ハバ゛
=                  1000mm
```

シリアル番号

```
シリアル  No.
:********
```

バージョン

```
JV400-160LX        V1.00
MRL-III            V1.80
```

ノズルリカバリ

```
ノズ゛ル  リカバ゛リ
カクニン               [MNT]
```

MAINT. キーを押して詳細を確認

3 ENTER キーを押して、ローカルに戻る

3

便利な使い方

第４章
お手入れ

この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ 4-2
お手入れ上のご注意 4-2
メンテナンス洗浄液について 4-2
外装のお手入れ 4-3
プラテンの清掃 4-3
ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 4-3
メディアセンサーの清掃 4-4
メディア押さえの清掃 4-4
キャッピングステーションのメンテナンス ..4-5
ワイパーとキャップの清掃 4-5
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ) 4-12
長期間使用しない場合 (ホカン センジョウ） 4-13
ヘッド周辺の清掃 (毎日) 4-16
C 吸収材の交換方法 4-18
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-20
ヘッドノズルの洗浄 4-20
ノズル面の洗浄 4-23
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-25
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする 4-27
オートメンテナンス機能 4-30
リフレッシュ間隔を設定する 4-30
クリーニング間隔を設定する 4-31
ホワイトインクのクリーニング間隔を設定する 4-32
消耗品の交換 4-33
ワイパーを交換する 4-33
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-34
廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合 4-37
カッター刃の交換 4-38
ホワイトインクフィルターの交換 4-40
ホワイトインクフィルターの交換が必要になると 4-40

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	• メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	• インクは有機溶剤を使用しています。皮膚に直接付かないように、清掃の際は手袋を着用してください。
	• 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源スイッチ・主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	• 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	• 本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (出力) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。 • 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、側面の主電源スイッチは ON(｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	• 有機溶剤インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。 ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 • ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 • 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 • メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

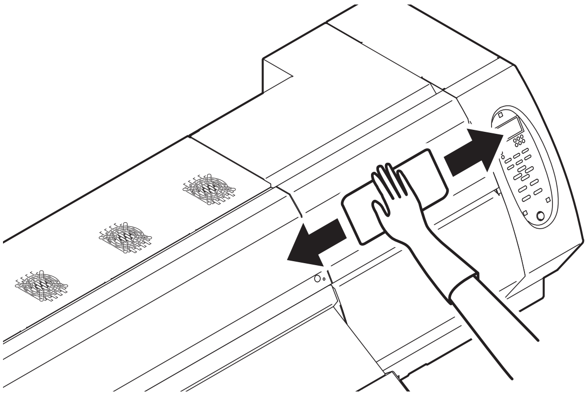
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
LX100 インク LX101 インク	メンテナンス洗浄液 LX キット （ML001-Z-K1） 洗浄液 01 カートリッジ （FL001-Z-22） [別売]

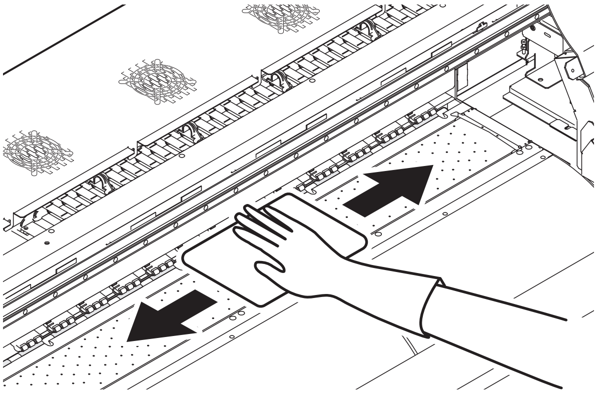
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



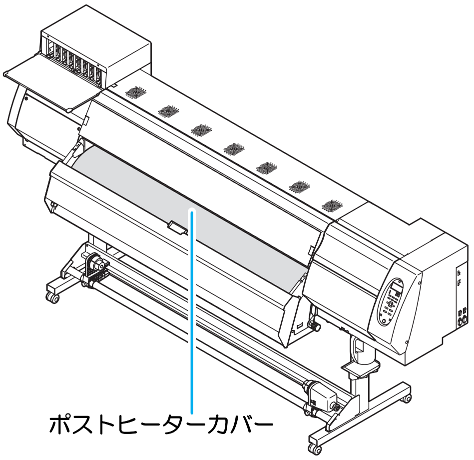
- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

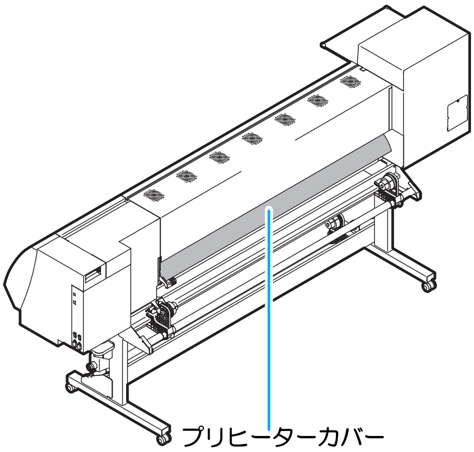
重要!

- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝 (カット溝) などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃

ポストヒーターカバーとプリヒーターカバーは、メディアの粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つ場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。





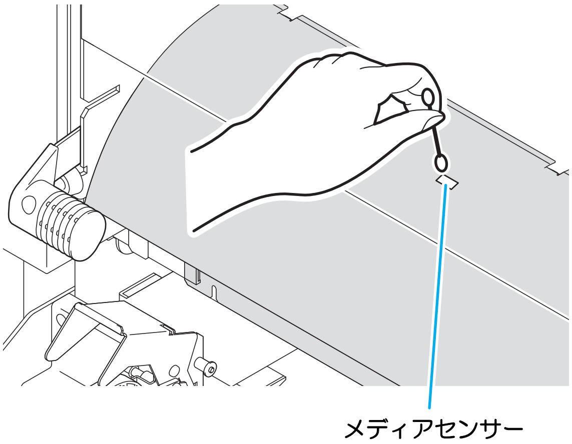
4 お手入れ

メディアセンサーの清掃

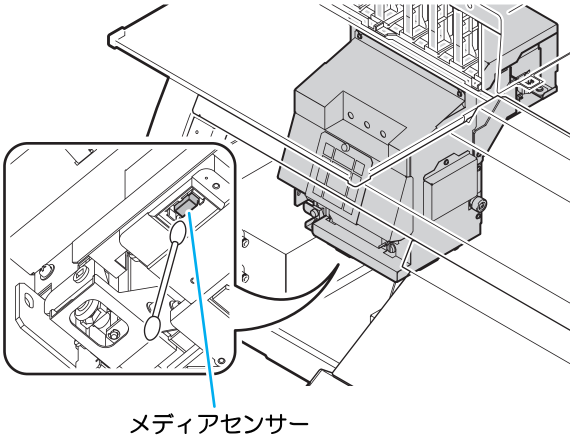
メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-16「ヘッド周辺の清掃 (毎日)」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

装置背面

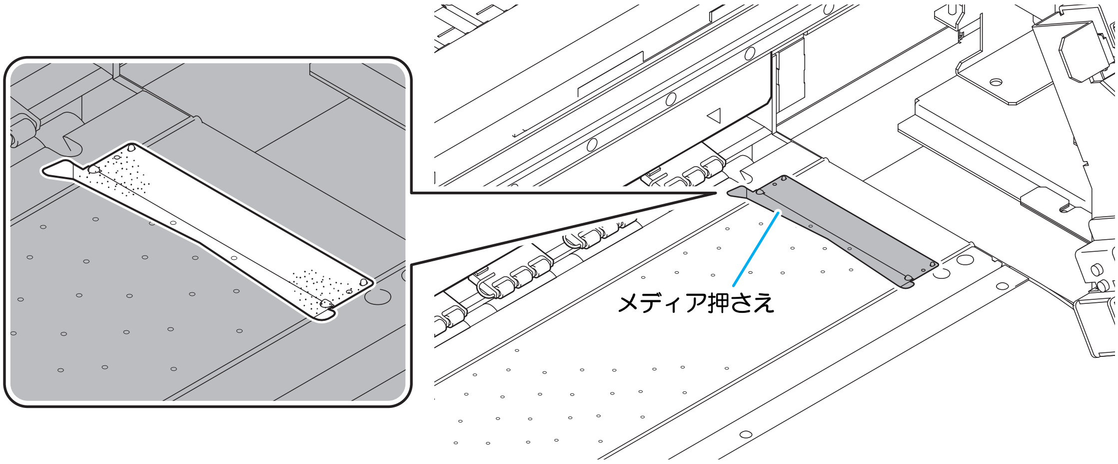


ヘッド下面



メディア押さえの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。
メディア押さえは、定期的に清掃してください。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

重 要！
- ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃はこまめに実施してください。
- 定期的に右のメッセージをローカルに表示します。
  MAINT. キーを押すと、清掃機能へ移行します。

```
ワイハ゜ー セイソウ
                [MNT]
```

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- **ワイパー** ： ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ** ： ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-21) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス洗浄液 LX キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

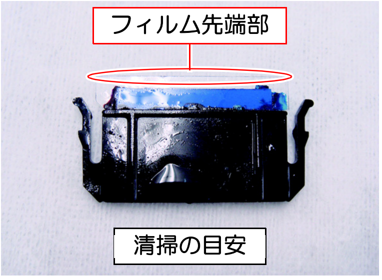
メンテナンスに必要な道具	• メンテナンス洗浄液 LX キット（ML001-Z-K1）	• キムワイプ ®(SPA-0207)	
	• クリーンスティック (SPC-0527)	• 手袋	• ゴーグル

注 意
- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、MAINT. キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-5 手順 1 ～ 2)

ワイパーとキャップの清掃

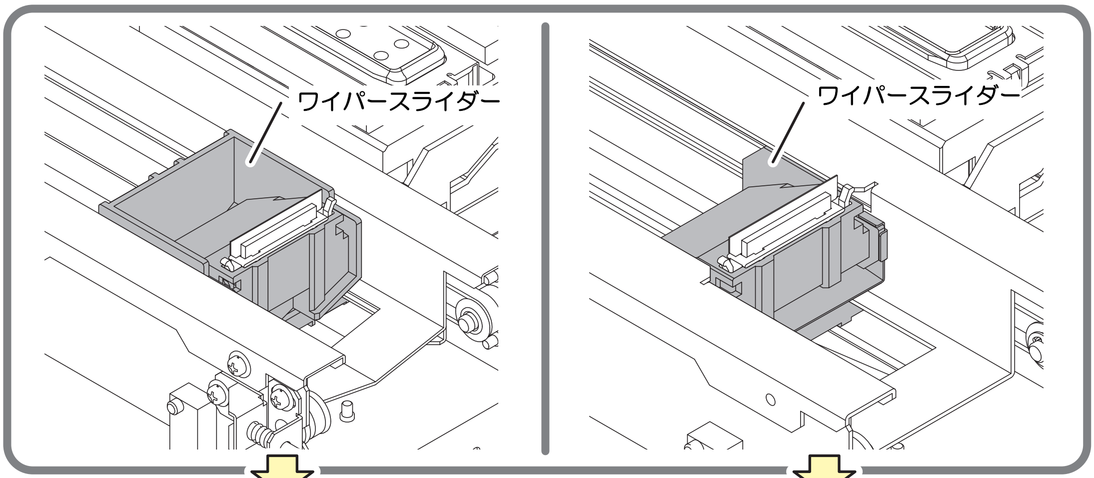
ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまります。安定したプリント品質を保持するため、1 日の作業が終わったらワイパーとキャップの洗浄をしてください。

重 要！
- 次のような場合は、新品のワイパーに交換してください。(☞ P.4-33)
  ワイパーを十分にクリーニングをしても、ノズル詰まり等が頻繁に発生する場合
  ワイパーが変形している場合
  固着したインクが拭き取れない場合
  ワイパー交換のワーニングが表示された場合
- 清掃の際は、クリーンスティックやキムワイプ ® の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。
- ワイパー清掃では、1 ～ 24 時間ワイパーをメンテナンス洗浄液 LX に浸した後、ワイパーフィルム先端部に固着したインクが無い状態になるまで十分に清掃してください。ワイパーを 2 つ以上用意し、交互にお使いになることをお勧めします。
- ワイパーの清掃が不十分だとノズル詰まりの原因となります。
- ワイパーの洗浄はキムワイプ ®(SPA-0207) 以外のもので行わないでください。ワイパーに繊維クズが残ることがあります。



4
お手入れ

・ワイパー周辺の形状が変更になりました。
お使いの装置のワイパスライダ形状を確認し、形状に合ったお手入れ方法を行ってください。



P.4-6 の「手順 1」

P.4-9 の「手順 2」

手順 1

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッジ゛ アウト
                 [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

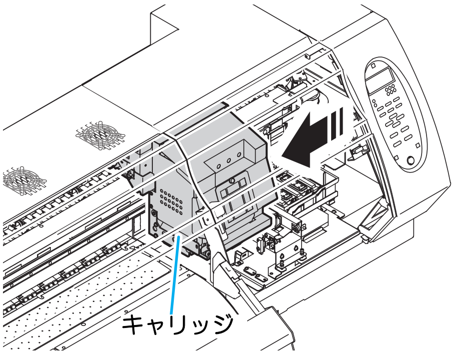
```
イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス
```

3 ▲▼を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス
```

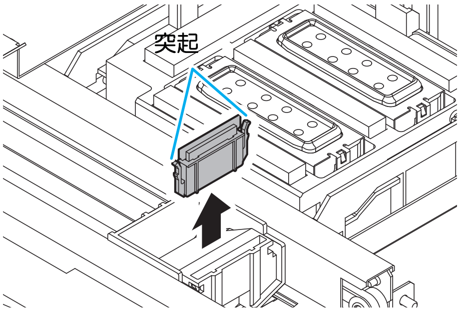
4 ENTER キーを押す

・キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



5 右メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを取り出す

・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

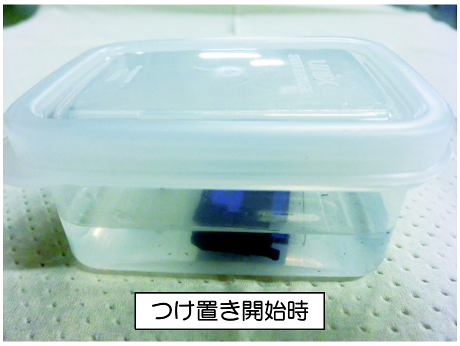


6 付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器 (ガラスや陶器など) に 1 日使用したワイパーを入れ、メンテナンス洗浄液 LX を浸す

- ワイパーを浸す時間は 1 時間～ 24 時間を目安にしてください。

重 要!

- ワイパーを長時間メンテナンス洗浄液 LX に浸したままにすると、ワイパーが変形する恐れがあります。
- ワイパーをつけ置きするメンテナンス洗浄液 LX は、汚れがひどくなったら交換してください (1 週間程度が目安になります)。また、汚れたメンテナンス洗浄液 LX の廃棄は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。
- ワイパーをつけ置きする容器は、付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器をお使いください。お手持ちの樹脂製容器を使ってワイパーをつけ置きしたい場合は、つけ置きをする前に容器にメンテナンス洗浄液 LX を入れて、容器が変形するなどの問題がないかテストを実施してください。

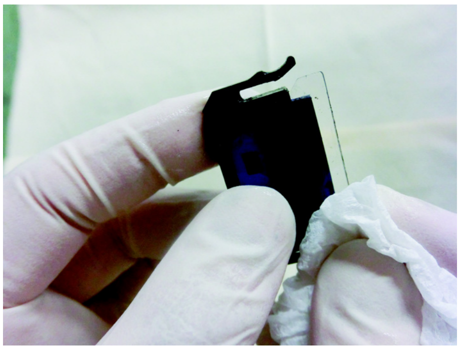


つけ置き開始時

つけ置き終了時

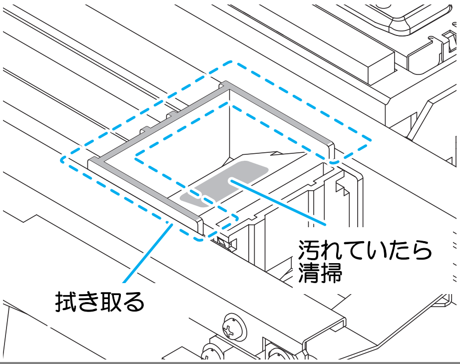
7 ワイパーを取り出し、キムワイプ ® でインク汚れなどを取り除く

- ワイパーフィルム先端部に繊維クズなどが残らないように拭き取ってください。



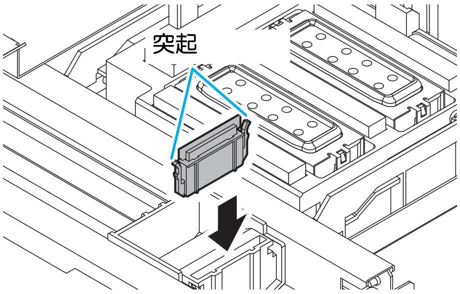
8 ワイパースライダーを清掃する

- ワイパースライダーのフチに付着したインクを、メンテナンス洗浄液LXを含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
  ワイパースライダー中の斜めになっている部分も、汚れていたら清掃します。
- メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。



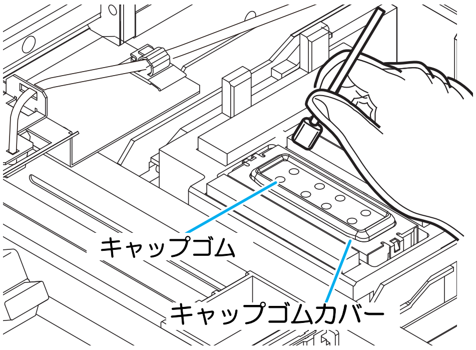
9 ワイパーを元の位置に戻す

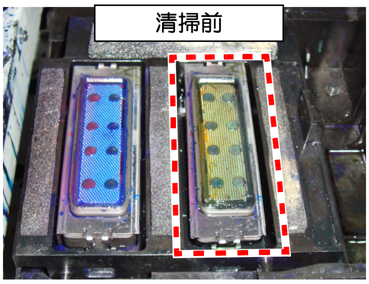
- ワイパーの両端を持って差し込みます。

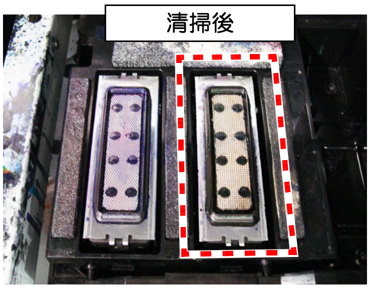


10 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液LXを含ませたクリーンスティックで拭き取ります。(キャップゴムの色が見えるように拭き取ります)
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。





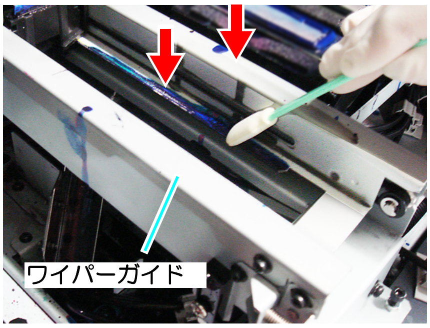


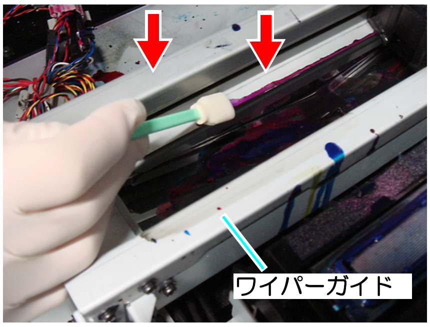
重 要 !

- ここでは、キャップゴムのみを清掃します。キャップ内メッシュは清掃しないでください。
キャップ内メッシュを清掃する場合、「ハイロセンジョウ」を実施してください。
(☞ P.4-12)

11 ワイパー周辺の図の部分を、クリーンスティックで清掃する

- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませ、ワイパーガイド上部、一段低い部分を拭き取ります。





ワイパーガイド上部、一段低い部分

12 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

```
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
シュウリョウ            [ENT]
```

13 右メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

手順 2

1 ローカルで、(MAINT.)キーを押す

キャリッシ゛ アウト
[ENT]

2 (ENTER)キーを押す

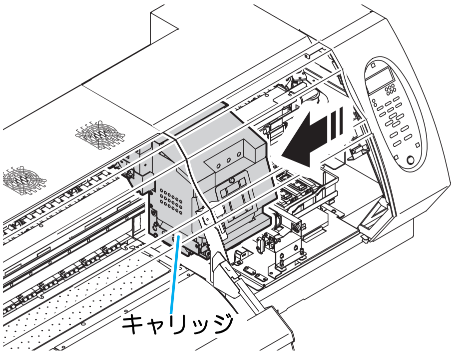
イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス

3 (▲)(▼)を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス

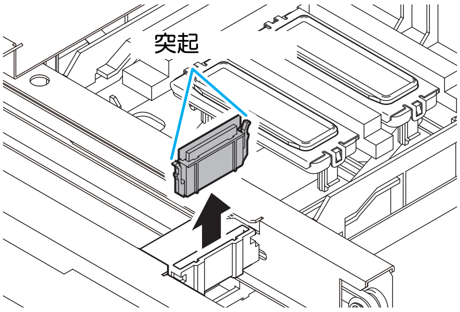
4 (ENTER)キーを押す

- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



5 右メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

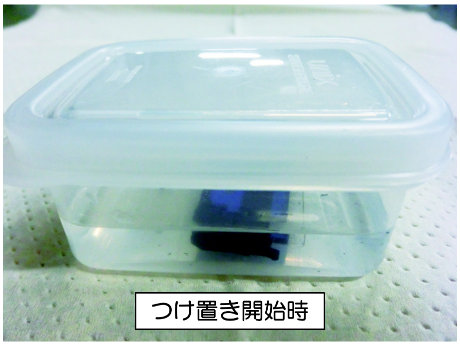


6 付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器 (ガラスや陶器など) に 1 日使用したワイパーを入れ、メンテナンス洗浄液 LX を浸す

• ワイパーを浸す時間は 1 時間～ 24 時間を目安にしてください。

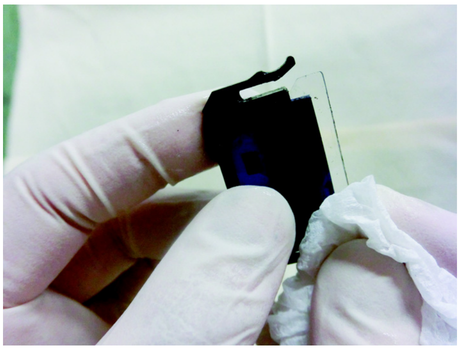
重要!

• ワイパーを長時間メンテナンス洗浄液 LX に浸したままにすると、ワイパーが変形する恐れがあります。
• ワイパーをつけ置きするメンテナンス洗浄液 LX は、汚れがひどくなったら交換してください (1 週間程度が目安になります)。また、汚れたメンテナンス洗浄液 LX の廃棄は、産業廃棄物処理業者に依頼してください。
• ワイパーをつけ置きする容器は、付属の容器または耐溶剤性のある蓋付きの容器をお使いください。お手持ちの樹脂製容器を使ってワイパーをつけ置きしたい場合は、つけ置きをする前に容器にメンテナンス洗浄液 LX を入れて、容器が変形するなどの問題がないかテストを実施してください。



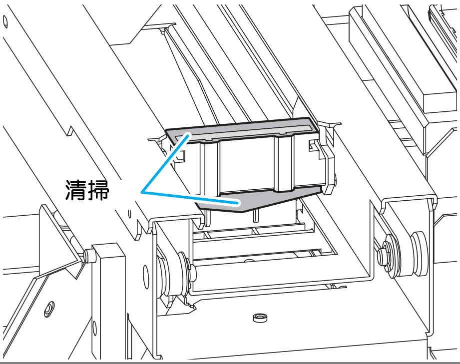
7 ワイパーを取り出し、キムワイプ ® でインク汚れなどを取り除く

• ワイパーフィルム先端部に繊維クズなどが残らないように拭き取ってください。



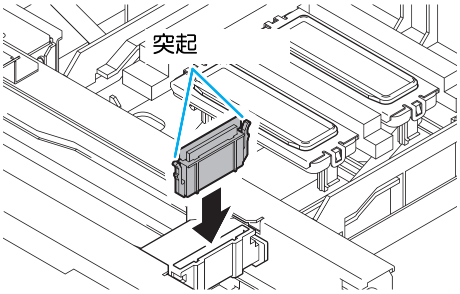
8 ワイパースライダーを清掃する

• 図の部分に付着したインクを、メンテナンス洗浄液 LX を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。



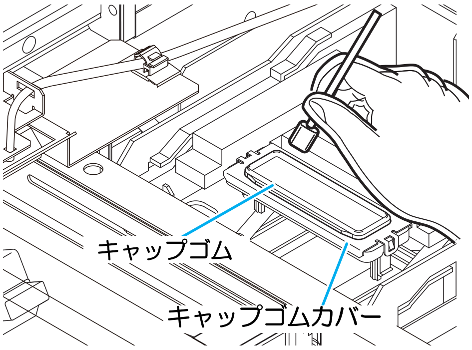
9 ワイパーを元の位置に戻す

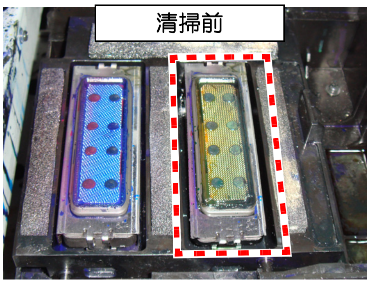
• ワイパーの両端を持って差し込みます。

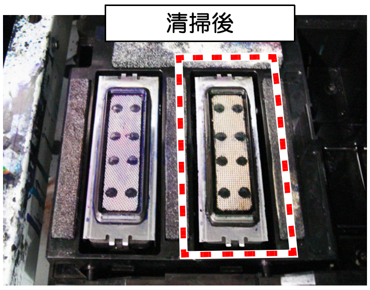


10 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液LXを含ませたクリーンスティックで拭き取ります。(キャップゴムの色が見えるように拭き取ります) メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。

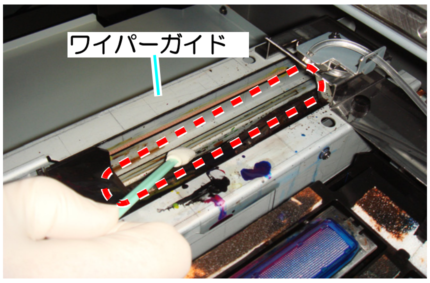


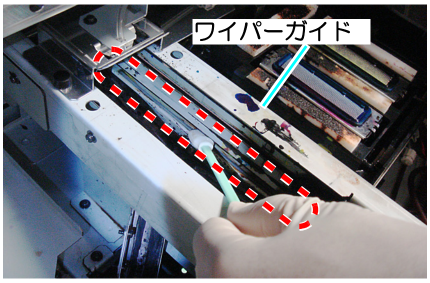




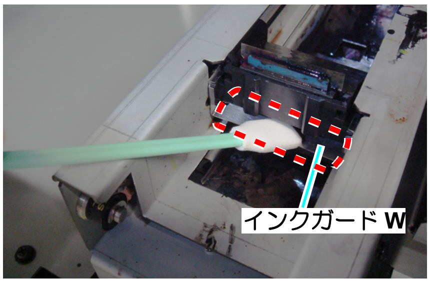
重 要 !
- ここでは、キャップゴムのみを清掃します。キャップ内メッシュは清掃しないでください。
  キャップ内メッシュを清掃する場合、「ハイロセンジョウ」を実施してください。
  (☞ P.4-12)

11 ワイパー周辺の図の部分を、クリーンスティックで清掃する





ワイパーガイド下部の隙間部分



ワイパースライダーと
インクガード **W** の間

12 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

カハ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ
シュウリョウ　　　　　［ENT］

13 右メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

MAINT. を使わないでステーションメンテナンスをするには

MAINT. キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで FUNCTION を押す → ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選ぶ → ENTER を 2 回押す
- ローカルから MAINT. を押したときと同じ状態になります。

4 お手入れ

インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

重要！ • インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に (1 週間に 1 回程度) インク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで、(MAINT.) キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
            [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[ハイロ センジョウ] を選ぶ

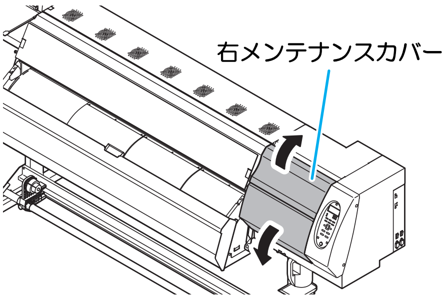
```
ハイロ センシ゛ョウ
            [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

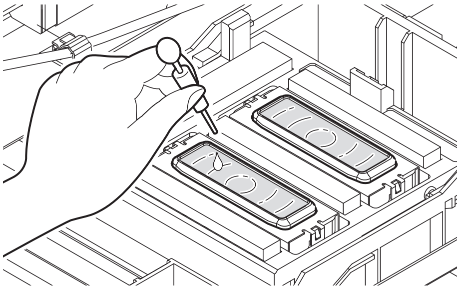
```
ハイロ センシ゛ョウ
シュウリョウ      [ENT]
```

4 右メンテナンスカバーを開ける



5 メンテナンス洗浄液 **LX** を、キャップ一杯に満たす

- スポイトにメンテナンス洗浄液 LX をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



6 右メンテナンスカバーを閉じ、(ENTER) キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、手順 2 の表示に戻ります。

```
ハイロ センシ゛ョウ
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

重 要!
- 主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください	**[ニアエンド]、 [インクエンド] は表示していませんか？** • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

- 次のメッセージが表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-34「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

ハイインクタンク　カクニン　［MNT］

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

キャリッシ゛　アウト
［ENT］

2 ▲ ▼ を押して、**[ホカンセンジョウ]** を選ぶ

ホカン　センシ゛ョウ
［ENT］

3 ENTER キーを押す

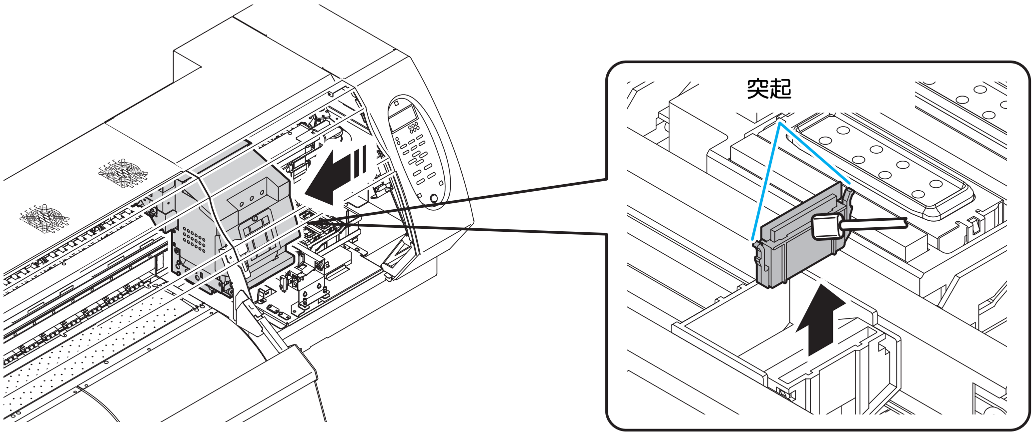
- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

ワイハ゜ー　クリーニンク゛
シュウリョウ　［ENT］

重 要!
- ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませて清掃する (ML001-Z-K1)
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5 ENTER キーを押す

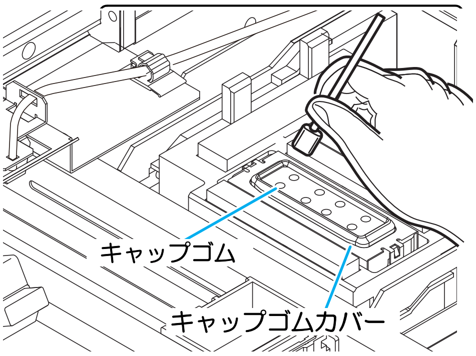
```
キャップ゜ クリーニンク゛
シュウリョウ( ツキ゛ヘ)      [ENT]
```

重要!

- キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギヘ）:ENT] が表示されます。手順 6 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液LXを含ませたクリーンスティックで拭き取ります。(キャップゴムの青色が見えるように拭き取ります)
  メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。



7 ENTER キーを押す

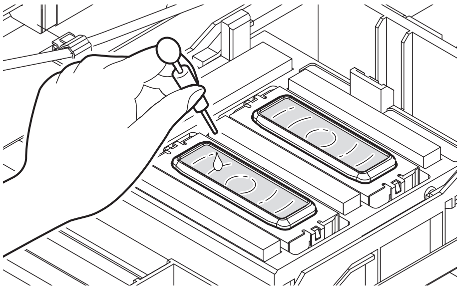
```
センシ゛ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ( ツキ゛ヘ)      [ENT]
```

重要!

- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ (ツギヘ) :ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了し右メンテナンスカバーを閉じてから ENTER キーを押してください。洗浄液を満たす前に ENTER キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 メンテナンス洗浄液 LX を、キャップ一杯に満たす

- スポイトにメンテナンス洗浄液 LX をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 右メンテナンスカバーを閉め、ENTER キーを押す

```
ホカン センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン        :1min
```

10 ▲▼を押して、 洗浄液の放置時間を設定する

- 設定値 :1 ～ 99 分（1 分単位）

```
ホカン センシ゛ョウ
ホウチ シ゛カン        :2min
```

11 ENTER キーを押す

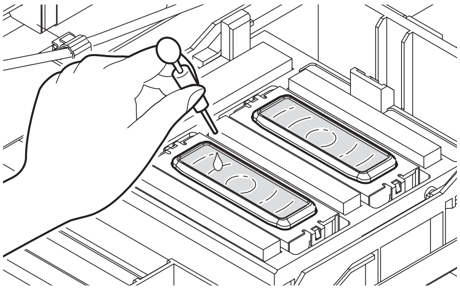
- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

```
ハイロ　センシ゛ョウ
シュウリョウ　　　　　［ENT］
```

12 右メンテナンスカバーを開ける

13 メンテナンス洗浄液 **LX** を、 キャップ一杯に満たす

- スポイトにメンテナンス洗浄液 LX をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



14 右メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

```
ハイロ　センシ゛ョウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

4
お手入れ

ヘッド周辺の清掃（毎日）

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	• クリーンスティック	• 手袋	• ゴーグル

注意
- 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
ｷｬﾘｯｼﾞ ｱｳﾄ
              [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

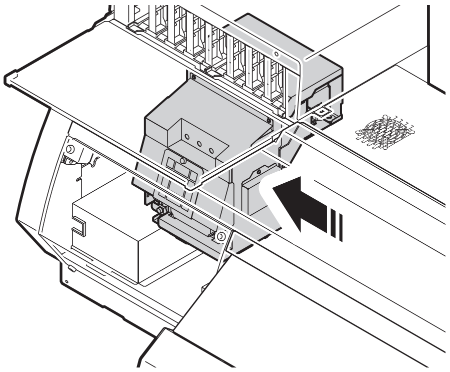
```
ｲﾄﾞｳ ｲﾁ
: ｽﾃｰｼｮﾝ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
```

3 ▲▼を押して、[ヘッド メンテナンス] を選ぶ

```
ｲﾄﾞｳ ｲﾁ
: ﾍｯﾄﾞ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ
```

4 ENTER キーを押す

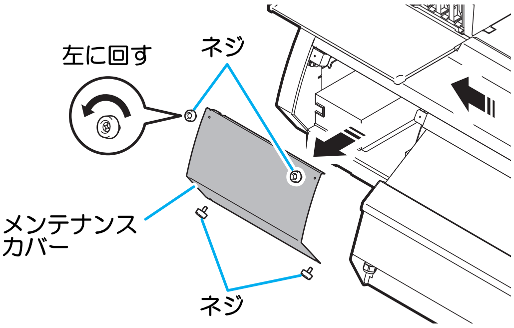
- キャリッジが、本装置の左端まで移動します。



5 左メンテナンスカバーを外す

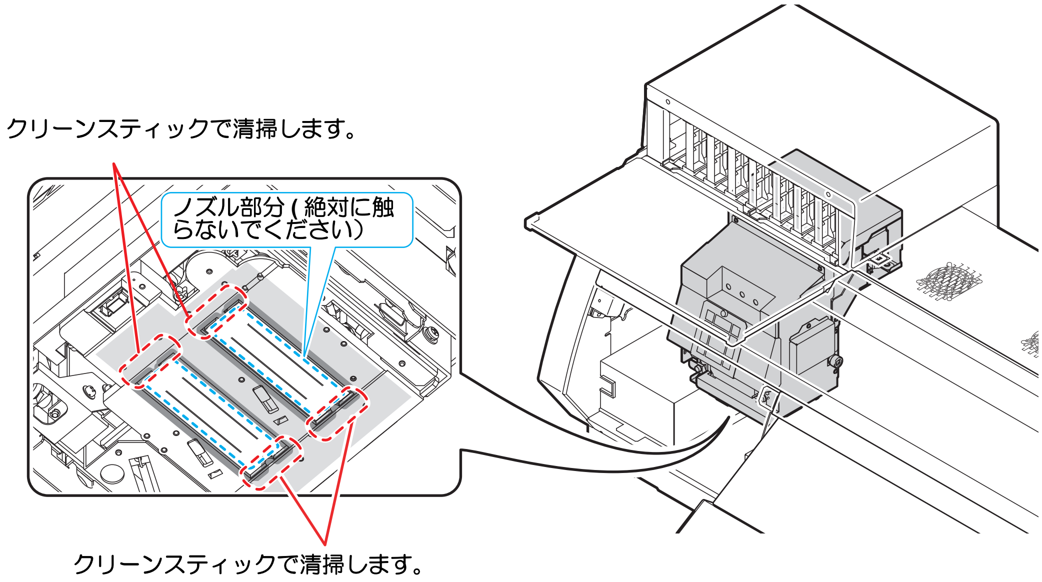
(1) メンテナンスカバーを止めている 4 つのネジを左に回して取り除く
(2) メンテナンスカバーを外す

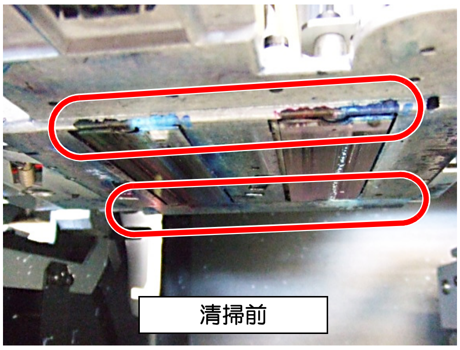
- メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。

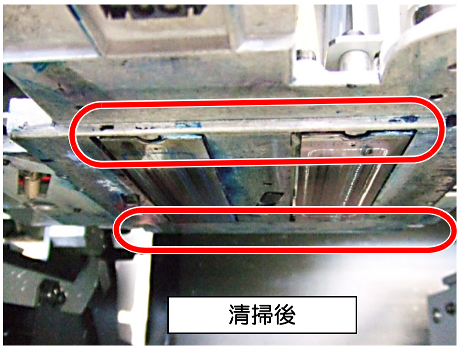


6 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- キャリッジ前面にゲル状・固形のインクカスが溜まらないように、クリーンスティックなどでこすり落としてください。
- ヘッドの側面 (濃い灰色部分) をクリーンスティックで清掃します。
- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。







7 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

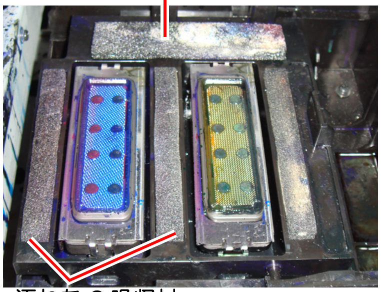
```
カバ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
シュウリョウ            [ENT]
```

8 左メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

C 吸収材の交換方法

C 吸収材にインクの固着汚れがある場合は、C 吸収材の交換が必要です。
交換の目安：右図のように吸収材表面の凹凸がインクで埋まったら交換をお願いします。
また、C 吸収材交換の際は、同時にキャッピングステーションに付着したインクの清掃をしてください。



- C 吸収材を交換するには、別売の C 吸収材交換キット (SPA-0185) が必要です。お買い求めは、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

---

1 ローカルで、(MAINT.) キーを押す

```
キャリッジ　アウト
                  [ENT]
```

---

2 (ENTER) キーを押す

```
イドウ　イチ
：ステーション　メンテナンス
```

---

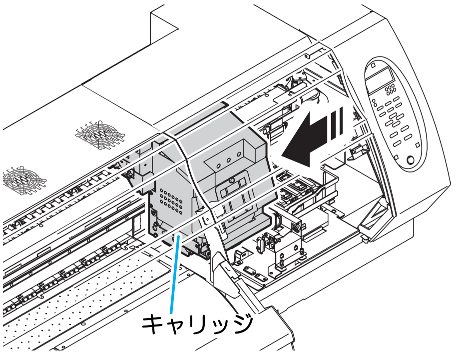
3 (▲)(▼) を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イドウ　イチ
：ステーション　メンテナンス
```

---

4 (ENTER) キーを押す

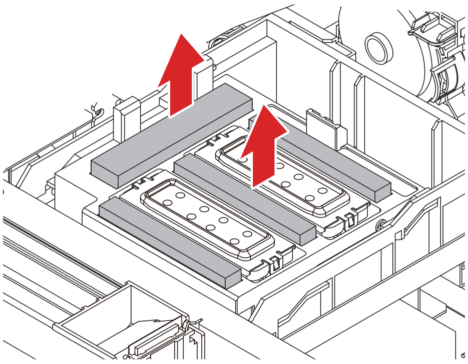
- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。



---

5 右メンテナンスカバーを開けて、C 吸収材を取り出す

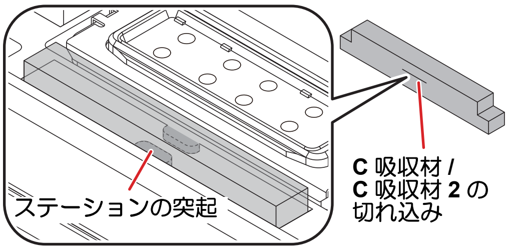
- C 吸収材を引き抜きます。(計 4 個)

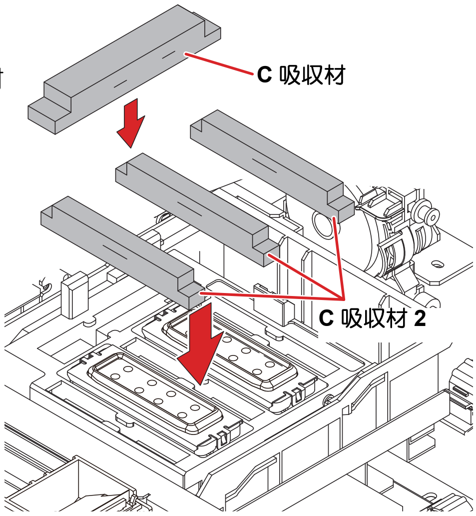


6 新しい C 吸収材を差し込む

- C 吸収材は 2 種類の形状が計 4 個 (C 吸収材 :1 個、C 吸収材 2: 3 個) あります。
- それぞれ差し込む位置を間違えないようにしてください。

重 要 !
- ステーションの突起が、C 吸収材 /C 吸収材 2 の切れ込みに入っていることを確認してください。





7 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

カバーヲ　シメテクダサイ
シュウリョウ　　　　[ENT]

8 右メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

4

お手入れ

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-21) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 3 機能を実行してください。

ノズルセンジョウ	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-20)
ノズル面の洗浄	• ノズル面を洗浄します。(☞ P.4-23)
ノズルリカバリ	• ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルで作図します。(☞ P.4-27)

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認してください	**[ニアエンド]、 [インクエンド] は表示していませんか？** • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。 このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

キャリッジ゛ アウト
[ENT]

2 ▲ ▼ を押して、[ノズルセンジョウ] を選ぶ

ノズ゛ル センジ゛ョウ
[ENT]

3 ENTER キーを押す

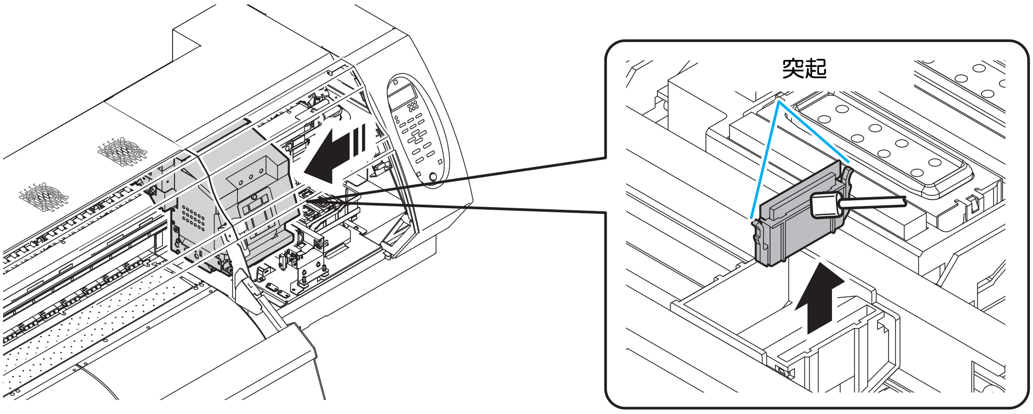
• キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

ワイパ゜ー クリーニング゛
シュウリョウ(ツギ゛ヘ) [ENT]

重 要！ • ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液 LX を含ませて清掃する (ML001-Z-K1)
メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



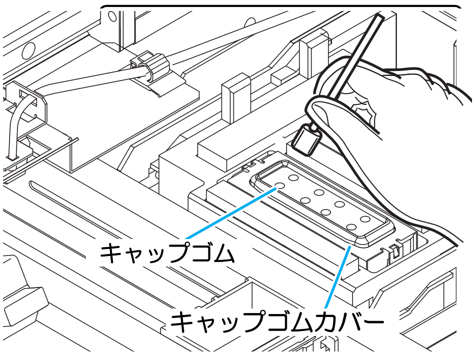
5 ENTER キーを押す

```
キャップ° クリーニング゛
シュウリョウ（ツギ゛へ）　　[ENT]
```

重 要！ • キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 6 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液LXを含ませたクリーンスティックで拭き取ります。(キャップゴムの青色が見えるように拭き取ります)
  メンテナンス洗浄液 LX は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。



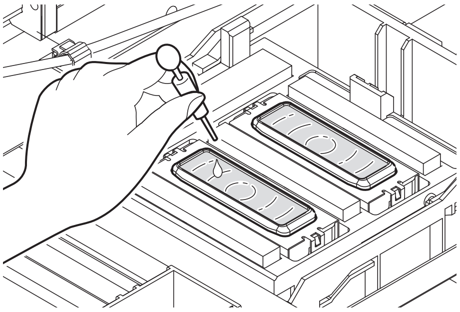
7 ENTER キーを押す

```
センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ（ツギ゛へ）　　[ENT]
```

重 要！ • 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ (ツギへ)　:ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了し右メンテナンスカバーを閉じてから ENTER キーを押してください。洗浄液を満たす前に ENTER キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 メンテナンス洗浄液 LX を、キャップ一杯に満たす

- スポイトにメンテナンス洗浄液 LX をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 右メンテナンスカバーを閉め、ENTER キーを押す

```
ノス゛ル　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　　:1min
```

10 ▲ ▼ を押して、 洗浄液の放置時間を設定する

設定値:1 ～ 99 分（1 分単位）

```
ノス゛ル　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　　:2min
```

4 お手入れ

11 ENTER キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順 10 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順 2 の表示に戻ります。

シバ゛ラク オマチクタ゛サイ
00:00

↓

＊＊ クリーニンク゛ ＊＊
シバ゛ラク オマチクタ゛サイ

重要！

- ノズルリカバリ (☞ P.4-27) やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

ノズル面の洗浄

専用の洗浄液とウェスを使用して、ヘッドのノズル面を清掃します。

重 要！ • ヘッドクリーニング (☞ P.2-21) やノズルセンジョウ (☞ P.4-20) を行っても、ノズル詰まりなどの吐出不良 (カスレや抜け) が改善しない場合のみ、実施してください。

メンテナンスに必要な道具	• メンテナンス洗浄液 LX キット（ML001-Z-K1）	• 手袋
	• コットンシーガル ®(SPC-0755)	

注 意
- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋にはコットンシーガル ® を放置しないでください。写真定着材が充満した部屋に放置したコットンシーガル ® を使用してノズル面の洗浄を行うと、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行っても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸気 (酢酸や塩酸等) の発生している環境下に放置したコットンシーガル ® を使用しても同様の現象が発生します。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッジ アウト
            [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

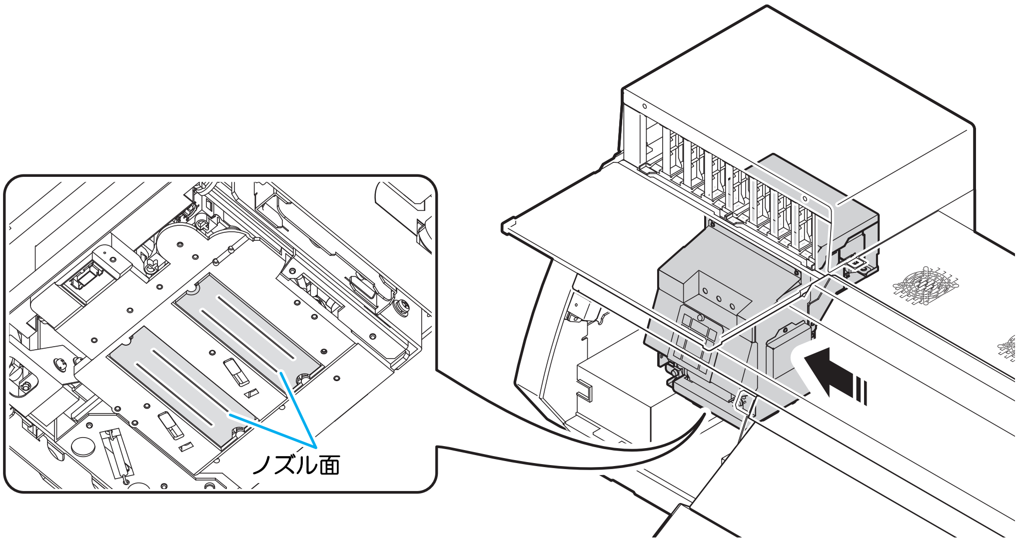
```
イドウ イチ
: ステーション メンテナンス
```

3 ▲ ▼ を押して、[ヘッド メンテナンス] を選ぶ

```
イドウ イチ
: ヘッド メンテナンス
```

4 ENTER キーを押す

• キャリッジが、本装置の左端まで移動します。



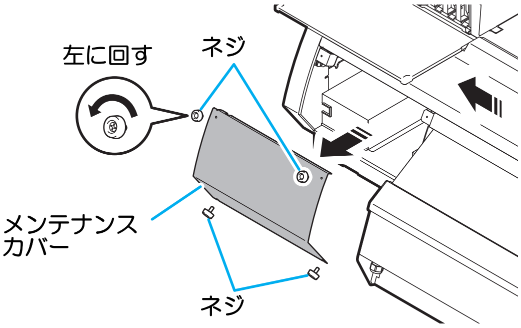
4 お手入れ

5

左メンテナンスカバーを外す

(1) メンテナンスカバーを止めている 4 つのネジを左に回して取り除く
(2) メンテナンスカバーを外す

• メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



6

コットンシーガル®にメンテナンス洗浄液LXを含ませる

重 要!

• メンテナンス洗浄液 LX がしたたり落ちるくらい、十分に含ませてください。
• コットンシーガル ® が乾いた状態で、ノズル面を拭かないでください。

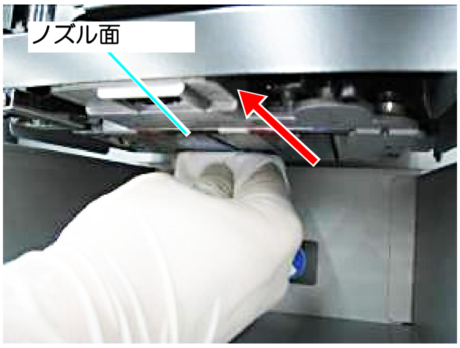
7

メンテナンス洗浄液LXを含ませたコットンシーガル®で、本体奥から手前に向かってノズル面を 2 ～ 3 回拭く

• 強くこすらないでください。

重 要!

• コットンシーガル ® がケバ立ってきたら交換してください。
• コットンシーガル ® にインクの固形物が付着した場合、清掃面を変えるか、交換してください。



8

清掃が終了したら、ENTER キーを押す

カバ゛ーヲ　シメテクタ゛サイ
シュウリョウ　　　　　　[ENT]

9

左メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

• 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

10

ヘッドクリーニングを行う (☞ P.2-21)

11

テストプリントを行う (☞ P.2-19)

インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら

ヘッド内のインクや空気をポートから押し出します。
ヘッド内でインクが混色してしまった場合や、空気の混入によるノズル抜けが発生した場合に使用します。
また、長期間 (2 週間) 使用しなかったためクリーニングを実行してもノズル抜けが直らない場合、空気抜きを行います。

1 メンテナンスメニューの [クウキヌキ] を選ぶ

(1) ローカルで、(FUNCTION)キーを押す
(2) (▲)(▼)を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER)キーを押す
(3) (▲)(▼)を押して [クウキヌキ] を選ぶ

2 (▶)キーを押して空気抜きを開始する

- 空気抜きを終了する場合、(◀)を押すと手順 10 に進みます。

```
クウキヌキ
シュウリョウ<                > カイシ
```

3 空気抜きするダンパーを設定する

- (◀)(▶)でダンパーを選びます。
- 選択可能な単位は、“MMCC_ _ _ _”、“_ _ _ _YYKK” の 2 種類です。

```
ダ゛ンパ゜ー センタク
: MMCC _ _ _ _
```

4 (ENTER)キーを押す

```
クウキヌキ イチ
イト゛ウ カイシ            [ENT]
```

5 (ENTER)キーを押す

- キャリッジがワイパー上に移動します。
- ポートを開ける準備ができるまで、しばらく待ちます。

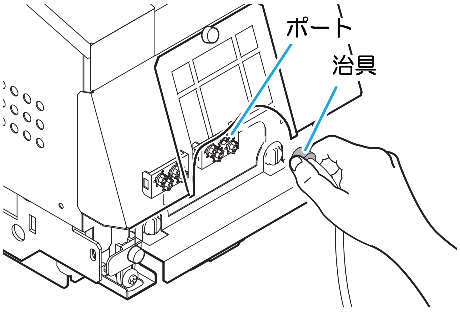
> - 手順 3 で選択したダンパーに対応したヘッドが、ワイパー上に移動します。

```
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ
```
↓
```
シ゛ュンビ゛チュウ
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ
```

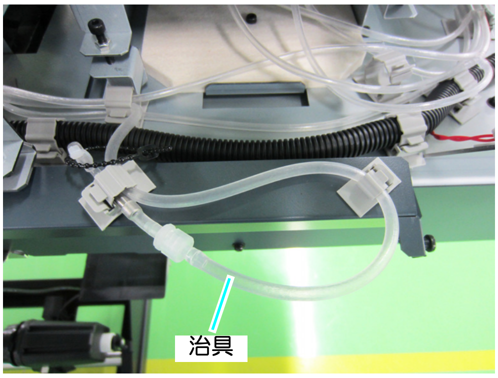
6 右メンテナンスカバーを開け、治具をポートにセットする

```
クウキヌキ
カイシ                   [ENT]
```

- 手順3で選択したダンパーに対応するポートのみ取り外し、1 ポートごとに実行してください。



> - 治具を取り外す際に、インクが漏れることがあります。ポート付近にペーパータオルなどを添えておいてください。

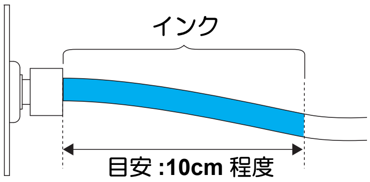


4 お手入れ

7 ENTER キーを押す

- インクの押し出しを開始します。
- 治具に 10cm 程度インクを流します。
- 手順 3 で選択したダンパーの、すべてのポートからインクを流します。

```
クウキヌキ
カンリョウ                [ENT]
```



8 ENTER キーを押して空気抜きを終了する

- ポートを閉じます。

```
キャップ゜イチ  イト゛ウ
イト゛ウ  カイシ          [ENT]
```

- 治具を取り外す際に、インクが漏れることがあります。ポート付近にペーパータオルなどを添えておいてください。

9 ENTER キーを押す

- キャリッジが、キャップ位置に戻ります。
- ダンパーへのインクを充填を開始します。インク量が通常の状態に戻るまで、しばらく待ちます。
- 充填が完了すると、クリーニングを行います。
- ダンパーへのインク充填が完了すると、手順 2 の表示に戻ります。他のダンパーも同様に、手順 3 ～手順 9 を実行します。

```

シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

↓

```
**  クリーニンク゛  **
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

10 終了するとき、END キーを数回押す

ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用 (ノズルリカバリ) して作図することができます。

1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ノズル リカバリ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、［プリント］を選び、ENTER キーを押す

• [トウロク] を選択すると、作図をしないで、ノズル列選択手順 (手順 4) に移ります

```
ノズ゛ルリカハ゛リ
: フ゜リント
```

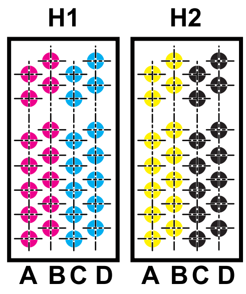
↓

```
ノズ゛ルリカハ゛リ
フ゜リント　カイシ　　　　[ENT]
```

3 ENTER キーを押す

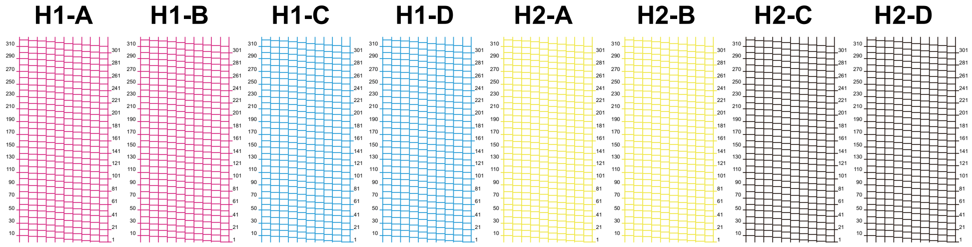
```
＊＊　　フ゜リント　　＊＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

ヘッドを上から見た図



ノズル列

ノズルパターン



• 6 色インクセットの場合、ノズルパターン “H1-B”、“H1-D” はプリントされません。

4 ▲ ▼ を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、ENTER キーを押す

```
ノズ゛ルセンタク
:H1-A
```

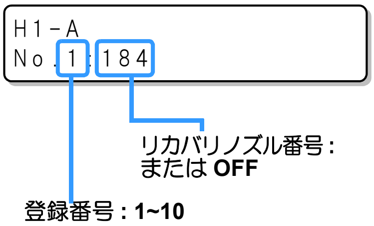
ノズル列

ヘッド番号 : **H1~H2**

4

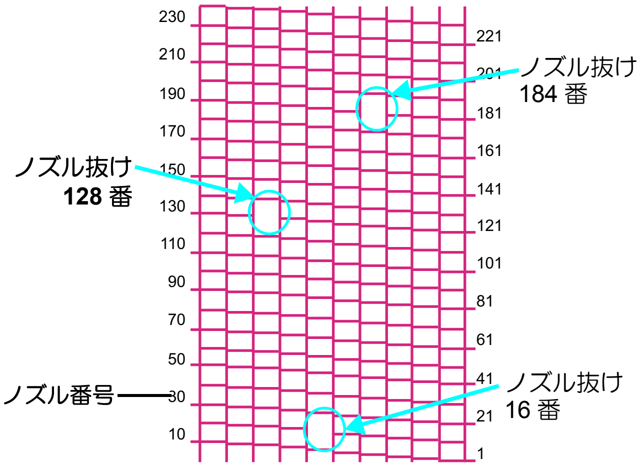
お手入れ

5 リカバリが必要なノズル番号を登録し、ENTER キーを押す



(1) ▲▼を押して登録番号 (1~10) を選択し、ENTER キーを押します。
(2) ▲▼を押してリカバリするノズル番号を登録し ENTER キーを押します。
- 登録と同時にチェックを行い、ノズルリカバリが無効なモードがあった場合、「ノズルリカバリできないプリント条件を確認する」手順 3 の画面を表示します。

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

6 終了するとき、END キーを数回押す

重要！

- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、作図時間は変わりません。
- 登録したノズルによっては、リカバリが反映されないモードがあります。
  チェック機能で、リカバリできないプリント条件を確認してください。(☞ P.4-28)

- 白インクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。

ノズルリカバリできないプリント条件を確認する

登録したノズルによっては、リカバリが反映されないモードがあります。リカバリできないプリント条件を確認してください。

- 登録されているノズルが多い場合、チェック結果を表示するまでに時間がかかります。

1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して、［チェック］を選ぶ

```
ノズ゛ルリカハ゛リ
: チェック
```

3 ENTERキーを押す

- ノズルリカバリが無効なモードを表示します。
- ノズルリカバリが無効なモードがない場合、「ナシ」と表示します。

```
リカハ゛リフカ シ゛ョウケン
: 1200x1200 24p/H Lv1
```

ホワイトレイヤープリント時のレベル
スキャン速度
解像度
パス数

4 終了するとき、ENDキーを数回押す

設定値をクリアする

1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して、［クリア］を選ぶ

```
ノズ゛ルリカハ゛リ
: クリア
```

3 ENTERキーを押す

```
クリアノズ゛ル センタク
: H1-A
```

4 ▲▼を押して、設定値クリアするノズル列選び、ENTERキーを押す

```
クリアノズ゛ル センタク
: H1-A
```

↓

```
H1-A クリア?
シ゛ッコウ            [ENT]
```

5 ENTERキーを押す

6 終了するとき、ENDキーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
（オートメンテナンス機能）
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

重 要！
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説　明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング (White)	ホワイトインクの詰まりを防止するための、クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。(ホワイトインク使用時のみ)

重 要！
- 右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-35 の操作をしてください。
- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

```
< ローカル>
ハイ　インクタンク　カクニン　[MNT]
```

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼ を押して [オート メンテナンス] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
オート　メンテナンス
リフレッシュ　　　　　[ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
リフレッシュ
:Lv.1
```

4 ▲▼ を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- 設定値： Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

```
リフレッシュ
:Lv.1
```

5 ENTER キーを押す

```
オートメンテナンス
リフレッシュ　　　　　[ENT]
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [オート メンテナンス] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して、[クリーニング] を選ぶ

```
オート　メンテナンス
クリーニング゛　　　　　[ENT]
```

3 ENTERキーを押す

```
クリーニング゛
:Lv.1
```

4 ▲▼を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

```
クリーニング゛
:Lv.1
```

- 設定値： Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

5 ENTERキーを押す

```
タイプ゜
: ノーマル
```

- クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

6 ▲▼を押して、クリーニングタイプを選ぶ

```
タイプ゜
: ソフト
```

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

> • ホワイトインク充填時、初期設定は " ハード " になります。(4 色 /6 色では " ソフト ")
> ノズル詰まりを防ぐために " ハード " での使用を推奨します。

7 ENTERキーを押す

```
オート　メンテナンス
クリーニング゛　　　　　[ENT]
```

8 終了するとき、ENDキーを数回押す

ホワイトインクのクリーニング間隔を設定する

ホワイトインクのクリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルモードで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [オート メンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、**[クリーニング (White)]** を選ぶ

```
オート　メンテナンス
クリーニング（White）　［ENT］
```

3 ENTER キーを押す

```
クリーニング（White）
：Lv.1
```

4 ▲ ▼ を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

```
クリーニング（White）
：Lv.1
```

- 設定値： Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

5 ENTER キーを押す

```
タイプ
：ノーマル
```

- クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

6 ▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを選ぶ

```
タイプ
：ソフト
```

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

7 ENTER キーを押す

```
オート　メンテナンス
クリーニング（White）　［ENT］
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

```
< ローカル>
ワイハ゜ー　コウカン　　　　　[MNT]
```

重 要!

- ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。
- クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- メッセージ表示前に交換したい場合、キャリッジアウトを実行して交換します。(☞ P.4-5 手順 1 ～ 2)
  交換後は、ワイパー使用カウンタをリセットしてください。(☞ P.3-33)

1 ローカルで、(MAINT.) キーを押す

```
ワイハ゜ー　コウカン
シ゛ッコウ　　　　　　　　[ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

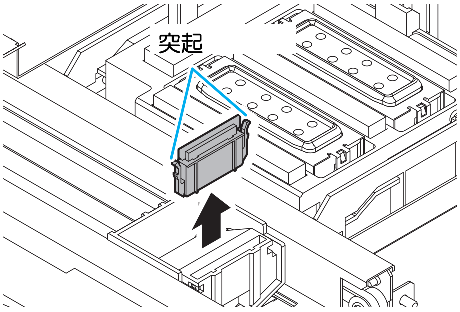
```
ワイハ゜ー　コウカン
シュウリョウ　　　　　　　[ENT]
```

重 要!

- 交換作業が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ　:ENT] が表示されます。
  手順 4 までの作業が完了し右メンテナンスカバーを閉じてから (ENTER) キーを押してください。

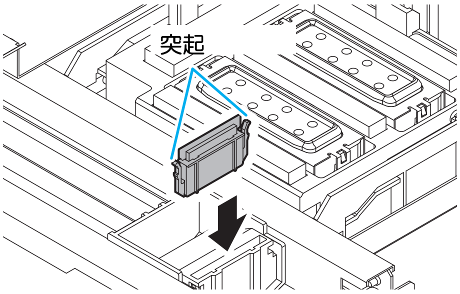
3 右メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



5 右メンテナンスカバーを閉じ、(ENTER) キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

```
(　カハ゛ー　オーフ゜ン　)
<ENT>ヲ　オシテクタ゛サイ
```

↓

```
＊　ショキカ　チュウ　＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。（**廃インクタンク交換の目安としてお使いください。**）

- 2L タンクの 80%(1.6L) でメッセージを表示します。

ローカルでの確認メッセージ

1 右のメッセージが表示される

```
< ローカル>
ハイインクタンク　カクニン　　[MNT]
```

2 廃インクタンクを確認する

```
ハイインクタンク　ヲ　カクニン
Level:　80%(1.6L)
```

- 実際の量と誤差がある場合、[▲][▼]を押して補正します。
- 80% 未満に補正して[ENTER]キーを押すと、メッセージが消えます。
- 交換（廃棄処分）しカウントクリアする場合、「廃インクタンクを交換する」の手順を実行してください。(☞ P.4-35)

廃インクタンクを交換する

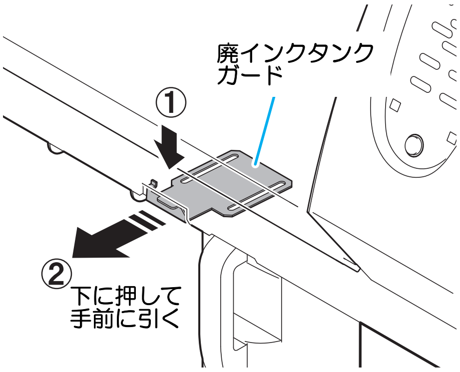
1 右のメッセージが表示される

```
< ローカル>
ハイインクタンク カクニン   [MNT]
```

2 (MAINT.) キーを押して廃インクタンクを確認する

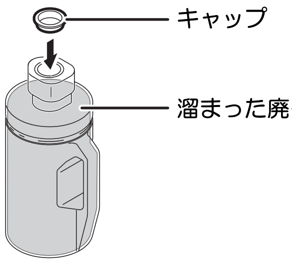
```
ハイインクタンク ヲ カクニン
Level: 80%(1.6L)
```

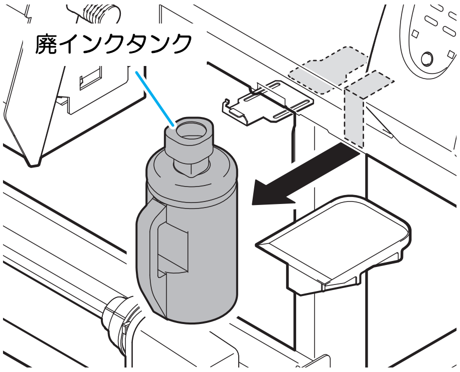
3 廃インクタンクガードを下に押して手前に開く



4 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

- 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。

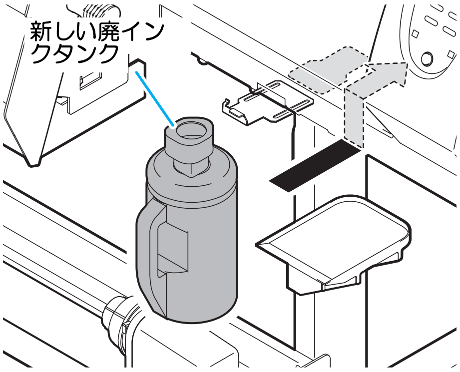




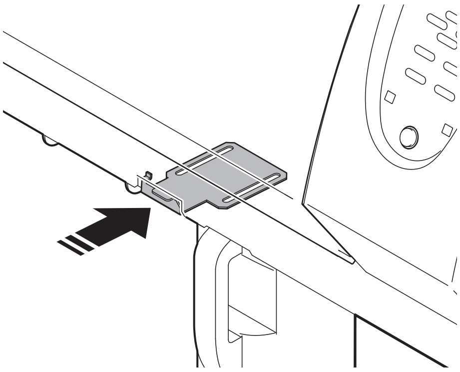
5 廃インクタンクを交換する

(1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む

- 廃インクは、 産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。



6 廃インクタンクガードを閉じる



7 ENTER キーを押す

- 本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

```
カウント　クリア
シ゛ッコウ　　　　　　[ENT]
```

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合、情報メニューで廃インク情報を 0% に設定します。

1 「廃インクタンクを交換する」(☞ **P.4-35**) の手順 **3**～**6** を実行し、廃インクタンクを空にする

2 ローカルで、ENTER キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                    [ENT]
```

3 ▲ ▼ を押して、**[** ジョウホウ **]** を選ぶ

```
FUNCTION
ジ゛ョウホウ                [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
ジ゛ョウホウ
シヨウ ジ゛ョウキョウ        [ENT]
```

5 ▲ ▼ を押して、**[** シヨウ ジョウキョウ **]** を選ぶ

6 ENTER キーを数回押して、廃インクタンク情報を表示させる

```
ハイ  インクタンク
=                 60%
```

7 MAINT. キーを押す

```
ハイインクタンク ヲ カクニン
Level:  60%(1.2L)
```

8 ▲ ▼ を押して、**Level** を「**0%**」に設定する

```
ハイインクタンク ヲ カクニン
Level:   0%(0.0L)
```

9 ENTER キーを押す

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。

注 意

- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1 ローカルで、(MAINT.) キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
              [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

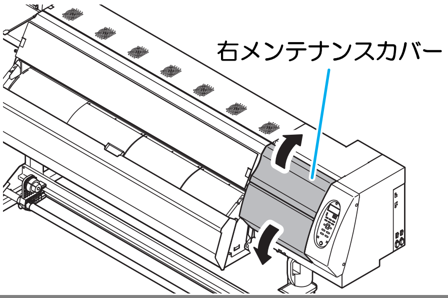
3 (▲)(▼) を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

4 (ENTER) キーを押す

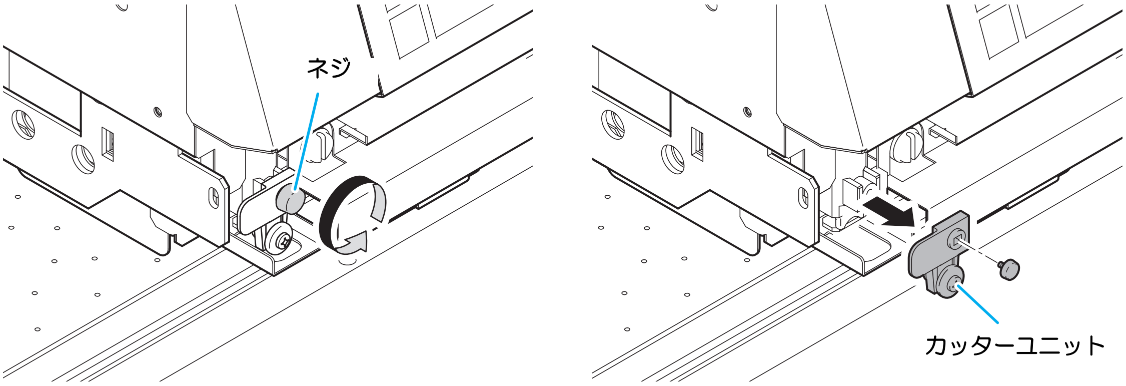
- キャリッジがメンテナンス位置に移動します。

5 右メンテナンスカバーを開ける



6 キャリッジ横のカッターユニットを交換する

(1) カッターユニットのネジを緩める
(2) カッターユニットを取り外す
(3) 新しいカッターユニットを取り付ける
(4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する



7 右メンテナンスカバーを閉じる

8 ENTER キーを押す

- 手順 1 の表示に戻ります。

ホワイトインクフィルターの交換

フィルターのつまりによるノズル抜けを防止するため、定期的にホワイトインクフィルターを交換してください。

ホワイトインクフィルターの交換には、別売品の W フィルターキット (SPA-0187) が必要になります。

交換作業に必要な道具	• W フィルターキット (SPA-0187)		• マイナスドライバー
	• 手袋	• ペーパータオル	• ゴーグル

重 要!

- W フィルターキットは別売品です。販売店または弊社営業所でお買い求めください。
- ホワイトインクフィルターの交換をする前に、W フィルターキット (SPA-0187) をご確認いただき、異常があった場合、販売店または弊社営業所までご連絡ください。

ホワイトインクフィルターの交換が必要になると

次のような場合は、ホワイトインクフィルターの交換が必要になります。
下記の手順に従って、ホワイトインクフィルターの交換をしてください。

ディスプレイにホワイトインクフィルター交換メッセージが表示された (P.4-41)	ホワイトインクの残量が十分あるのにインクパック確認・インク供給エラーが発生した (P.4-41)	ホワイトメンテナンスを実行してもノズル抜けが直らなかった (P.4-42)

↓

まず、ホワイトインクフィルターを交換する (P.4-43)

↓

次に、ホワイトインクを充填する (P.4-44)

↓

最後に、ホワイトインクフィルター使用時間をクリアする (P.4-47)

ホワイトインクフィルター交換時期メッセージが表示されたら

ホワイトインクフィルターの交換時期が来ると、ホワイトインクフィルター交換メッセージが表示されます。

1 ホワイトインクフィルターの交換時期をお知らせするメッセージが表示される

```
<ローカル>
フィルター　コウカン(White)
```

- ホワイトインクフィルターの交換時期になると、ローカルでホワイトインクフィルター交換メッセージが表示されます。
- ホワイトインクフィルターの交換メッセージは、ローカルから (ENTER) キーを押して確認することもできます。(☞ P.3-35)

2 ホワイトインクフィルターを交換する

- P.4-43「ホワイトインクフィルターの交換」を参照して、ホワイトインクフィルターを交換してください。

3 ホワイトインクを充填する

- P.4-44「ホワイトインクの充填」を参照して、ホワイトインクを充填してください。

4 ホワイトインクフィルター使用時間をクリアする

- P.4-47「ホワイトインクフィルター使用日数のクリア」を参照して、ホワイトインクフィルター使用時間をリセットしてください。

残量があるのにインクパック確認・インク供給エラーが発生したら

ホワイトインクカートリッジにインクが十分に残っているのにインクパック確認やインク供給エラーが発生する場合は、ホワイトインクフィルターが詰まっている可能性があります。

1 ディスプレイにホワイトインクのインクパック確認または、インク供給エラーが表示される

インクパック確認

```
インクパック　カクニン
:----　--WW
```

または

インク供給エラー

```
ERROR 61b
インク　キョウキュウ　------78
```

2 ホワイトインクフィルターを交換する

- P.4-43「ホワイトインクフィルターの交換」を参照して、ホワイトインクフィルターを交換してください。

3 ホワイトインクを充填する

- P.4-44「ホワイトインクの充填」を参照して、ホワイトインクを充填してください。

4 ホワイトインクフィルター使用時間をクリアする

- P.4-47「ホワイトインクフィルター使用日数のクリア」を参照して、ホワイトインクフィルター使用時間をリセットしてください。

ホワイトメンテナンスを実行してもノズル抜けが直らなかったら

ホワイトメンテナンスを実行してもノズル抜けが直らない場合は、ホワイトインクフィルターが詰まっている可能性があります。

1 ホワイトインクフィルターを交換する

- P.4-43「ホワイトインクフィルターの交換」を参照して、ホワイトインクフィルターを交換してください。

2 ホワイトインクを充填する

- P.4-44「ホワイトインクの充填」を参照して、ホワイトインクを充填してください。

3 ホワイトインクフィルター使用時間をクリアする

- P.4-47「ホワイトインクフィルター使用日数のクリア」を参照して、ホワイトインクフィルター使用時間をリセットしてください。

ホワイトインクフィルターの交換

プリンタの電源を切って、ホワイトインクフィルターを交換します。

注 意

- ホワイトインクフィルターの交換を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。
  皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

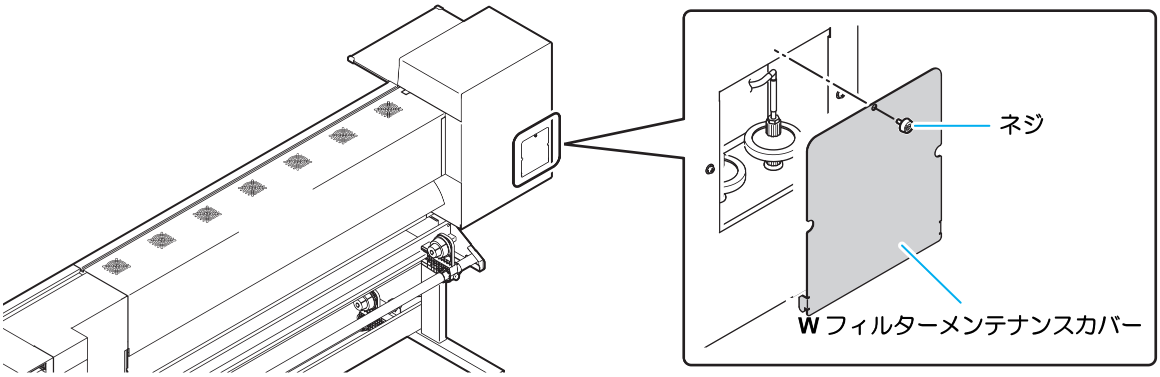
1 プリンタの電源を切る

- 操作パネルにある電源スイッチで電源を切った後に、右側面の主電源スイッチ (2ヶ) を「O」側に倒してください。

```
POWER OFF
```

2 W フィルタメンテナンスカバーを開ける

- W フィルタメンテナンスカバーのネジを外して、カバーを開けてください。

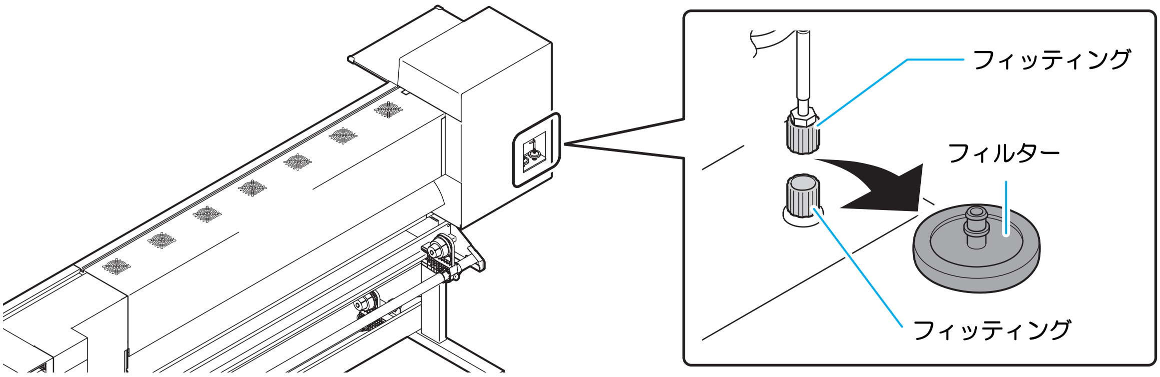


3 ホワイトインクフィルターを交換する

(1) フィッティングを外し、フィルターを取り外す
(2) 新しいフィルターを取り付け、フィッティングで固定する
- フィッティングの固定が緩んでいると、インクが漏れることがあります。フィッティングはしっかりと閉めてください。

重 要 !

- フィルターを外すときに、チューブ内のインクがはねたり垂れることがあります。フィルター付近にペーパータオルなどを添えてから、フィルターを取り外してください。
- 交換の際は、チューブが折れないように注意してください。



4 W フィルタメンテナンスカバーを取り付ける

ホワイトインクの充填

プリンタの電源を入れて、ホワイトインクを充填します。

注意

- ホワイトインクの充填を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。
  皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 プリンタの電源を入れる

- P.2-3「電源を入れる」を参照して、電源を入れてください。

< ローカル>

2 メンテナンスメニューの **[** インクジュウテン **]** を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [インクジュウテン] を選ぶ

3 ENTER キーを押す

ダ゛ンハ゜ー　センタク
MMCC_ _ _ _

4 ◀ ▶ を押して、ダンパー **[_ _ _ _ YKWW]** を選ぶ

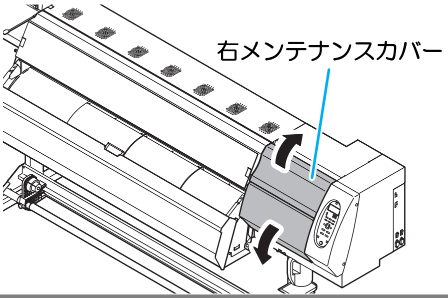
ダ゛ンハ゜ー　センタク
_ _ _ _YKWW

5 ENTER キーを押す

- 空気抜きバルブ OPEN 確認画面が表示されます。

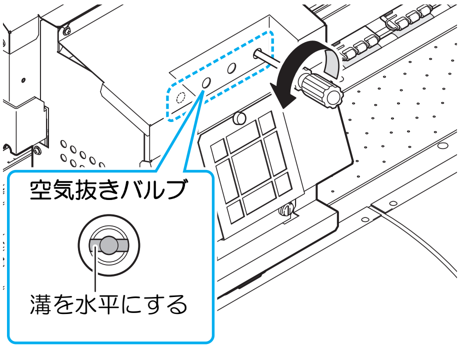
クウキヌキ　ハ゛ルフ゛　OPEN
カンリョウ　[ENT]

6 右メンテナンスカバーを開ける



7 空気抜きバルブを開ける

- マイナスドライバーなどを使って、空気抜きバルブの溝が水平になるように回転させてください。



8 右メンテナンスカバーを閉じる

9 ENTER キーを押す

- インクの充填を開始します。

```
 ＊＊ ジ゛ュウテン ＊＊
 シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

- インク充填が終了すると、空気抜き選択画面が表示されます。

```
クウキヌキ
シュウリョウ<          >カイシ
```

10 ▶ キーを押してダンパー選択画面を表示する

```
タ゛ンハ゜ー センタク
:MMCC_ _ _ _
```

11 ◀ ▶ キーを押してダンパー[_ _ _ _ YKWW] を選択する

```
タ゛ンハ゜ー センタク
:_ _ _ _YKWW
```

12 ENTER キーを押す

```
クウキ ヌキ イチ
イト゛ウ カイシ       [ENT]
```

13 ENTER キーを押す

- キャリッジがワイパー上に移動します。

```

 シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

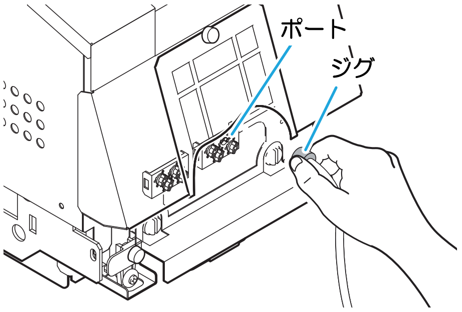
- キャリッジの移動が終了すると、空気抜きの開始画面になります。

```
クウキ ヌキ
カイシ            [ENT]
```

14 右メンテナンスカバーを開ける

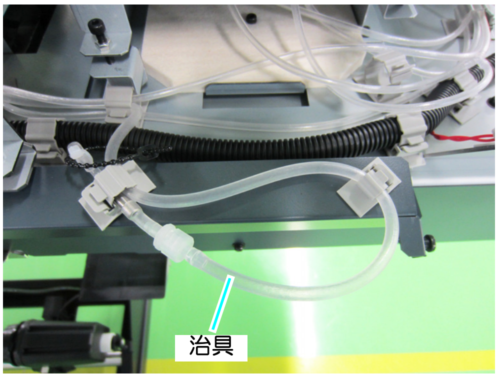
15 空気抜きの準備を行う

- ポートを 1 つ開けて、治具をポートに取り付けてください。



重 要！

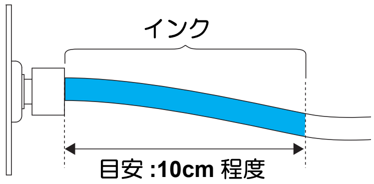
- 右側の 2 ポートがホワイトインク充填の対象ポートです。
- 治具を取り付ける際に、インクが漏れることがあります。ポート付近にペーパータオルなどを添えておいてください。



16 ENTERキーを押して、空気抜きを行う

クウキ　ヌキ
シュウリョウ　[ENT]

- インクの押し出しを開始します。(ディスプレイは空気抜きの終了待ち画面になります。)
  (1) 押出されたインクが治具に流れ出てきます。
  (2) インクが流れ出始めてから 30 秒程度、インクを流し出してください。
  (3) 30 秒程度インクを流し出したら、ポートを閉じてください。
  (4) もう一方のポートに治具を付け替え、同様にして 30 秒程度インクを流し出してください。
  (5) 30 秒程度インクを流し出したら、ポートを閉じてください。



重要!
- 治具を取り外す際に、インクが漏れることがあります。ポート付近にペーパータオルなどを添えておいてください。

17 ENTERキーを押す

キャップ゜　イチ
イト゛ウ　カイシ　[ENT]

- インクの押し出しが止まります。

18 右メンテナンスカバーを閉じる

19 ENTERキーを押す

シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ

- キャリッジがキャップ位置に移動します。

- キャリッジの移動が終了すると、空気抜きの選択画面になります。

クウキヌキ
シュウリョウ<　>カイシ

20 ◀キーを押す

クウキヌキ　ハ゛ルフ゛　CLOSE
カンリョウ　[ENT]

- 空気抜きバルブ CLOSE 確認画面が表示されます。

21 右メンテナンスカバーを開ける

22 空気抜きバルブを閉じる

- マイナスドライバーなどを使って、空気抜きバルブの溝が垂直になるように回転させてください。

23 右メンテナンスカバーを閉じる

24 ENTERキーを押す

＊＊　クリーニング゛　＊＊

- クリーニングが実行されます。
- クリーニングが終了すると、メンテナンスメニューの [インクジュウテン] 画面に戻ります。

25 終了するとき、ENDキーを数回押す

ホワイトインクフィルター使用日数のクリア

ホワイトインクフィルターの使用日数をクリアして、0 日に戻します。

1 メンテナンスメニューの [シヨウ ジョウキョウ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲▼を押して [ジョウホウ] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲▼を押して [シヨウ ジョウキョウ] を選び、ENTER キーを押す
- ワイピング情報を表示します。

2 ENTER キーを 5 回押して、[フィルター(White)] の使用日数を表示させる

```
フィルター(White)
=            193d
```

3 MAINT. キーを押す

```
フィルター(White)
クリア シマスカ      [ENT]
```

4 ホワイトインクフィルターの使用日数をクリアする / しないを選ぶ

使用日数をクリアする場合　：ENTER キーを押す
使用日数をクリアしない場合：END キーを押す

- ENTER キーを押すと、ホワイトインクフィルターの使用日数が 0 日になります。

5 終了するとき、END キーを数回押す

4 お手入れ

第５章
困ったときは

この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障？と思う前に 5-2
電源が入らない 5-2
プリントできない 5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 5-3
[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない 5-3
画質不良が発生したときは 5-4
ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
カートリッジ異常が発生したら 5-5
エラー 618 ～ 61b が発生したら 5-6
白インク (ホワイト) の定期メンテナンス 5-7
メディアが搬送時に波打つ場合 5-8
ロールメディアがたるんで床に接触する場合 5-8
メッセージを表示するトラブル 5-9
ワーニングメッセージ 5-9
エラーメッセージ 5-12

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

確認		対処
電源ケーブルを本装置と電源コンセントに接続しましたか？	イイエ →	電源ケーブルを確実に接続してください。
主電源が入っていますか？	イイエ →	主電源を入れてください。(☞ P.2-3)
装置前面にある電源スイッチがオンになっていますか？	イイエ →	前面にある電源スイッチを入れてください。(☞ P.2-3)

プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

確認		対処
ご使用のインターフェイスケーブルが合っていますか？	イイエ →	本装置専用のケーブルをご使用ください。
インターフェイスケーブルを確実にセットしていますか？	イイエ →	インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。
↓ ハイ		
ディスプレイにインク切れのメッセージを表示していますか？	ハイ →	新しいインクカートリッジに交換してください。

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

確認	回答	対処
推奨のメディアをお使いですか？	イイエ →	推奨のメディアをお使いください
カールしていないメディアや、先端が折れ曲がっていないメディアをお使いですか？	イイエ →	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
↓ ハイ		
メディアがプラテンに沿って垂れていますか？	イイエ →	巻き取り装置を使うか、メディアを再セットしてください。 ☞ P.2-5 , P.2-12

[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

確認	回答	対処
本装置の電源は **ON** になっていますか？	イイエ →	本装置の電源を ON にしてください。 ☞ P.2-3
↓ ハイ		
ヒーターの温度設定は有効ですか？	イイエ →	ヒーターの温度を設定してください。 ☞ P.2-16

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-21 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-5 **(3)**「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-22 **(4)** メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に **2** 重、**3** 重にブレる	**(1)**「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-22
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.2-24
プリント中にインク滴が落ちる	**(1)** ワイパーを清掃してください。☞ P.4-5 **(2)** インクキャップのクリーニングをしてください。☞ P.4-5 **(3)** ヘッドの周辺を清掃してください。☞ P.4-16 **(4)** ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。☞ P.2-21 **(5)** テイキワイピングの動作間隔を、短く設定してください。☞ P.3-9

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-21 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 2 つの項目を確認してください。

● **P.4-20** の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。

● **P.4-23** の操作をして、ヘッドノズル面の洗浄をしてください。

● **P.4-27** の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

● **P.5-7** の操作をして、空気抜きをしてください。

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、カートリッジ LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重要！
- カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
  ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、ENTER キーを押す

```
LX100         MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ    34567899
```

2 ENTER キーを押す

```
インクIC  ヨメナイ
MMCCYYKK
```

- 複数のカートリッジ異常が発生している場合、ENTER キーまたは、◀ ▶ を押すと、順番に表示します。

5
困ったときは

エラー 618 ～ 61b が発生したら

エラー 618 ～ 61b は、ダンパーに関するエラーです。
ダンパー関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1 メンテナンスメニューの **[** ダンパー **]** を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ダンパー] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
ダ゛ンパ゜ー センタク
:MMCCYYKK
```

3 メンテナンスするダンパーを選択する

```
ダ゛ンパ゜ー センタク
:MMCC____
```

- ◀ ▶ でダンパーを選びます。
- 選択可能な単位は、“MMCC____”、“____YYKK”、“MMCCYYKK” の 3 種類です。
- エラー 61b が発生した場合には、該当するダンパーが選択されていますので、そのまま ENTER キーを押してください。

4 ENTER キーを押す

```
ダ゛ンパ゜ー
シ゛ッコウ            [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
** シ゛ュウテン **
シハ゛ラク オマチクダ゛サイ
```

- 自動で排出、充填動作を行います。
- その後、クリーニングを行います。

```
** クリーニンク゛ **
シハ゛ラク オマチクダ゛サイ
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

重要!
- 印刷中や待機中に「エラー 61a」が発生した場合、自動的にメンテナンスメニューの「ダンパー」を実行します。

白インク (ホワイト) の定期メンテナンス

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。

- 本機を 2 週間以上使用しない場合、 本機の内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。
- インクが沈殿すると、 作図時にノズル詰まりを発生し、 正常な作図ができなくなります。
- 作図時のノズル詰まりの防止と白インクの状態を良好に保つため、 下記の定期メンテナンスを行ってください。

- 一週間に一度、始業前に必ず以下のメンテナンスをしてください。
- インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。

重 要！

- ホワイトインクをご使用の場合：
  電源オン状態で 24 時間が経過、または電源オン時にメッセージを表示します。
  ホワイトインクの成分は沈降しやすいため、定期的に振っていただく必要があります。

```
ホワイトインクカートリッシ゛ヲ
フッテクタ゛サイ         [ENT]
```

1 メンテナンスメニューの [ホワイト メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ホワイト メンテナンス] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
ホワイト メンテナンス
シ゛ッコウ               [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

- 自動で排出、充填動作を行います。

```
** シ゛ュウテン **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

- その後、クリーニングを行います。

```
** クリーニンク゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

4 終了するとき、END キーを数回押す

メディアが搬送時に波打つ場合

メディアが搬送時に波打つことを、「コックリング」といいます。
メディアコックリングが発生する場合、以下のことを確認してください。

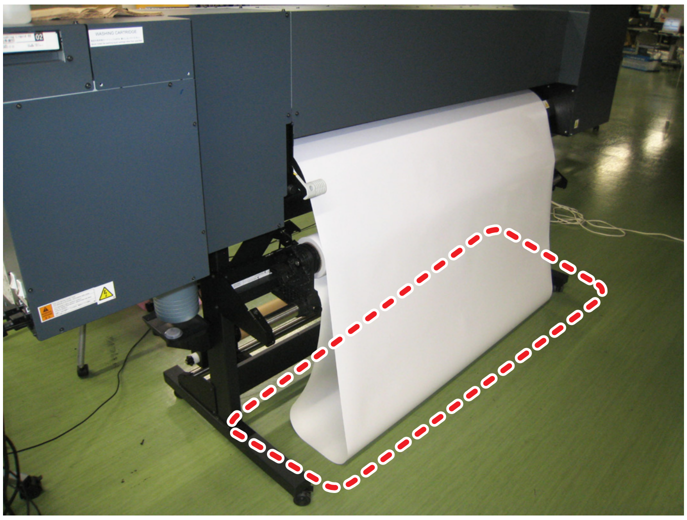
注意 ・ 確認事項	対処方法
メディアセット状態の確認	**(1)** メディアがまっすぐセットされているか確認し、セットし直してください。
ヒーター温度の調整	**(1)** プリヒーター温度を 5 ～ 10°C 程度上げてください。 **(2)** すべてのヒーター温度を下げてください。(ヒーター温度を下げると乾燥時間が足りなくなる場合があるので、フィード速度を遅くしてください。)
メディアの搬送	**(1)** ロールメディアの場合、数十センチ～ 1 メートル程度メディア送りをしてください。 **(2)** リーフメディアの場合、▲▼を押してフィード・バックフィードを行ってください。
ヒーター加温状態でメディアを放置しない	**(1)** メディアジャムの原因になるので、メディアが波打った状態でプリントを開始しないでください。
ヘッドの高さを高くする	**(1)** 厚手メディアの場合、ヘッド高さを L から M に上げてプリントしてください。

ロールメディアがたるんで床に接触する場合

装置背面のロールホルダにメディアをセットする際、ホルダを紙管に押し当てる力が弱いとロールメディアがたるんで床に接触します。右側のロールホルダのネジを緩め、紙管に強く押し当てた状態 (押し当て力の目安 : 15kgf) でネジを固定してください。(☞ P.2-9)

下記の条件では特に発生しやすいので、ご注意ください。

- 印刷後、 メディアがバックフィードしたとき
- ターポリン等の重量メディアを使用しているとき
- ロールメディアの残量が少なくなったとき、 または、 残量の少ないメディアをセットしたとき



メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
シ゛ッコウ テ゛キマセン : カハ゛ーオーフ゜ン	正面カバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	• 正面カバー、メンテナンスカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
シ゛ッコウ テ゛キマセン : メテ゛ィア ミケンシュツ	メディア未検出。	• メディア検出を行ってください。
シ゛ッコウ テ゛キマセン :MOTOR POWER OFF	カバーオープン後など、モーターが OFF している。	• 正面カバー、メンテナンスカバーを閉めてください。
シ゛ッコウ テ゛キマセン : インク エラーアリ	インクエラーが発生している。	• 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジを確認してください。
シ゛ッコウ テ゛キマセン : フ゜リントテ゛ータ アリ	データを受信している。	• データクリアを実行してください。 (☞ P.2-27)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
<ローカル> フ゜リントフカ/カートリッシ゛[ENT]	複数のインクエラー（使用不可インク）が発生している。 インクの供給（プリントやクリーニングなど）が行えません。	• (ENTER)キーを押して、該当カートリッジとエラー内容を確認し、使用可能カートリッジと交換してください。
<ローカル> ハイインクタンク カクニン [MNT]	廃インクタンクがフル間近。	• 廃インクタンクを確認してください。 (MAINT.)キーを押して、カウンタの補正またはリセットを行ってください。(☞ P.4-34)
<ローカル> ワイハ゜ー コウカン [MNT]	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	• (MAINT.)キーを押して、ワイパーを交換してください。(☞ P.4-33)
<ローカル> ワイハ゜ー セイソウ [MNT]	キャッピングステーションのワイパー清掃時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	• (MAINT.)キーを押して、ワイパーを清掃してください。(☞ P.4-5)
<ローカル> *メテ゛ィアカ゛ アリマセン*	メディアがセットされていない。 センサーの故障。	• メディアをセットしてください。(☞ P.2-5) 再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
<ローカル> フ゜リントテ゛ータ アリ	データ受信済みです。	• (REMOTE)キーを押しプリントを実施してください。 • またはデータクリアを実行してください。
<ローカル> インク ニアエント゛ [ENT]	インクカートリッジのインクが少なくなった。	• (ENTER)キーを押し、該当するカートリッジを確認してください。間もなくインクエンドとなるので、注意してください。

表示	原因	対処方法
<ローカル> インク　キョウキュウ　:MMCCYYKK	ダンパーへのインク補充に失敗した。	• メンテナンスの「ダンパー (☞ P.5-6)」を実施してください。またカートリッジ内のインク残量も確認してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> ダ゛ンパ゜ー　センサー:MMCCYYKK	ダンパーの液面センサの異常を検出した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> インクオーバ゛ーフロー:MMCCYYKK	ダンパーからのオーバーフローを検出した。	• メンテナンスの「ダンパー (☞ P.5-6)」を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> ダ゛ンパ゜ー/HIGH:MMCCYYKK	一定量の消費があったにも関わらず、ダンパーセンサー High に変化がない。	
<ローカル> ダ゛ンパ゜ー/LOW　:MMCCYYKK	一定量の消費があったにも関わらず、ダンパーセンサー Low に変化がない。	
ホワイトインクカートリッシ゛ヲ フッテクダ゛サイ　[ENT]	ホワイトインクがパック内で沈降するのを防止するため、定期的に表示する。	• 手順に従い、ホワイトインクカートリッジを振ってください。(☞ P.1-12)
<ローカル> ソウチオント゛/　タカイ　***°C	装置の温度が高い。	• 使用環境の温度を調整してください。
<ローカル> ソウチオント゛/　ヒクイ　***°C	装置の温度が低い。	
<ローカル> フィルター　コウカン(White)	ホワイトインクフィルター交換時期	• 手順に従い、ホワイトインクフィルターを交換してください。(☞ P.4-40)
ヒーター　オント゛　イシ゛ョウ テ゛ンケ゛ン　オフ　シマシタ　[ENT]	「ERROR 710 ヒーターオンドイジョウ」発生後、強制的に電源 OFF し、再起動した場合、表示します。	• 再度 ERROR 710 が発生した場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> インク　キケ゛ンキ゛レ　[ENT]	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。 • ENTER キーを押し、該当するカートリッジを確認してください。
<ローカル> キケ゛ンキ゛レ(1M)　[ENT]	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 1ヶ月経過)。	• 消費期限より 1 か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(赤 LED が点滅します) • ENTER キーを押し、該当するカートリッジを確認してください。
<ローカル> キケ゛ンキ゛レ(2M)　[ENT]	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	• 消費期限より 2 か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 • ENTER キーを押し、該当するカートリッジを確認してください。
メテ゛ィア　シ゛ャム	メディア詰まりが発生したため、キャリッジ停止した。	• メンテナンスカバーを開け、キャリッジの周りを確認してください。（ファームウエア Ver.3.00 以降に対応）
シ゛ャムセンサ　カクニン	ジャムセンサが異常を検出した。	• メンテナンスカバーを開け、キャリッジの周りを確認してください。
インサツ　チュウダ゛ンチュウ ケイゾ゛ク　<　>　チュウシ	カバーオープン、またはメディアジャム検出により印刷が中断された。	• カバーを閉める、またはメディアジャムを解消し、左右キーで動作を選択してください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。(☞ P.3-35)

表示	原因	対処方法
インク ＩＣ ヨメナイ ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジの IC チップが正常に読み込めない。	• ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク ＩＣ イジョウ ：－－－－ ＹＹＫＫ		
インク シュルイ ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッジ イジョウ ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジの ＩＣ チップ情報に異常が生じた。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 • ホワイトインクを使用している場合、ノズル抜けなどがないか確認してください。
カートリッジ ナシ ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	• ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。
インク エンド ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジのインクがなくなった。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インク ニア エンド ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジのインクが少なくなった。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インクパック カクニン ：－－－－ ＹＹＫＫ	十分なインク量があるのに、インクエンドが検出された。	• エコケースへのインクパックセット状態を確認してください。
インク キゲンギレ ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。
インク キゲンギレ（１カゲツ） ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 1ヶ月経過)。	• 消費期限より 1 か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(赤 LED が点滅します)
インク キゲンギレ（２カゲツ） ：－－－－ ＹＹＫＫ	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	• 消費期限より 2 か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD CONNECT[12345678]	ヘッドの接続が確認できなかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 108 HD MEM EMP[12345678]	ヘッドメモリにデータがない。	
ERROR 108 HD TYPE [12345678]	水用ヘッドで溶剤インクを使用した。	
ERROR 108 HD THERMIS[12345678]	ヘッドの温度が読み取れなかった。	
ERROR 12e Head Failed[xxxx]	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	PRAM がない。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	• データ転送が速すぎる • 制御基板に異常が発生した	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	• データ転送が遅すぎる • 制御基板に異常が発生した	
ERROR 129 ﾊﾞｯﾃﾘ ｺｳｶﾝ	内部時計の電池切れを検出した。	• 弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 12a HDC SPERD	スキャンスピード、波形の異常を検出した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板 1.2V 電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5	メイン基板 2.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 153 Main PCB V3R3	メイン基板 3.3V 電源に異常が発生した。	
ERROR 155 Main PCB V35-1	メイン基板 35-1V 電源に異常が発生した。	
ERROR 157 Main PCB VTT	メイン基板 VTT 電源に異常が発生した。	
ERROR 158 Main PCB V352	メイン基板 35-2V 電源に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 16e Main PCB V3R3B	メイン基板 3.3VB 電源に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COM ドライバが高温になっている。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	
ERROR 172 Main PCB Q6 Check	メイン基板 Q6 が故障（ショートモード）している。	
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR 186 HDC UNDERFLOW		
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		
ERROR 189 COM VOLT	波形電圧の異常を検出した。	
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板 V_CORE 電源に異常が発生した。	
ERROR 18b Main PCB V1R5B	メイン基板 1.5VB 電源に異常が発生した。	
ERROR 18c Main PCB V12	メイン基板 12V 電源に異常が発生した。	
ERROR 18e FLS NOT COMP [12]	ヘッド制御に異常を検出した。	
ERROR 18f OFFSET START [12]		
ERROR 18f OFFSET END [12]		
ERROR 201 COMMAND	コマンドデータ以外のデータを受信した。	• インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
ERROR 202 PARAMETER	数値範囲外のパラメーターを受信した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 304 USB INIT ERR	USB デバイスの初期化に失敗した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 305 USB TIME OUT	USB デバイスにタイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーハ゛ーカレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーハ゛ーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 504 CLAMP UP	クランプレバーを上げたため、実行中の機能を停止した。	（ファームウエア Ver.3.00 以降に対応）
ERROR 50c メテ゛ィアハハ゛センサー カクニン	メディア幅を正しく検出できなかった。	• メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-8) • メディアセンサーの清掃を行ってください。 (☞ P.4-4)
ERROR 509 HDC POSCNT	HDC ポジションカウンターエラーが発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 50a Y ケ゛ンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 516 メテ゛ィアイチ ミキ゛ スキ゛マス	メディアが範囲外にセットされている。	• メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-8)
ERROR 516 メテ゛ィアイチ ヒタ゛リ スキ゛マス		
ERROR 617 タ゛ンハ゜ー センサー:12345678	ダンパーの液面センサ異常を検出した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 618 タ゛ンハ゜ー/HIGH:12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、ダンパーセンサー High に変化がない。	• メンテナンスの「ダンパー (☞ P.5-6)」を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 619 タ゛ンハ゜ー/LOW :12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、ダンパーセンサー Low に変化がない。	
ERROR 61a インクオーハ゛ーフロー:12345678	ダンパーからのオーバーフローを検出した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 61b インク キョウキュウ :12345678	ダンパーへのインク供給ができなかった。	• メンテナンスの「ダンパー (P.5-6)」を実施してください。またカートリッジ内のインク残量も確認してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 627 カートリッジ゛ セット	一定時間以上カートリッジが挿入されていないスロットがある。	• カートリッジをセットしてください。
ERROR 702 サーミスタ セツソ゛ク	サーミスタ接続異常が発生している。	• 乾燥ヒーターのサーミスタ接続を確認してください。 • 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 703 !カ゛イフ゛ ヒータ タ゛ンセン	サーミスタの異常で温度が正常に読めない。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 707 !HD ヒータ タ゛ンセン	ヘッドのヒーターが断線している。	
ERROR 710 ヒーター オント゛ イシ゛ョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されない場合、強制的に装置電源をオフにします。	
ERROR 901 シ゛ッコウ テ゛キマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できません。	• ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、対処してください。
ERROR 902 ミサクス゛ テ゛ータ アリ	作図データが残っている。	• データクリアを実行してください。(P.2-27)
ERROR 90d ヘット゛ センタク ナシ	搭載ヘッド数が 0 となっている。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 90f フ゜リント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメディア長さが足りません。	• メディア幅の広い、またはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動によりメディア幅が狭くなっている場合、原点を右にずらして有効メディア幅を広げてください。
ERROR 04 PARAM ROM	パラメータに異常がある。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*). 000: メッセーシ゛	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは番号を確認のうえ、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。(“000” はエラー No.)

第6章
付録

この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様 6-2
本体仕様 6-2
インク仕様 6-3
インク種によるセットの違いについて 6-4
インクカートリッジのセット順 6-4
お問い合わせシート 6-5
警告ラベルについて 6-6
機能フローチャート 6-8

仕様

本体仕様

項　目		JV400-130LX	JV400-160LX
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	2 ヘッド	
プリントモード (スキャン x フィード)	4 色	600x900 : 双方向 / 単方向 6/12/24pass 900x900 : 双方向 / 単方向 6/12/24pass 900x1200 : 双方向 / 単方向 8/16/32pass 1200x900 : 双方向 / 単方向 6/12/24pass 1200x1200 : 双方向 / 単方向 8/16/32pass	
	4 色 +White 6 色 6 色 +White	600x900 : 双方向 / 単方向 12/24/48pass 900x900 : 双方向 / 単方向 12/24/48pass 900x1200 : 双方向 / 単方向 16/32/64pass 1200x900 : 双方向 / 単方向 12/24/48pass 1200x1200 : 双方向 / 単方向 16/32/64pass (プリントモードによっては選択できないパスがあります)	
使用可能インク	Lx100	Y,M,C,K,W	
		4 色 (K,M,C,Y) 4 色 +W (K,M,C,Y,W)	
	Lx101	Y,M,C,K,Or,G,W (W は Lx100 を使用)	
		4 色 (K,M,C,Y) 6 色[*1] (K,M,C,Y,Or,G) 6 色 +W (K,M,C,Y,Or,G,W)	
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式 : 2 カートリッジ /1 色によるトグル切換供給 (4 色時、4 色 +W 時の M, C、6 色時の M,C) 1 カートリッジ /1 色による供給 (4 色 +w 時の Y,K,W、6 色時の Y,K,Or,G、6 色 +W 時) 600cc インクパック (W は 220cc カートリッジ) 供給、 8 スロット	
インク容量	4 色搭載時	600cc カートリッジ各色 2 本	
	4 色 +W 搭載時	600cc カートリッジ各色 1 本 (C,M は各 2 本) W は 220cc カートリッジ各 2 本	
	6 色搭載時	600cc カートリッジ各色 1 本 (C,M は各 2 本)	
	6 色 +W 搭載時	600cc カートリッジ各色 1 本 W は 220cc カートリッジ各 2 本	
使用可能メディア		薄手コート紙 /PET/ ターポリン / 塩ビフィルム / ポリエステル生地 / 綿	
最大プリント範囲		1361mm	1610mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
	厚さ	0.3mm 以下[*2]	
	ロール外径	Φ180mm 以下	
	ロール重量 [*3]	25kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、 または弱粘着	
リーフメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
プリントマージン	リーフメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値)　前 :150.0 ㎜　後 : 200 ㎜	
	ロールメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値)　前 :150.0 ㎜　後 : 0 ㎜	
距離精度	絶対精度	± 0.3 ㎜ または指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜	
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		L レンジ : 1.8mm M レンジ : 2.3mm H レンジ : 2.8mm	
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 1.0 mm 以下	
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)	

項　目		JV400-130LX	JV400-160LX
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc) / ソフトカウント式	
インターフェイス		USB 2.0	
コマンド		MRL- Ⅲ	
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)	
	動作連続音	65 dB 以下	
	動作不連続音	75 dB 以下	
適合規格		VCCI-classA, FCC Part 15-ClassA, UL 60950-1, CE マーキング (EMC 指令、 低電圧指令、 機械指令） , CB 証明 , RoHS	
電源仕様		AC100 ～ 120±10% , AC220 ～ 240±10% , 50/60Hz±1Hz , 15A ×2 以下	
消費電力 *4		100 ～ 120V ： 1440W x2 200 ～ 240V ： 1800W x2	
設置環境	使用可能温度	20 ℃～ 30 ℃	
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 ℃～ 25 ℃	
	温度勾配	±10 ℃ / h 以下	
	粉塵	0.15mg/m^3 (オフィス相当)	
	最高動作高度	2000 m	
重量		230 kg 以下	250kg 以下
外形寸法	幅	2634mm	2879mm
	奥行き	854mm	854mm
	高さ	1435 mm	1435 mm

*1. ファームウェア Ver.2.50 以降に対応
*2. メディアによっては乾燥性が悪い場合がある。事前に確認をすること。
*3. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。
*4. 本体とヒーターを含む。

インク仕様

項　目		LX インクをご使用の場合
形態		インクパック / カートリッジ (W のみ)
色		ブラックインク シアンインク マゼンタインク イエローインク オレンジインク グリーンインク ホワイトインク
インク容量		600cc / 220cc (W のみ)
有効期限		LX100/LX101 インク 製造日より 1 年間 (常温)
保存温度	保存時	0 ～ 25 ℃（1 日の平均気温） • 容器は密閉した状態で保管すること。
	輸送時	-20 ～ 60 ℃ • -20 ℃より低温になる場所、60 ℃より高温になる場所は避けること。

重 要！

●インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
●インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

- 万一インクが凍結したときは、室温 (25 ℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- 水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

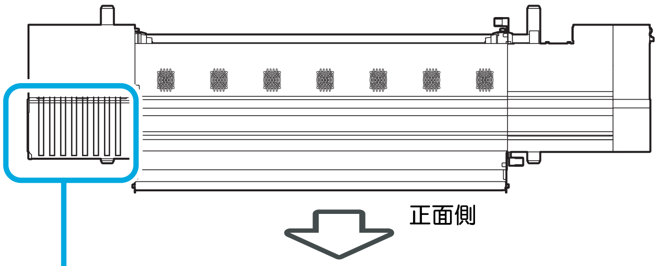
インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、 設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、 インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。

- インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4 色モデル	LX インク	M	M	C	C	Y	Y	K	K
4 色 +W モデル		M	M	C	C	Y	K	W	W
6 色 *1 モデル		M	M	C	C	Or	G	Y	K
6 色 +W モデル		M	Or	C	G	Y	K	W	W

***1.** ファームウェア **Ver.2.50** 以降に対応

お問い合わせシート

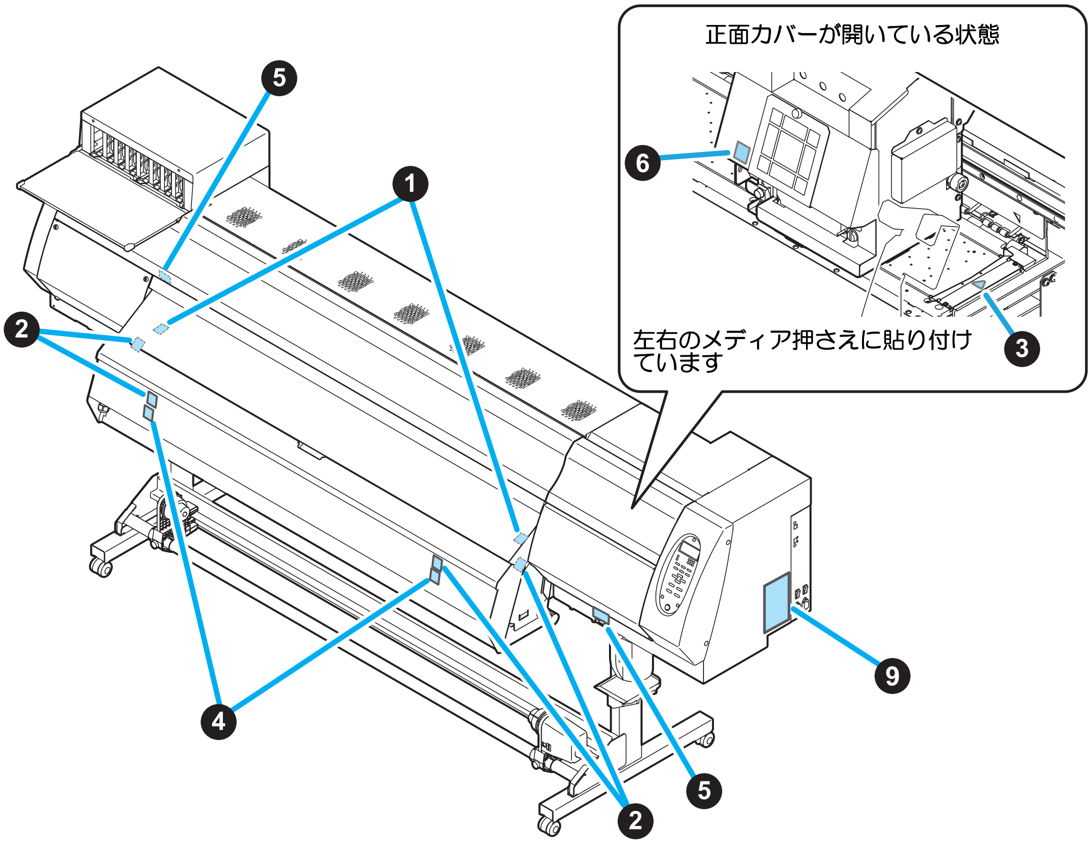
プリンタの故障、 異常動作については、 このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、 弊社営業所まで FAX でお送りください。

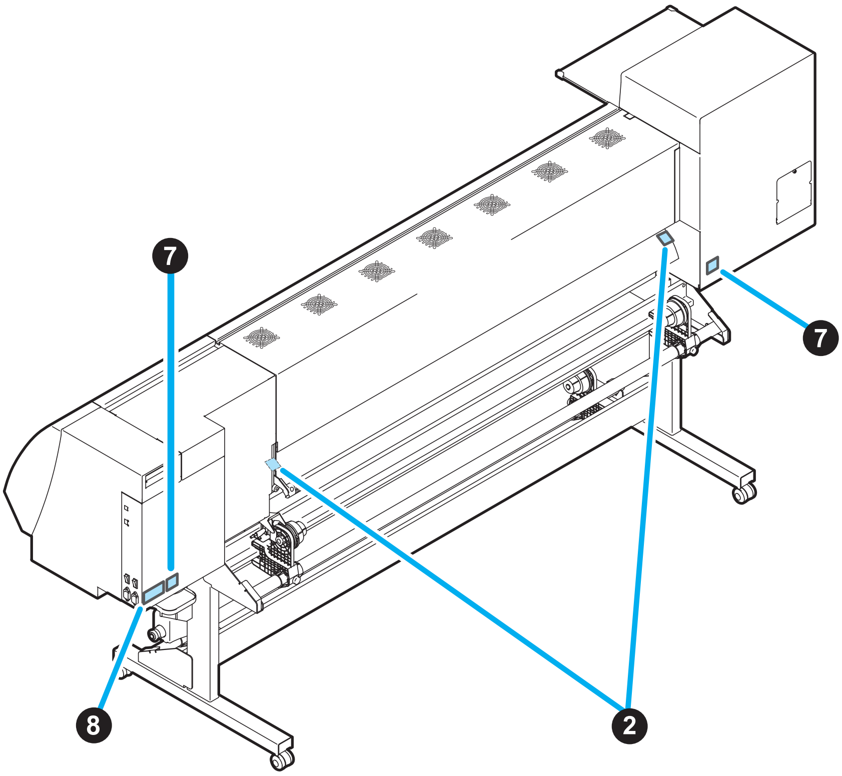
御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報[*1]	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

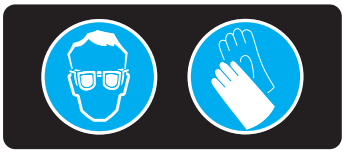
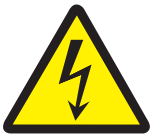
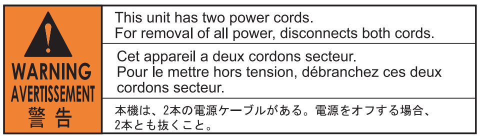
*1.「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(☞ P.3-32)

警告ラベルについて

本装置には、 下記の警告ラベルが貼ってあります。 警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、 警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、 新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



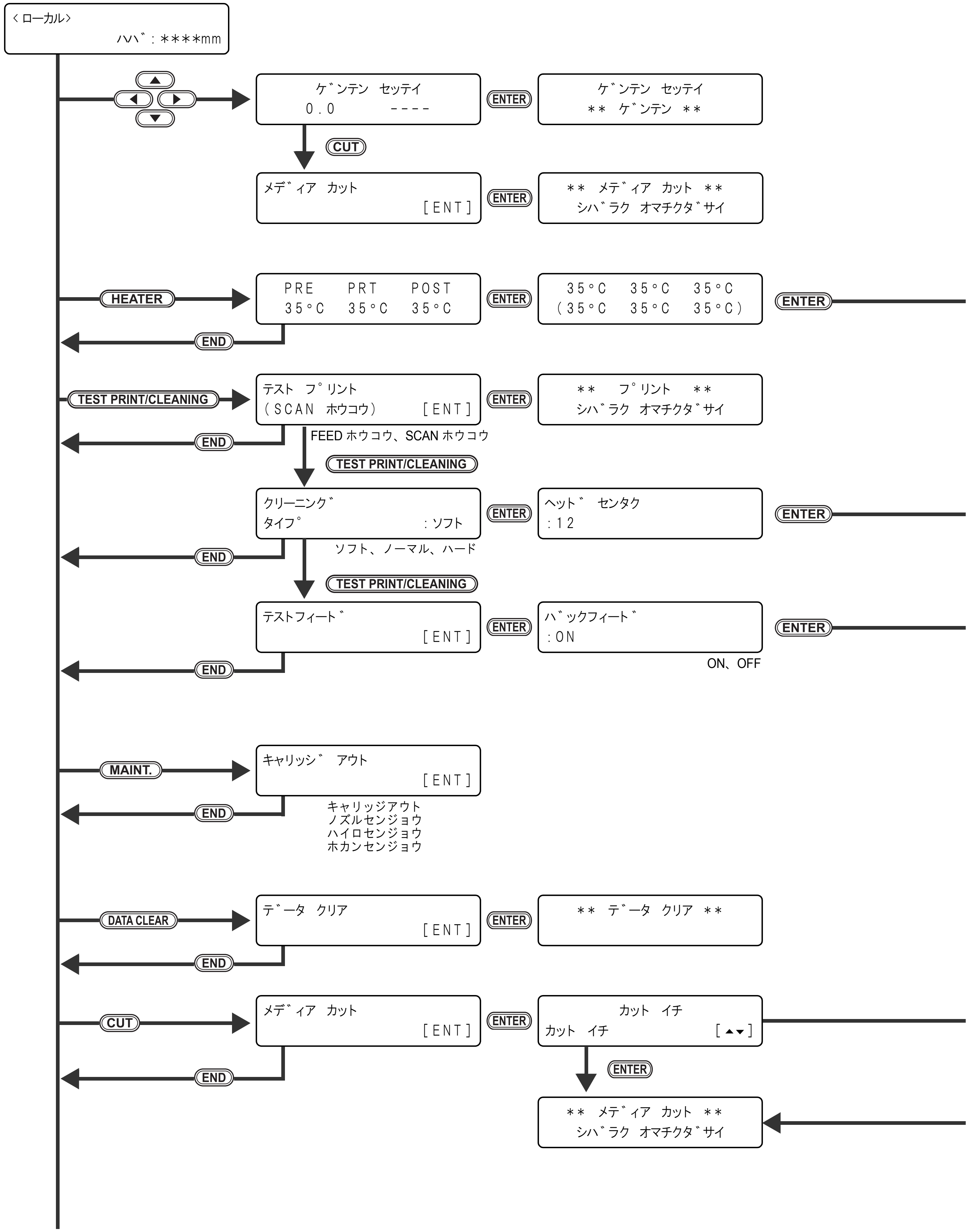


<table>
<tr><th>No.</th><th>ラベル</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>M907833</td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td>キャリッジが動いているので、 手を入れないこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2~4</td><td>M903239 M906144 M908553</td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td>ヒーターの高温に注意すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>M903330</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>作業中に安全メガネおよび手袋を着用すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>M903405</td><td></td></tr>
<tr><td> </td><td>カッターに注意すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>M907935</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>危険電圧のため感電に注意すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>M906031</td><td></td></tr>
<tr><td>
</td><td>本機は複数の電源コードを使用している。
本機の電源を完全に停止するには、 すべての電源プラグを抜くこと。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>M908546 (JV400-130LX)</td><td>M908545 (JV400-160LX)</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
</table>

付録

6

機能フローチャート



P.6-10 へ

FAN HEATER
:シ゛ュンヒ゛カンリョウ(10°C)

** クリーニンク゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

テストフィート゛
カイシ [ENT]

ENTER

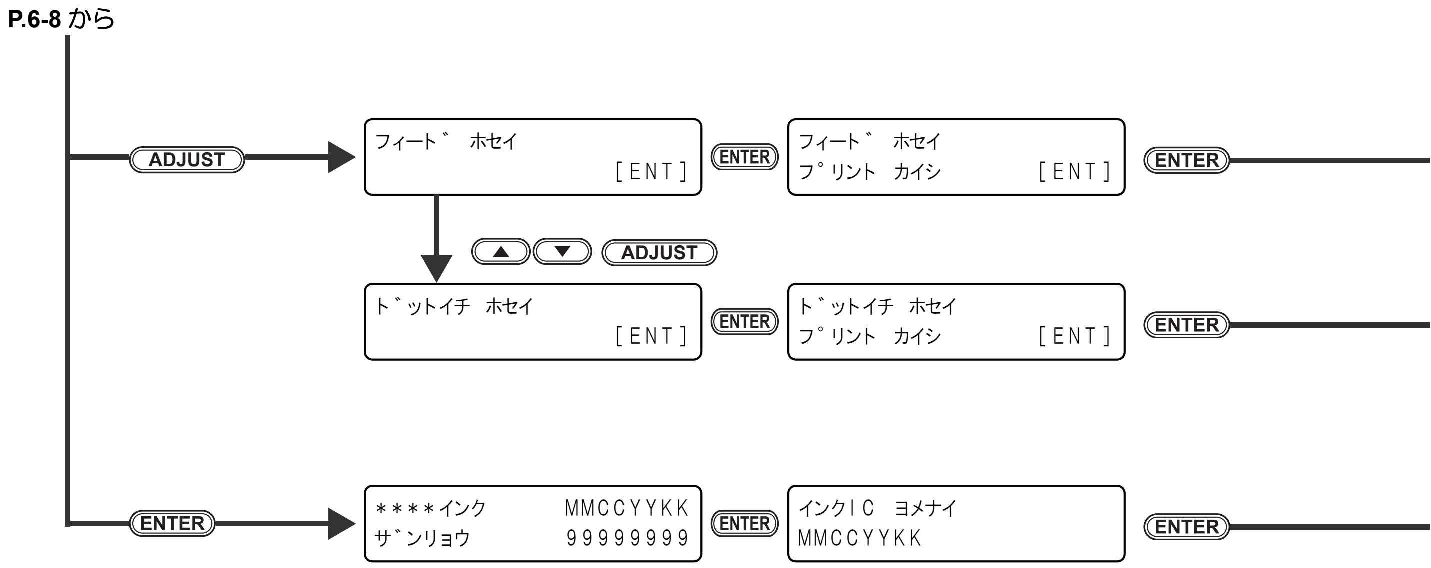
** テスト フィート゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

カット イチ
0.0 ----

ENTER

付録

6


P.6-8 から
ADJUST
フィード゛ ホセイ
[ENT]
ENTER
フィード゛ ホセイ
プ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
▲ ▼ ADJUST
ト゛ットイチ ホセイ
[ENT]
ENTER
ト゛ットイチ ホセイ
プ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
ENTER
＊＊＊＊インク MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ 99999999
ENTER
インクIC ヨメナイ
MMCCYYKK
ENTER

＊＊　プ゜リント　＊＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

ENTER

フィート゛　ホセイ
=　　　　　0

-9999 ～ 9999

＊＊　プ゜リント　＊＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

ENTER

ハ゜ターン1
=　　　　　0.0

ENTER

ハ゜ターン2
=　　　　　0.0

ワーニンク゛
ワイハ゜ー　コウカン　　[MNT]

ENTER

メテ゛ィア　ハハ゛
=　　　　　1000mm

ENTER

シリアル　No.
:＊＊＊＊＊＊＊＊

ENTER

JV400-160LX　　V1.00
MRL-III　　　　V1.80

ENTER

ノス゛ル　リカハ゛リ　　:1
カクニン　　　　[MNT]

リカバリなしの場合表示しない

MAINT.

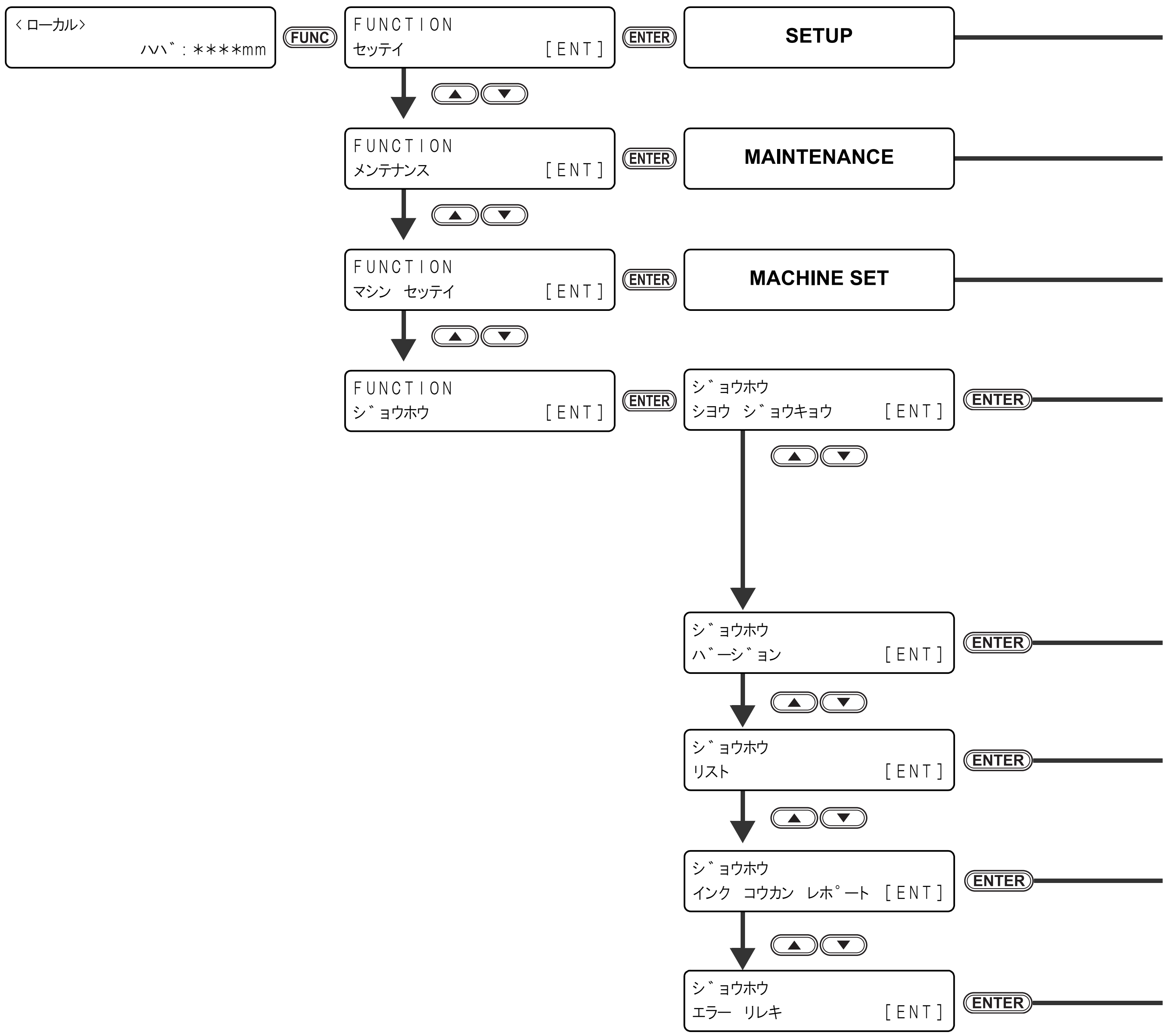
H1-A:＊＊　　　No.1-5
001/00x/---/---/---

ENTER

H1-B:＊＊　　　No.1-5
001/00x/---/---/---

付録

6


<ローカル>
ハハ゛: ＊＊＊＊mm
FUNC
FUNCTION
セッテイ [ENT]
ENTER
SETUP
FUNCTION
メンテナンス [ENT]
ENTER
MAINTENANCE
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
ENTER
MACHINE SET
FUNCTION
シ゛ョウホウ [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
シヨウ シ゛ョウキョウ [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
ハ゛ーシ゛ョン [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
リスト [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
インク コウカン レホ゜ート [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
エラー リレキ [ENT]
ENTER

P.6-14 へ進む

P.6-18 へ進む

P.6-22 へ進む

ワイピング
= 0

ENTER

ハイ インクタンク
= 0%

ENTER

プリント チョウ
= 0m

ENTER

プリント メンセキ
= 0m²

ENTER

ショウ ジカン
= 0h

ENTER

フィルター(White)
= 0d

JV400-160LX V1.00
MRL-III V1.80

リスト
プリント カイシ [ENT]

ENTER

ハイ インクタンク
****

ENTER

** プリント **
シバラク オマチクダサイ

インク コウカン レポート
プリント カイシ [ENT]

ENTER

** プリント **
シバラク オマチクダサイ

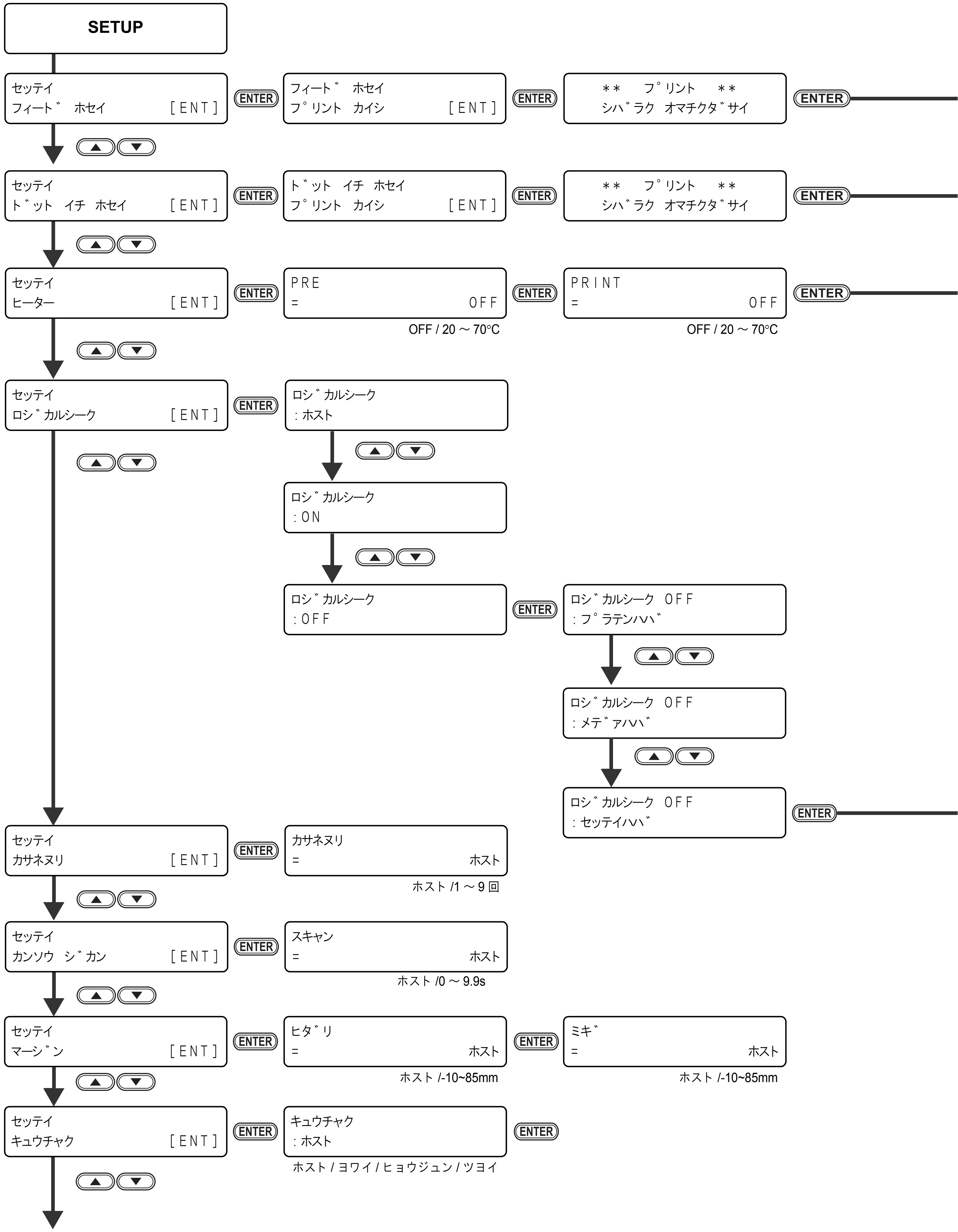
[00000]
2013/07/19 22:13:00

▲ ▼

ERROR 12a
HDC SPEED

付録

6


SETUP
セッテイ
フィート゛ ホセイ [ENT]
ENTER
フィート゛ ホセイ
フ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
** フ゜リント **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
セッテイ
ト゛ット イチ ホセイ [ENT]
ENTER
ト゛ット イチ ホセイ
フ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
** フ゜リント **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
セッテイ
ヒーター [ENT]
ENTER
PRE
= OFF
OFF / 20 ～ 70°C
ENTER
PRINT
= OFF
OFF / 20 ～ 70°C
ENTER
セッテイ
ロシ゛カルシーク [ENT]
ENTER
ロシ゛カルシーク
: ホスト
ロシ゛カルシーク
: ON
ロシ゛カルシーク
: OFF
ENTER
ロシ゛カルシーク OFF
: フ゜ラテンハハ゛
ロシ゛カルシーク OFF
: メテ゛ィアハハ゛
ロシ゛カルシーク OFF
: セッテイハハ゛
ENTER
セッテイ
カサネヌリ [ENT]
ENTER
カサネヌリ
= ホスト
ホスト /1 ～ 9 回
セッテイ
カンソウ シ゛カン [ENT]
ENTER
スキャン
= ホスト
ホスト /0 ～ 9.9s
セッテイ
マーシ゛ン [ENT]
ENTER
ヒタ゛リ
= ホスト
ホスト /-10~85mm
ENTER
ミキ゛
= ホスト
ホスト /-10~85mm
セッテイ
キュウチャク [ENT]
ENTER
キュウチャク
: ホスト
ホスト / ヨワイ / ヒョウジュン / ツヨイ
ENTER

P.6-16 へ

プリント終了

フィート゛　ホセイ
=　　　　　　0

-9999 ～ 9999

プリント終了

ハ゜ターン1
=　　　　　0.0

-40.0 ～ 40.0

ENTER

ハ゜ターン2
=　　　　　0.0

-40.0 ～ 40.0

POST
=　　　　　OFF

OFF / 20 ～ 70°C

ENTER

FAN HEATER
=　　　POST+20°C

OFF / +0 ～ 20°C

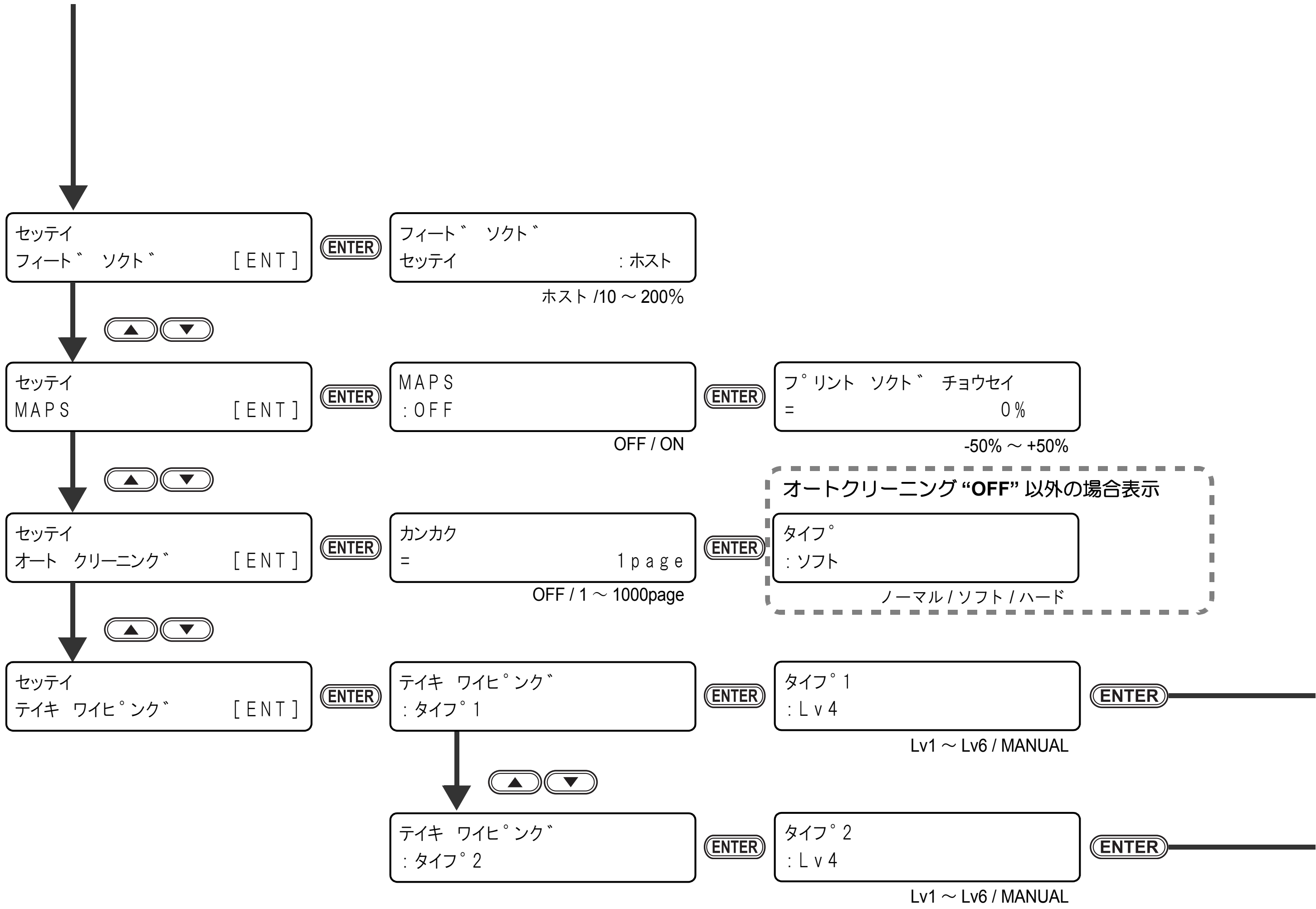
ヒタ゛リ(メテ゛ィアハハ゛+)
=　　　0mm

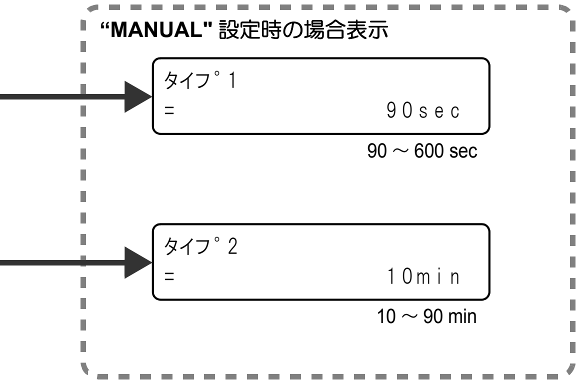
0mm ～プラテン幅

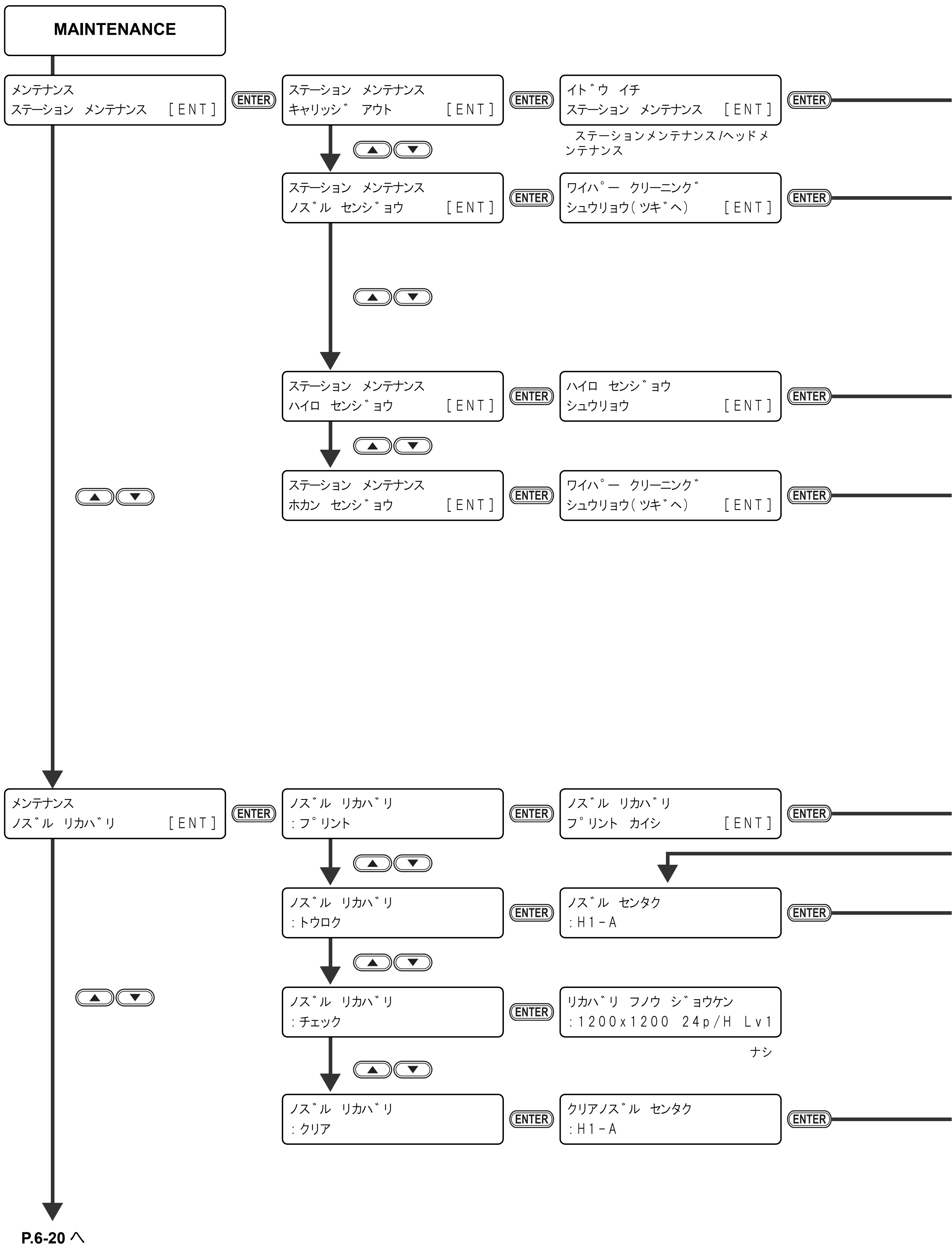
付録

6

P.6-14 から


セッテイ
フィード ソクド [ENT]
ENTER
フィード ソクド
セッテイ :ホスト
ホスト /10 ～ 200%
セッテイ
MAPS [ENT]
MAPS
:OFF
OFF / ON
プリント ソクド チョウセイ
= 0%
-50% ～ +50%
オートクリーニング "OFF" 以外の場合表示
セッテイ
オート クリーニング [ENT]
カンカク
= 1page
OFF / 1 ～ 1000page
タイプ
:ソフト
ノーマル / ソフト / ハード
セッテイ
テイキ ワイピング [ENT]
テイキ ワイピング
:タイプ1
タイプ1
:Lv4
Lv1 ～ Lv6 / MANUAL
テイキ ワイピング
:タイプ2
タイプ2
:Lv4
Lv1 ～ Lv6 / MANUAL


"MANUAL" 設定時の場合表示
タイプ゜1
= 90sec
90 ～ 600 sec
タイプ゜2
= 10min
10 ～ 90 min


MAINTENANCE
メンテナンス
ステーション　メンテナンス　[ENT]
ENTER
ステーション　メンテナンス
キャリッシ゛　アウト　[ENT]
ENTER
イト゛ウ　イチ
ステーション　メンテナンス　[ENT]
ENTER
ステーションメンテナンス/ヘッドメンテナンス
ステーション　メンテナンス
ノス゛ル　センシ゛ョウ　[ENT]
ENTER
ワイハ゜ー　クリーニンク゛
シュウリョウ(ツキ゛へ)　[ENT]
ENTER
ステーション　メンテナンス
ハイロ　センシ゛ョウ　[ENT]
ENTER
ハイロ　センシ゛ョウ
シュウリョウ　[ENT]
ENTER
ステーション　メンテナンス
ホカン　センシ゛ョウ　[ENT]
ENTER
ワイハ゜ー　クリーニンク゛
シュウリョウ(ツキ゛へ)　[ENT]
ENTER
メンテナンス
ノス゛ル　リカハ゛リ　[ENT]
ENTER
ノス゛ル　リカハ゛リ
:フ゜リント
ENTER
ノス゛ル　リカハ゛リ
フ゜リント　カイシ　[ENT]
ENTER
ノス゛ル　リカハ゛リ
:トウロク
ENTER
ノス゛ル　センタク
:H1-A
ENTER
ノス゛ル　リカハ゛リ
:チェック
ENTER
リカハ゛リ　フノウ　シ゛ョウケン
:1200x1200　24p/H　Lv1
ナシ
ノス゛ル　リカハ゛リ
:クリア
ENTER
クリアノス゛ル　センタク
:H1-A
ENTER
P.6-20 へ

キャリッシ゛ アウト
シュウリョウ [ENT]
ENTER
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
ENTER
初期動作完了後ローカルへ

キャッフ゜ クリーニンク゛
シュウリョウ(ツキ゛ヘ) [ENT]
ENTER
センシ゛ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ(ツキ゛ヘ) [ENT]
ENTER
ホウチ シ゛カン
= 1min
ENTER
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
ENTER
クリーニング画面

カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
ENTER

キャッフ゜ クリーニンク゛
シュウリョウ(ツキ゛ヘ) [ENT]
ENTER
センシ゛ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ(ツキ゛ヘ) [ENT]
ENTER
ホウチ シ゛カン
= 1min
ENTER
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
ENTER
クリーニング画面
ハイロ センシ゛ョウ
シュウリョウ [ENT]
ENTER
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ

** フ゜リント **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER

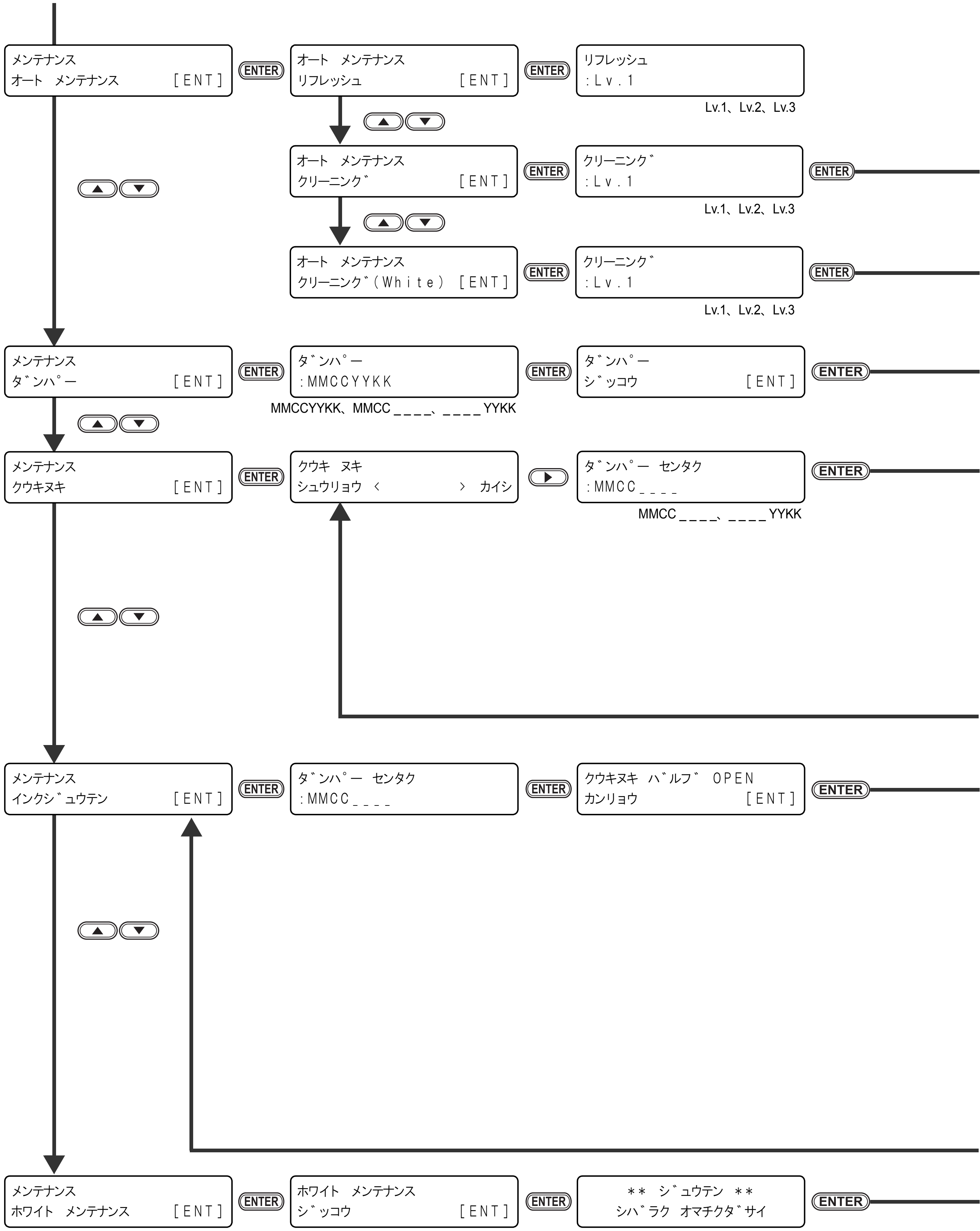
H1-A
No.1:001
OFF/1 ～ 320

H1-A クリア?
シ゛ッコウ [ENT]

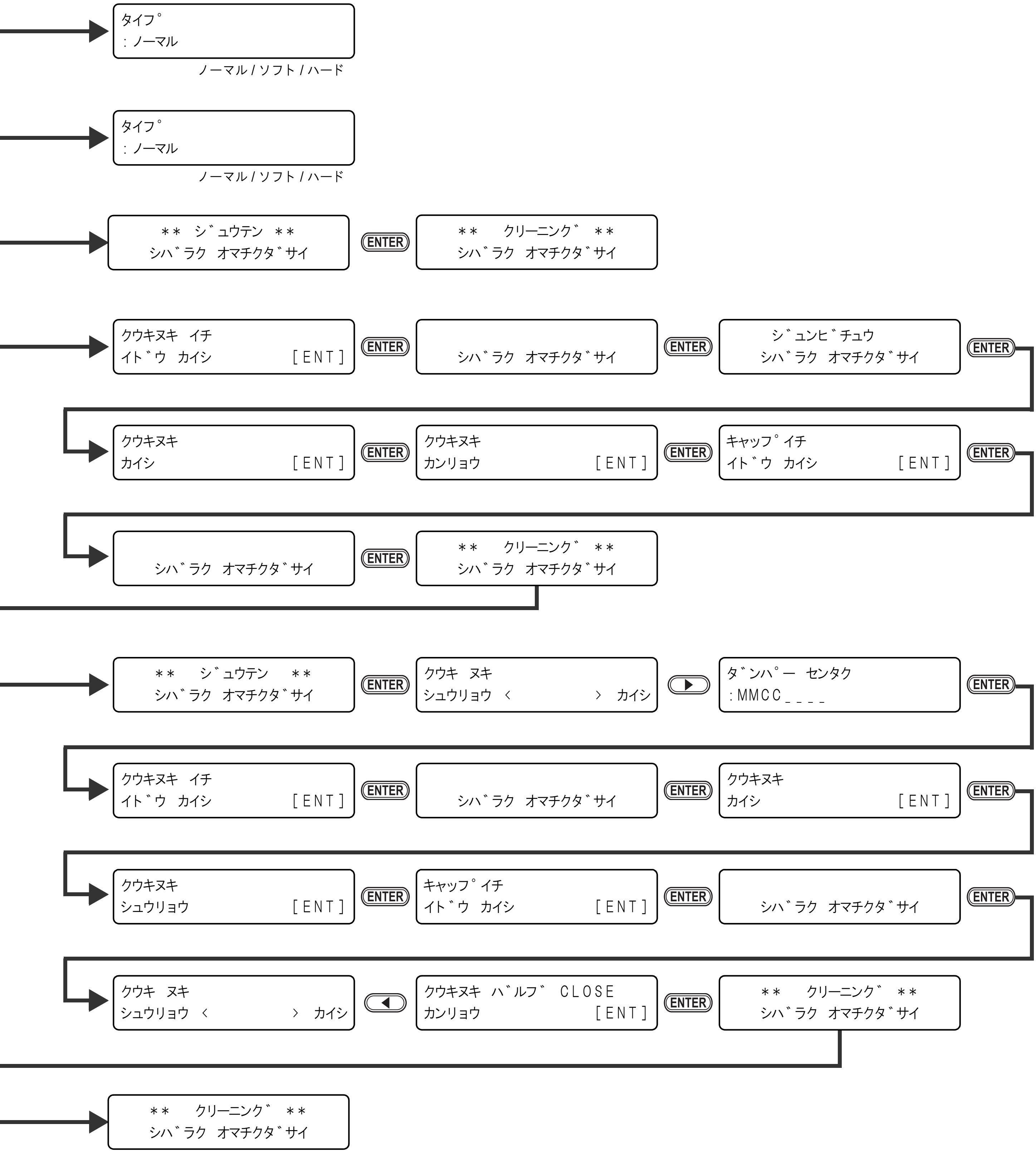
付録

6

P.6-18 から

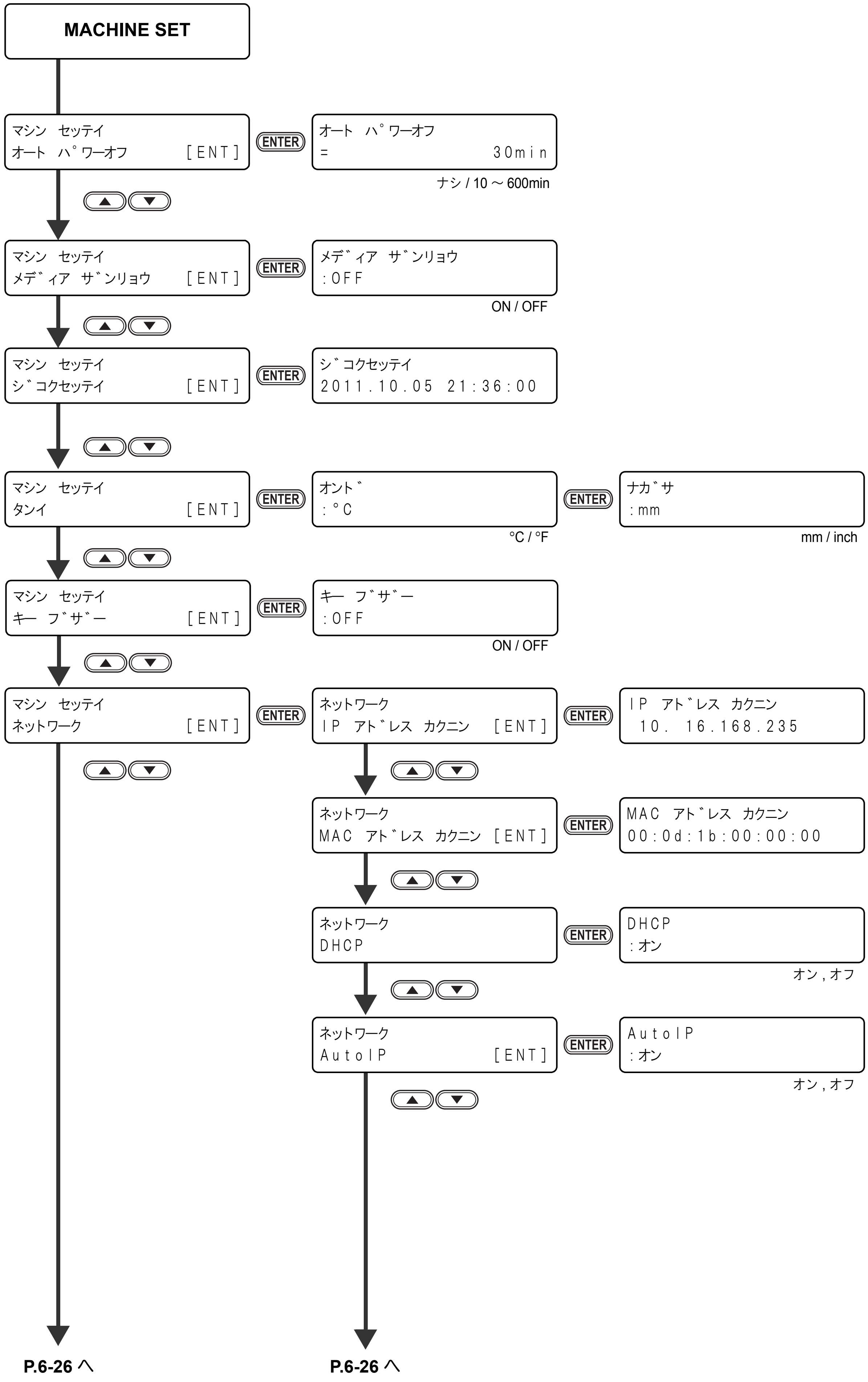


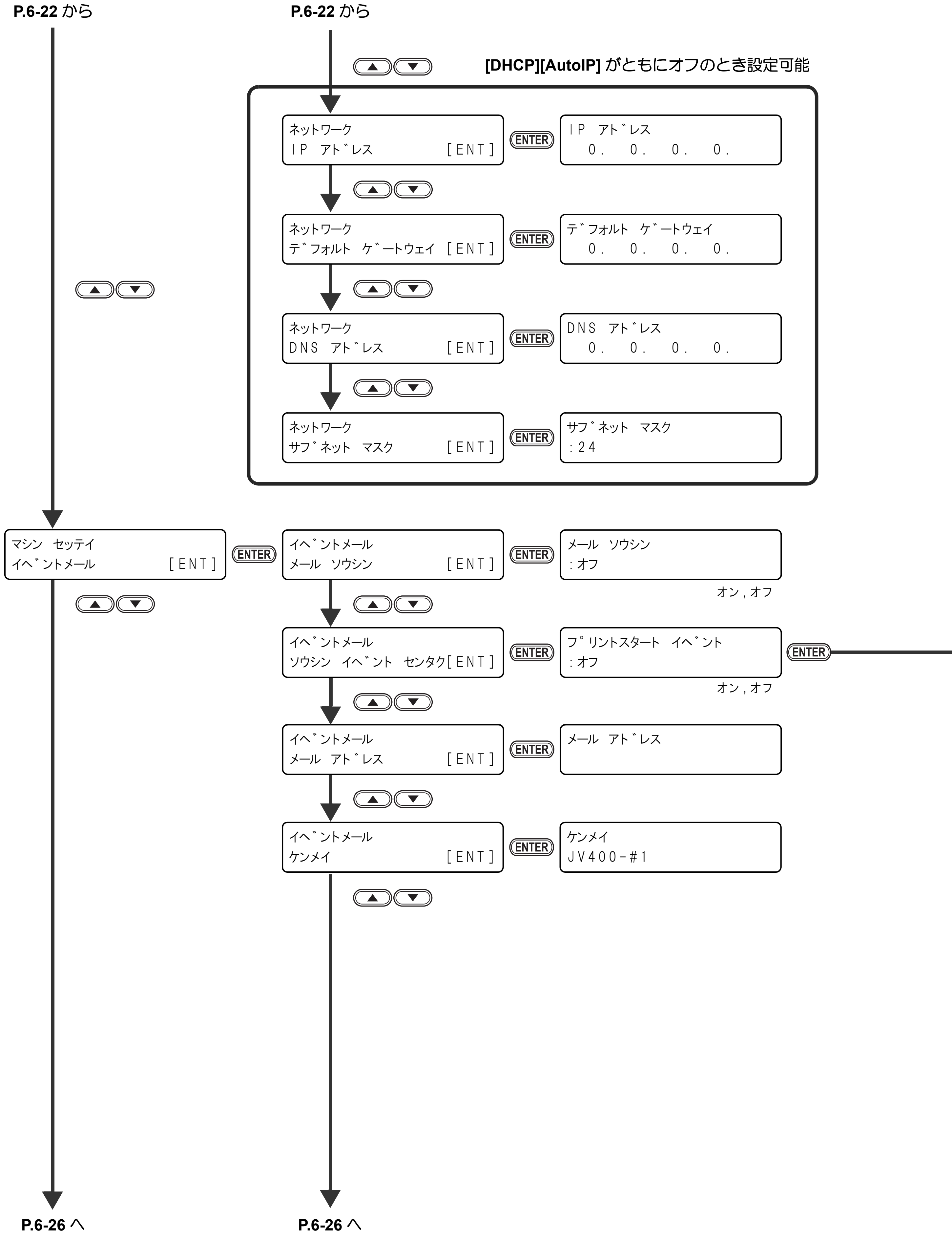
メンテナンス
オート　メンテナンス　[ENT]
ENTER
オート　メンテナンス
リフレッシュ　[ENT]
ENTER
リフレッシュ
:Lv.1
Lv.1、Lv.2、Lv.3
オート　メンテナンス
クリーニング゛　[ENT]
ENTER
クリーニング゛
:Lv.1
ENTER
Lv.1、Lv.2、Lv.3
オート　メンテナンス
クリーニング゛(White)　[ENT]
ENTER
クリーニング゛
:Lv.1
ENTER
Lv.1、Lv.2、Lv.3
メンテナンス
ダ゛ンパ゜ー　[ENT]
ENTER
ダ゛ンパ゜ー
:MMCCYYKK
MMCCYYKK、MMCC＿＿＿＿、＿＿＿＿YYKK
ENTER
ダ゛ンパ゜ー
シ゛ッコウ　[ENT]
ENTER
メンテナンス
クウキヌキ　[ENT]
ENTER
クウキ　ヌキ
シュウリョウ　＜　＞　カイシ
ダ゛ンパ゜ー　センタク
:MMCC＿＿＿＿
MMCC＿＿＿＿、＿＿＿＿YYKK
ENTER
メンテナンス
インクシ゛ュウテン　[ENT]
ENTER
ダ゛ンパ゜ー　センタク
:MMCC＿＿＿＿
ENTER
クウキヌキ　ハ゛ルフ゛　OPEN
カンリョウ　[ENT]
ENTER
メンテナンス
ホワイト　メンテナンス　[ENT]
ENTER
ホワイト　メンテナンス
シ゛ッコウ　[ENT]
ENTER
＊＊　シ゛ュウテン　＊＊
シハ゛ラク　オマチクダ゛サイ
ENTER

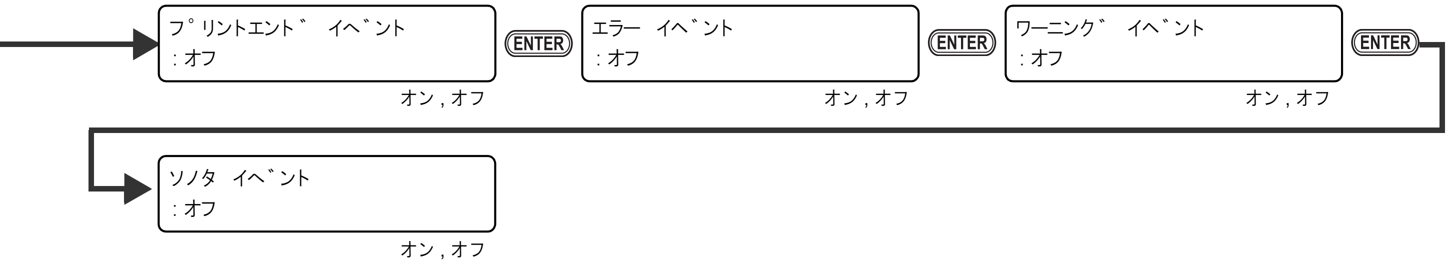

タイフ゜
: ノーマル
ノーマル / ソフト / ハード
タイフ゜
: ノーマル
ノーマル / ソフト / ハード
＊＊ シ゛ュウテン ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
＊＊ クリーニンク゛ ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
クウキヌキ イチ
イト゛ウ カイシ [ENT]
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
シ゛ュンヒ゛チュウ
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
クウキヌキ
カイシ [ENT]
ENTER
クウキヌキ
カンリョウ [ENT]
ENTER
キャッフ゜イチ
イト゛ウ カイシ [ENT]
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
＊＊ クリーニンク゛ ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
＊＊ シ゛ュウテン ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
クウキ ヌキ
シュウリョウ ＜ ＞ カイシ
タ゛ンハ゜ー センタク
: MMCC_ _ _ _
ENTER
クウキヌキ イチ
イト゛ウ カイシ [ENT]
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
クウキヌキ
カイシ [ENT]
ENTER
クウキヌキ
シュウリョウ [ENT]
ENTER
キャッフ゜イチ
イト゛ウ カイシ [ENT]
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
クウキ ヌキ
シュウリョウ ＜ ＞ カイシ
クウキヌキ ハ゛ルフ゛ CLOSE
カンリョウ [ENT]
ENTER
＊＊ クリーニンク゛ ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
＊＊ クリーニンク゛ ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

付録

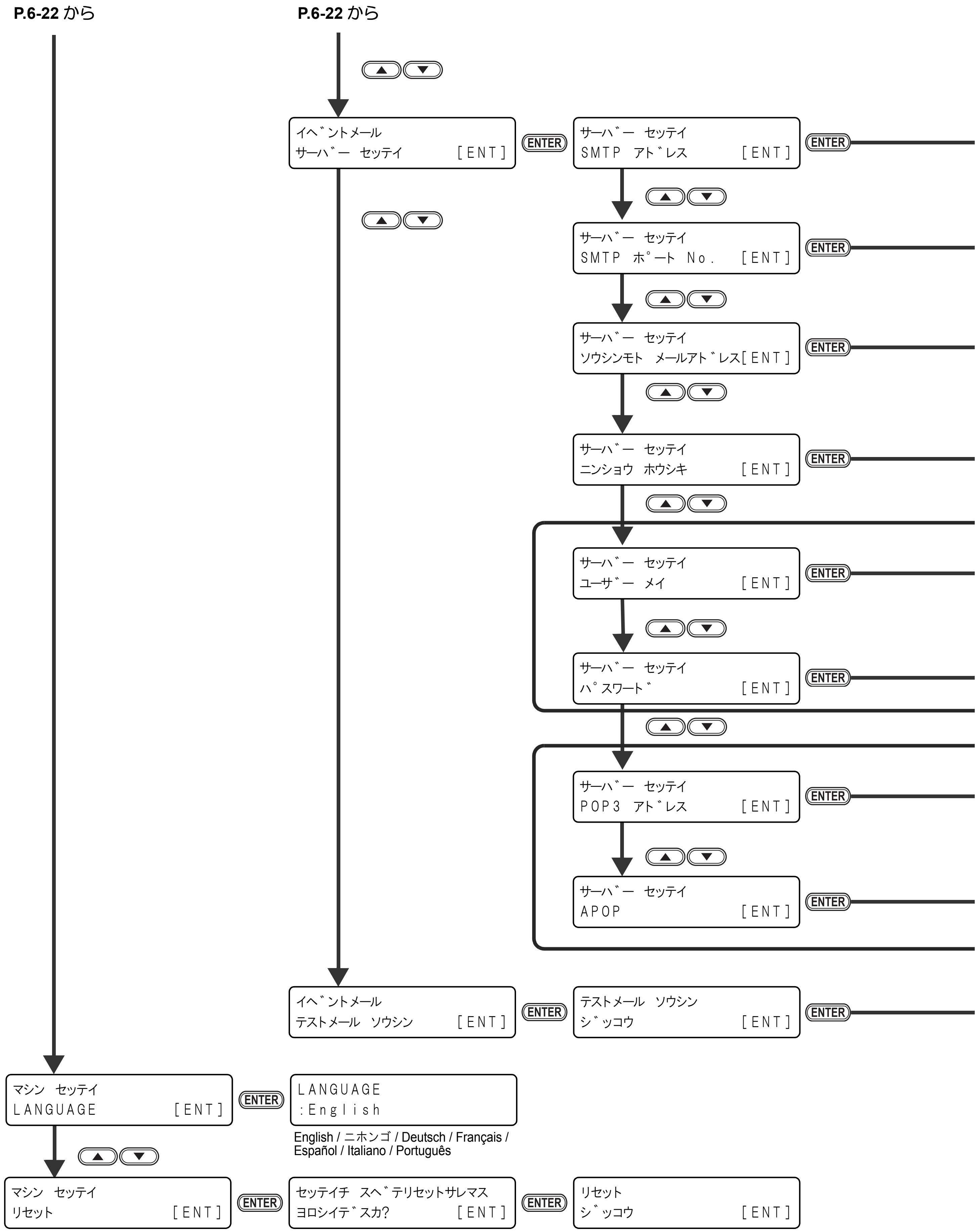
6


MACHINE SET
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ　[ENT]
ENTER
オート　ハ゜ワーオフ
=　30min
ナシ / 10 ～ 600min
マシン　セッテイ
メテ゛ィア　サ゛ンリョウ　[ENT]
メテ゛ィア　サ゛ンリョウ
:OFF
ON / OFF
マシン　セッテイ
シ゛コクセッテイ　[ENT]
シ゛コクセッテイ
2011.10.05 21:36:00
マシン　セッテイ
タンイ　[ENT]
オント゛
:°C
°C / °F
ナカ゛サ
:mm
mm / inch
マシン　セッテイ
キー　フ゛サ゛ー　[ENT]
キー　フ゛サ゛ー
:OFF
ON / OFF
マシン　セッテイ
ネットワーク　[ENT]
ネットワーク
IP　アト゛レス　カクニン　[ENT]
IP　アト゛レス　カクニン
10. 16.168.235
ネットワーク
MAC　アト゛レス　カクニン　[ENT]
MAC　アト゛レス　カクニン
00:0d:1b:00:00:00
ネットワーク
DHCP
DHCP
:オン
オン , オフ
ネットワーク
AutoIP　[ENT]
AutoIP
:オン
オン , オフ
P.6-26 へ
P.6-26 へ


P.6-22 から
P.6-22 から
[DHCP][AutoIP] がともにオフのとき設定可能
ネットワーク
IP アト゛レス [ENT]
ENTER
IP アト゛レス
0. 0. 0. 0.
ネットワーク
テ゛フォルト ケ゛ートウェイ [ENT]
ENTER
テ゛フォルト ケ゛ートウェイ
0. 0. 0. 0.
ネットワーク
DNS アト゛レス [ENT]
ENTER
DNS アト゛レス
0. 0. 0. 0.
ネットワーク
サフ゛ネット マスク [ENT]
ENTER
サフ゛ネット マスク
:24
マシン セッテイ
イヘ゛ントメール [ENT]
ENTER
イヘ゛ントメール
メール ソウシン [ENT]
ENTER
メール ソウシン
:オフ
オン , オフ
イヘ゛ントメール
ソウシン イヘ゛ント センタク[ENT]
ENTER
フ゜リントスタート イヘ゛ント
:オフ
オン , オフ
ENTER
イヘ゛ントメール
メール アト゛レス [ENT]
ENTER
メール アト゛レス
イヘ゛ントメール
ケンメイ [ENT]
ENTER
ケンメイ
JV400-#1
P.6-26 へ
P.6-26 へ



フ゜リントエント゛　イヘ゛ント
: オフ
オン , オフ
ENTER
エラー　イヘ゛ント
: オフ
オン , オフ
ENTER
ワーニンク゛　イヘ゛ント
: オフ
オン , オフ
ENTER
ソノタ　イヘ゛ント
: オフ
オン , オフ


P.6-22 から
P.6-22 から
イヘ゛ントメール
サーハ゛ー セッテイ [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
SMTP アト゛レス [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
SMTP ホ゜ート No. [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアト゛レス[ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
ユーサ゛ー メイ [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
ハ゜スワート゛ [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
POP3 アト゛レス [ENT]
ENTER
サーハ゛ー セッテイ
APOP [ENT]
ENTER
イヘ゛ントメール
テストメール ソウシン [ENT]
ENTER
テストメール ソウシン
シ゛ッコウ [ENT]
ENTER
マシン セッテイ
LANGUAGE [ENT]
ENTER
LANGUAGE
:English
English / ニホンゴ / Deutsch / Français / Español / Italiano / Português
マシン セッテイ
リセット [ENT]
ENTER
セッテイチ スヘ゛テリセットサレマス
ヨロシイテ゛スカ? [ENT]
ENTER
リセット
シ゛ッコウ [ENT]

ＳＭＴＰ　アト゛レス

ＳＭＴＰ　ホ゜ート　Ｎｏ．
：　　　２５

ソウシンモト　メールアト゛レス

ニンショウ　ホウシキ
：オフ

オフ , POP before SMTP,
SMTP ニンショウ

ユーザ゛ー　メイ

ハ゜スワート゛
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

[ニンショウホウシキ] が [POP before SMTP][SMTP ニンショウ] の場合表示

ＰＯＰ３　アト゛レス

ＡＰＯＰ
：オン

オン , オフ

[ニンショウホウシキ] が [POP before SMTP] の場合のみ表示

結果表示

付録

6

索　引

C

C 吸収材の交換方法 4-18

L

LANGUAGE 3-12
LED ポインタ 2-15

M

MAPS 3-2, 3-7

U

USB2.0 インターフェイスケーブル 1-10

あ

安全インターロックについて 0-x
安全にお使いいただくために 0-vii
　ご注意とお願い 0-ix
　使用上の警告と注意 0-viii
　設置上のご注意 0-x

い

イベントメール機能 3-21
イベントメール機能を有効にする 3-21
イベントを設定する 3-22
インクカートリッジ取り扱い上のご注意 1-14
インクカートリッジの組み立て方 1-15
インクコウカンレポート 3-32
インク種によるセットの違いについて 6-4

え

エラーメッセージ 5-12

お

オートクリーニング 3-2, 3-8
オートパワーオフ 3-11
オートパワーオフの設定 3-13
オートメンテナンス 4-30
オートメンテナンス機能
　クリーニング間隔 4-31, 4-32
　リフレッシュ間隔 4-30
お問い合わせシート 6-5

か

外装のお手入れ 4-3
各部の名称とはたらきについて
　キャリッジ 1-8
　操作パネル 1-6
　装置前面 1-4
　装置背面 / 側面 1-5
　ヒーター 1-7
　メディアセンサー 1-7
画質不良が発生したときは 5-4
カッター刃とカット溝 1-8
カッター刃の交換 4-38
乾燥時間の設定 3-5

き

キーブザー 3-11
キーブザーの設定 3-18
機能フローチャート 6-8
キャッピングステーション 1-9
キャッピングステーションのメンテナンス
　インク排出路の洗浄 4-12
　長期間使用しない場合 4-13
　ヘッドノズルの洗浄 4-20
　ワイパーとキャップの清掃 4-5
　ワイパーを交換する 4-33, 4-40

く

クリーニング間隔 3-8, 4-31, 4-32
クリーニングタイプ 3-8

け

警告ラベル 6-6
言語の設定 3-30
原点
　原点設定位置の目安 2-15
件名を設定する 3-24

こ

故障？と思う前に 5-2
　HEAT ランプ ,CONSTANT ランプが点灯しない
　5-3
　インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-25
　エラー 618 ～ 61b が発生したら 5-6
　カートリッジ異常が発生したら 5-5
　画質不良が発生したときは 5-4
　白インク (ホワイト) の定期メンテナンス ...5-7
　電源が入らない 5-2
　ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
　プリントできない 5-2
　メディアが汚れる 5-3
　メディア詰まり 5-3
ご注意 0-v

さ

サーバーを設定する 3-25
作業の流れ 2-2

し

ジコクセッテイ 3-11, 3-16
ジコクの設定 3-16
受信障害 0-v
仕様
　インク仕様 6-3
　本体仕様 6-2
ショウ　ジョウキョウ 3-32
使用可能メディアサイズ 1-17
使用環境温度 1-2
使用状況 3-33
情報を表示させる 3-32, 3-34, 3-35
初期状態に戻す 3-31

す

ステーション メンテナンス 4-6, 4-9, 4-18, 4-38

せ

静電シートについて 1-18
設置場所について 1-2
設定機能一覧 3-2

そ

双方向プリントのドット位置を調整する 2-24

た

タンイ 3-11
タンイの設定 3-17

て

データクリア 2-27
データを作図する 2-26
テストフィード 2-18
テストプリントに関する注意事項 2-19
テストプリントをする 2-19
テストメールを送信する 3-28
電源ケーブル 1-11
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-4
　電源を切るときのご注意 2-4
電波障害自主規制 0-v

と

ドット位置補正 2-24
取扱説明書について 0-vi
トルクリミッタ 2-12

に

日常のお手入れ
　お手入れ上のご注意 4-2

ね

ネットワークの設定 3-19

の

ノズル面の清掃頻度を設定する 3-9
ノズルリカバリ 4-27

は

バージョン 3-32, 3-33
廃インクタンク確認メッセージ 4-34
廃インクタンクを交換する 4-35
ハイロ洗浄 4-12
パターンプリント 2-24

ひ

ヒーターの準備をする
　乾燥ファンヒーターの温度を設定する 2-17
　ヒーターの温度設定を変更する 2-16
　ヒーターの温度を確認する 2-17
標準マージン 3-6
ピンチローラーとフィードローラー 1-9

ふ

フィード補正の設定 2-22
フィルター (White) 3-33
プラテンの清掃 4-3
プリント結果 2-20
プリントを開始する 2-26
プリントを中断する 2-27

へ

ヘッド メンテナンス 4-16, 4-23
ヘッドクリーニング 2-21
ヘッドクリーニングについて 2-21
ヘッド高さを調整する 2-5

ほ

ホカンセンジョウ 4-13
ポストヒーターカバー•プリヒーターカバーの清掃 4-3
補正パターン 2-22

本装置の移動 1-3

ま

マーク表示 0-vii
マージンの設定 3-6
巻取装置について 2-12
マシン設定 3-11

め

メールアドレスを設定する 3-23
メディア
　メディアをカットする 2-15, 2-28
メディア残量 3-14
メディア押さえの清掃 4-4
メディアが搬送時に波打つ場合 5-8
メディアザンリョウ 3-11
メディア残量入力 2-12
メディア残量表示 3-14
メディア残量表示の設定 3-14
メディアセンサーの清掃 4-4
メディア取り扱い上の注意 1-17
メンテナンス洗浄液 4-2

り

リーフメディアをセットする 2-13
リセット 3-31

ろ

ロールメディアをセットする 2-8
ロジカルシークの設定をする 3-3

わ

ワーニングメッセージ 5-9
ワイパーを交換する 4-33, 4-40

JV400-130LX/160LX 取扱説明書

2015 年 6 月

発行者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202282-25-20062015

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2015

KF

FW : 3.0